

**東松島市の地域福祉に関する  
アンケート調査結果報告書**

**令和4年11月  
東松島市 ・ 東松島市社会福祉協議会**



## 目 次

### I 調査概要

- 1 調査の目的
- 2 調査の実施概要
- 3 報告書の見方

### II 調査の結果

- 1 あなたご自身についての質問（問1～7）
- 2 “地域とあなたの関わり”についての質問（問8～11）
- 3 地域福祉についての質問（問12～14）
- 4 “地域での助け合い、支え合い”についての質問（問15～25）
- 5 “ボランティア活動等”についての質問（問26～27）
- 6 “再犯防止”についての質問（問28～30）
- 7 “成年後見制度”についての質問（問31～33）
- 8 “地域福祉全般”についての質問（問34～35）
- 9 これからの“地域福祉”の進め方についての質問（問36～37）

### 資料（調査票）

# I 調査概要

## 1 調査の目的

本調査は、「第3期地域福祉推進計画」を策定するにあたり、市民の地域福祉に関する意識や実態を把握し、計画づくりや施策の立案に活用することを目的として実施しました。

## 2 調査の実施概要

### ■調査に関する事項

区分	対象者	調査期間	調査方法
市民	18歳以上の市民から無作為に抽出した1,500人	令和4年 7月15日～8月10日	郵送による 配布・回収

### ■配布・回収に関する事項

区分	配布数	有効回収数	有効回収率
市民	1,500	597	39.8%

## 3 報告書の見方

- ・比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計が100.0%にならないこともあります。
- ・複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100%を超えることがあります。
- ・報告書中の文章やグラフにおいて、設問や選択肢の一部を省略して記載している場合があります。
- ・グラフの(n:○○)という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となります。
- ・クロス集計（居住地区別・性別の集計）については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があり、単純集計の結果と合致するとは限りません。
- ・経年分析において使用した調査結果は、次のとおりです。

### 【平成29年度調査】「地域福祉に関するアンケート調査 調査結果」

区分	配布数	有効回収数	有効回収率
18歳以上市民	1,500	570	38.0%

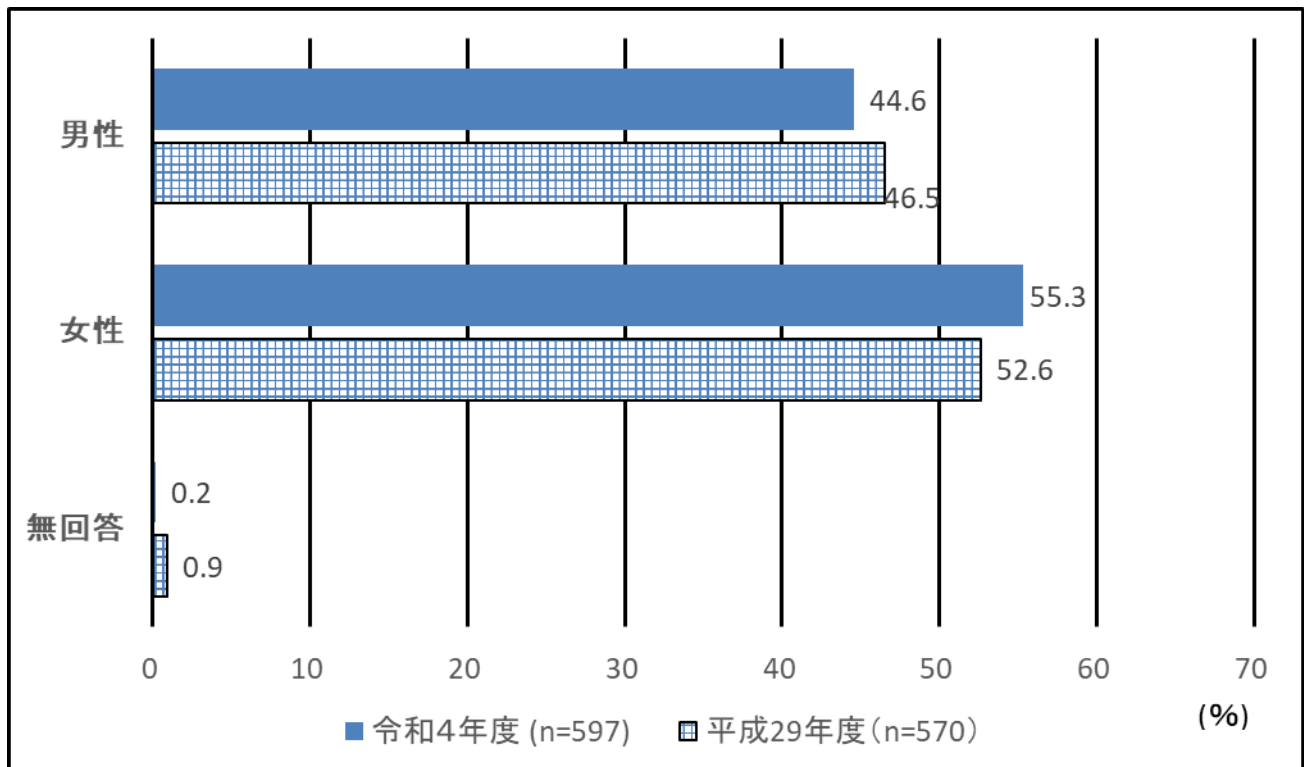
## II 調査の結果

### 1 回答者の属性についての質問（問1～7）

#### ■性別

【問1】あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

性別については、「男性」が44.6%、「女性」が55.3%で、前回調査と同様、「女性」が「男性」を上回っています。



(单位：%)

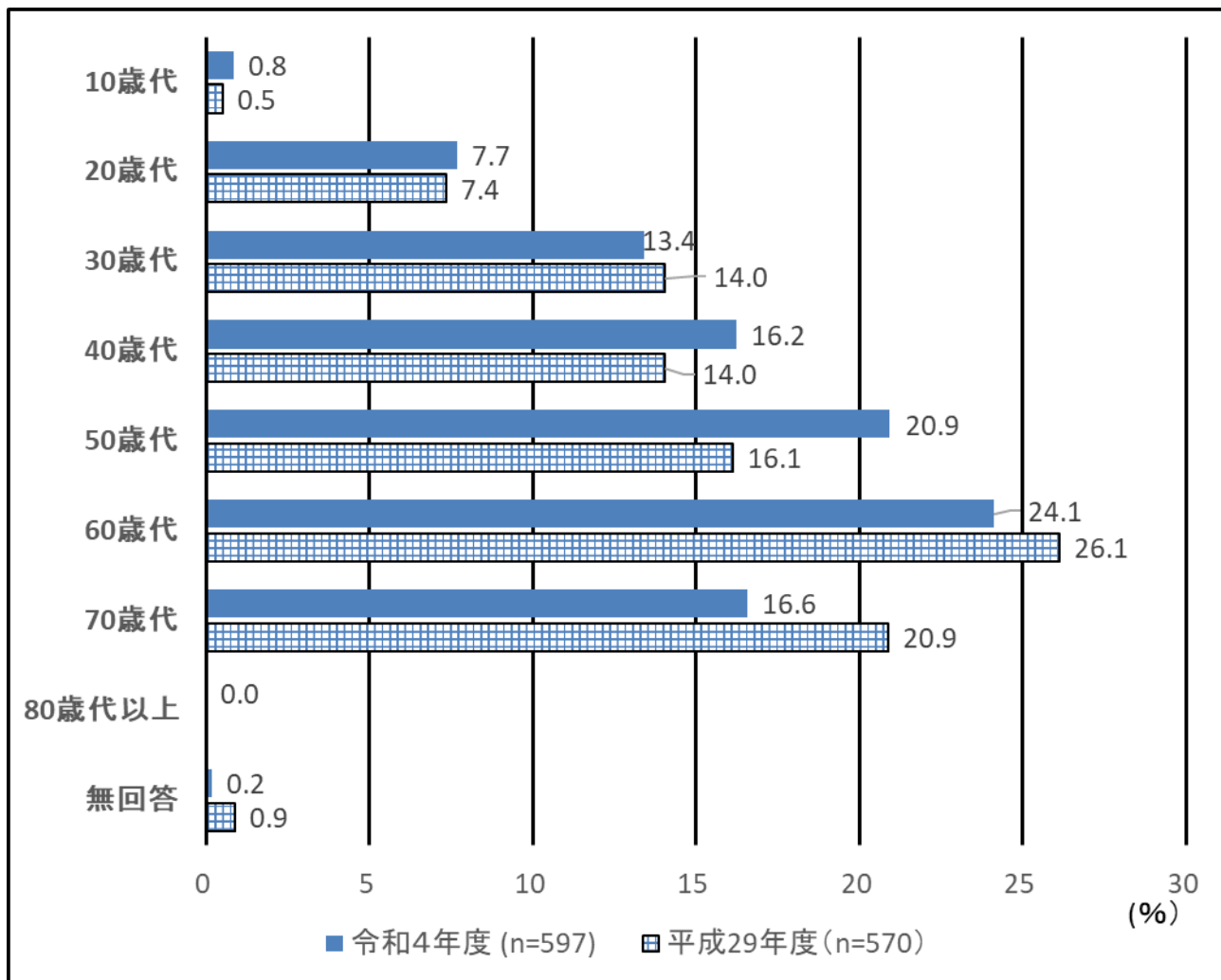
		人数	男性	女性
全体		597	44.6	55.3
居住地区	矢本東地区	128	45.3	54.7
	矢本西地区	103	47.6	52.4
	大曲地区	75	40.0	60.0
	赤井地区	123	44.7	55.3
	大塩地区	46	50.0	50.0
	小野地区	77	39.0	61.0
	野蒜地区	32	46.9	53.1
	宮戸地区	7	57.1	42.9
年齢	10歳代	5	40.0	60.0
	20歳代	46	54.3	45.7
	30歳代	80	33.8	66.3
	40歳代	97	42.3	57.7
	50歳代	125	45.6	54.4
	60歳代	144	44.4	55.6
	70歳代	99	50.5	49.5

## ■年 齢

【問2】あなたの満年齢を、次の区分でお答えください。（○は1つ）

年齢については、多い順に「60歳代」24.1%、「50歳代」20.9%、「70歳代」16.6%、「40歳代」16.2%、「30歳代」13.4%、「20歳代」7.7%、「10歳代」0.8%、「80歳以上」0.0%となっています。

なお、今回調査は「10歳代」の回答がn=5であったため、問7以降のクロス集計では20歳代と併せて「10～20歳代」で算出しています。



(単位：%)

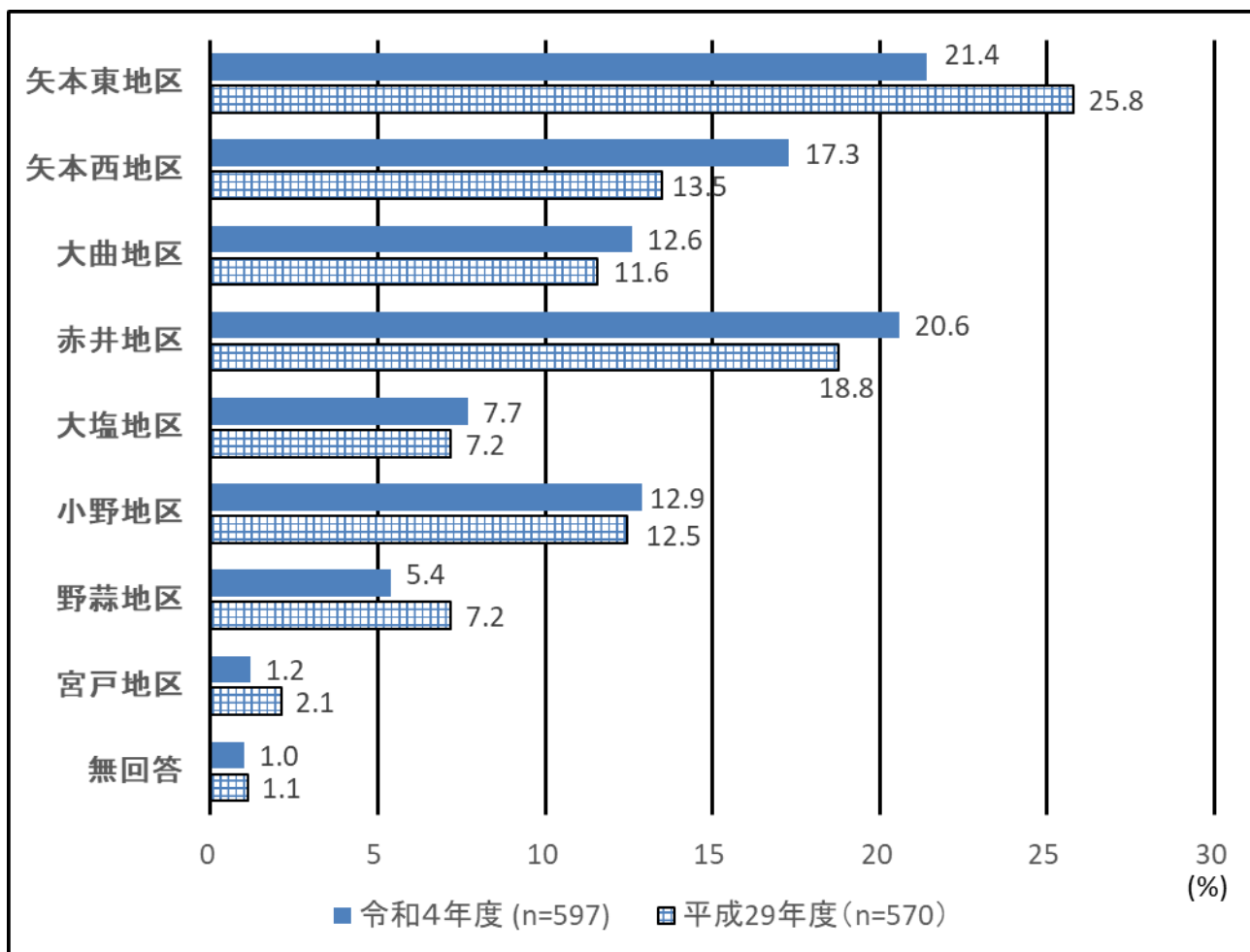
	人数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	
全体	597	0.8	7.7	13.4	16.2	20.9	24.1	16.6	
居住地区	矢本東地区	128	0.8	7.0	13.3	12.5	29.7	22.7	14.1
	矢本西地区	103	1.0	5.8	13.6	16.5	20.4	19.4	23.3
	大曲地区	75	0.0	10.7	25.3	25.3	10.7	17.3	10.7
	赤井地区	123	0.8	5.7	13.8	10.6	22.0	26.0	21.1
	大塩地区	46	2.2	8.7	6.5	21.7	21.7	26.1	13.0
	小野地区	77	1.3	11.7	1.3	22.1	19.5	33.8	10.4
	野蒜地区	32	0.0	6.3	25.0	12.5	12.5	25.0	18.8
	宮戸地区	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1	28.6
性別	男性	266	0.8	9.4	10.2	15.4	21.4	24.1	18.8
	女性	330	0.9	6.4	16.1	17.0	20.6	24.2	14.8



■居住地区

【問3】あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。右の列の行政区分を参考にし該当するお住まいの地区の番号を○で囲んでください。（○は1つ）

居住地区については、多い順に「矢本東地区」21.4%、「赤井地区」20.6%、「矢本西地区」17.3%、「小野地区」12.9%、「大曲地区」12.6%、「大塩地区」7.7%、「野蒜地区」5.4%、「宮戸地区」1.2%となっています。



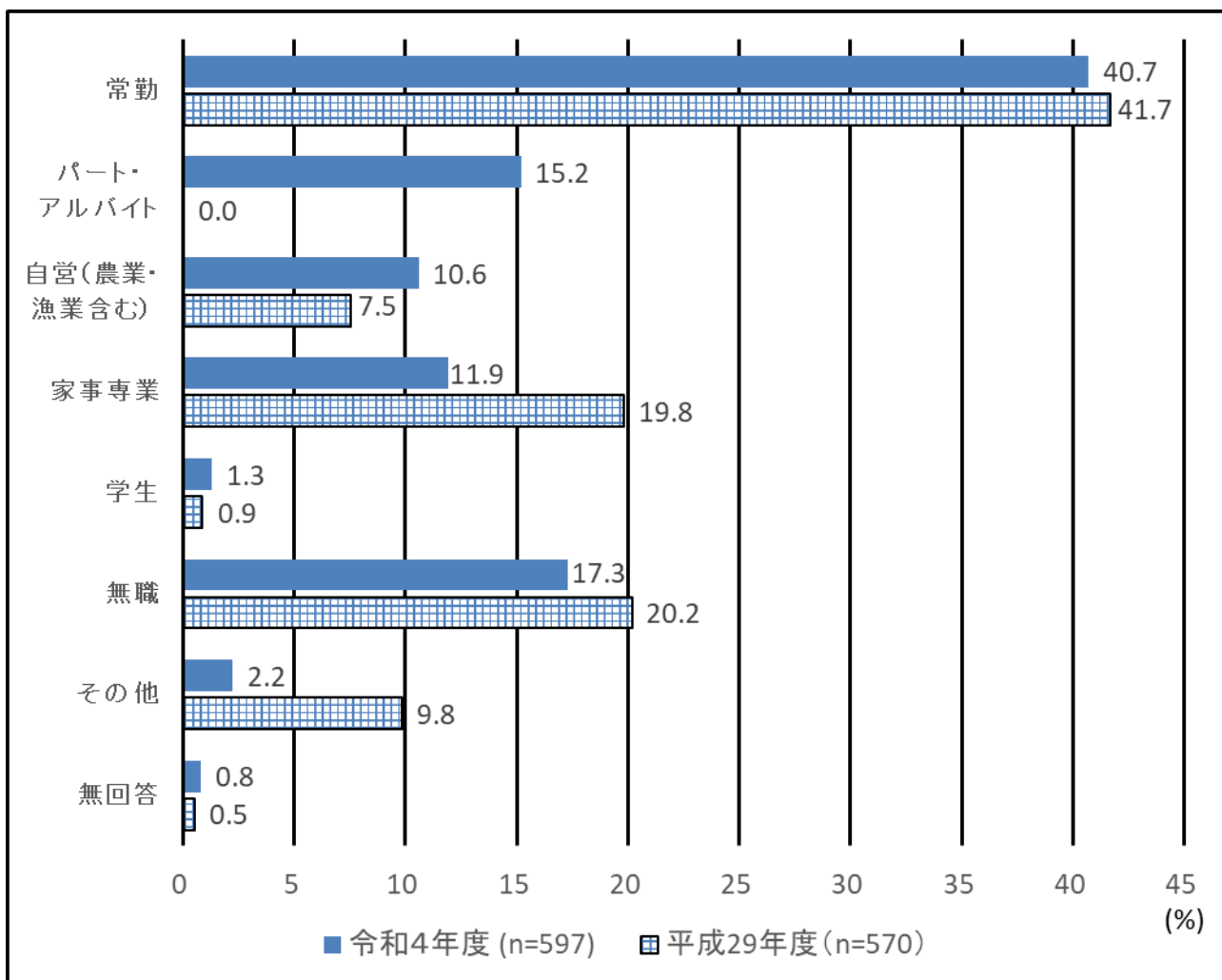
(単位：%)

		人数	矢本東地区	矢本西地区	大曲地区	赤井地区	大塩地区	小野地区	野蒜地区	宮戸地区
全体		597	21.4	17.3	12.6	20.6	7.7	12.9	5.4	1.2
年齢	10歳代	5	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	20歳代	46	19.6	13.0	17.4	15.2	8.7	19.6	4.3	2.2
	30歳代	80	21.3	17.5	23.8	21.3	3.8	1.3	10.0	0.0
	40歳代	97	16.5	17.5	19.6	13.4	10.3	17.5	4.1	0.0
	50歳代	125	30.4	16.8	6.4	21.6	8.0	12.0	3.2	0.0
	60歳代	144	20.1	13.9	9.0	22.2	8.3	18.1	5.6	2.8
	70歳代	99	18.2	24.2	8.1	26.3	6.1	8.1	6.1	2.0
性別	男性	266	21.8	18.4	11.3	20.7	8.6	11.3	5.6	1.5
	女性	330	21.2	16.4	13.6	20.6	7.0	14.2	5.2	0.9

■職業

【問4】あなたの職業は次のうちどれですか。（〇は1つ）

職業については、「常勤」40.7%が最も多く、次いで「無職」17.3%、「パート・アルバイト」15.2%、「家事専業」11.9%、「自営（農業・漁業含む）」10.6%となっています。



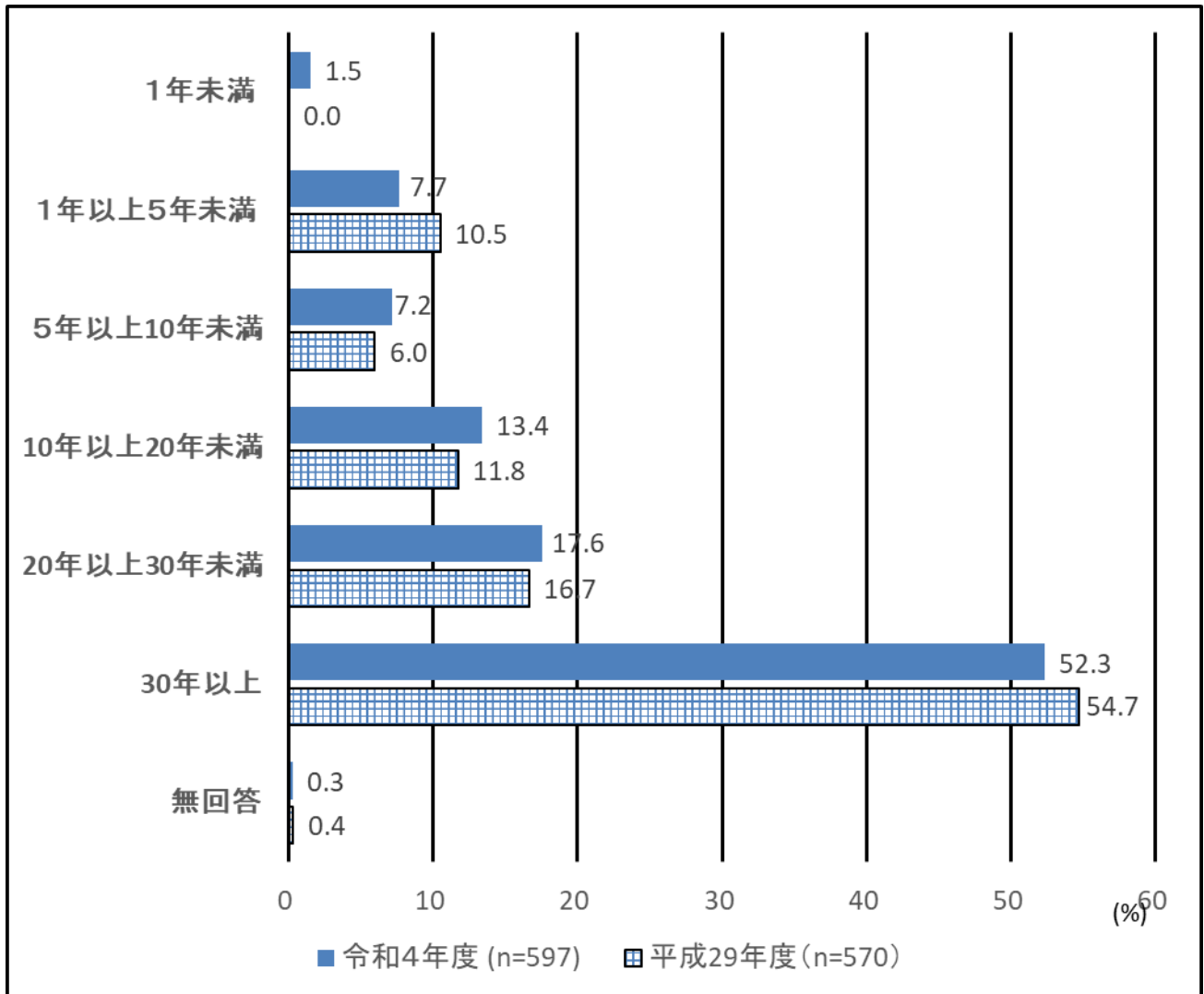
(単位：%)

		人数	常勤	パート・ アルバイト	自営 (農業・漁 業含む)	家事専業	学生	無職	その他
全体		597	40.7	15.2	10.6	11.9	1.3	17.3	2.2
居住地区	矢本東地区	128	35.9	20.3	10.2	9.4	1.6	21.9	0.8
	矢本西地区	103	42.7	17.5	8.7	11.7	0.0	16.5	1.9
	大曲地区	75	46.7	14.7	2.7	10.7	4.0	16.0	4.0
	赤井地区	123	42.3	10.6	6.5	18.7	0.8	16.3	4.1
	大塩地区	46	47.8	13.0	13.0	6.5	2.2	15.2	2.2
	小野地区	77	37.7	14.3	20.8	7.8	1.3	16.9	0.0
	野蒜地区	32	37.5	15.6	18.8	15.6	0.0	12.5	0.0
	宮戸地区	7	14.3	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0
年齢	10歳代	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0
	20歳代	46	58.7	10.9	2.2	2.2	13.0	10.9	2.2
	30歳代	80	63.8	23.8	2.5	7.5	0.0	1.3	1.3
	40歳代	97	57.7	19.6	7.2	8.2	0.0	4.1	2.1
	50歳代	125	54.4	15.2	13.6	8.8	0.0	5.6	2.4
	60歳代	144	27.1	12.5	14.6	16.7	0.0	26.4	1.4
	70歳代	99	2.0	11.1	15.2	21.2	0.0	47.5	2.0
性別	男性	266	56.0	4.1	14.7	0.0	1.9	20.7	1.5
	女性	330	28.5	24.2	7.3	21.5	0.9	14.5	2.7

■居住年数

【問5】あなたは、東松島市（旧矢本町・旧鳴瀬町を含む）に居住して何年になりますか。（〇は1つ）

居住年数については、「30年以上」52.3%が最も多く、次いで「20年以上30年未満」17.6%、「10年以上20年未満」13.4%となっており、20年以上居住している方が約7割を占めています。



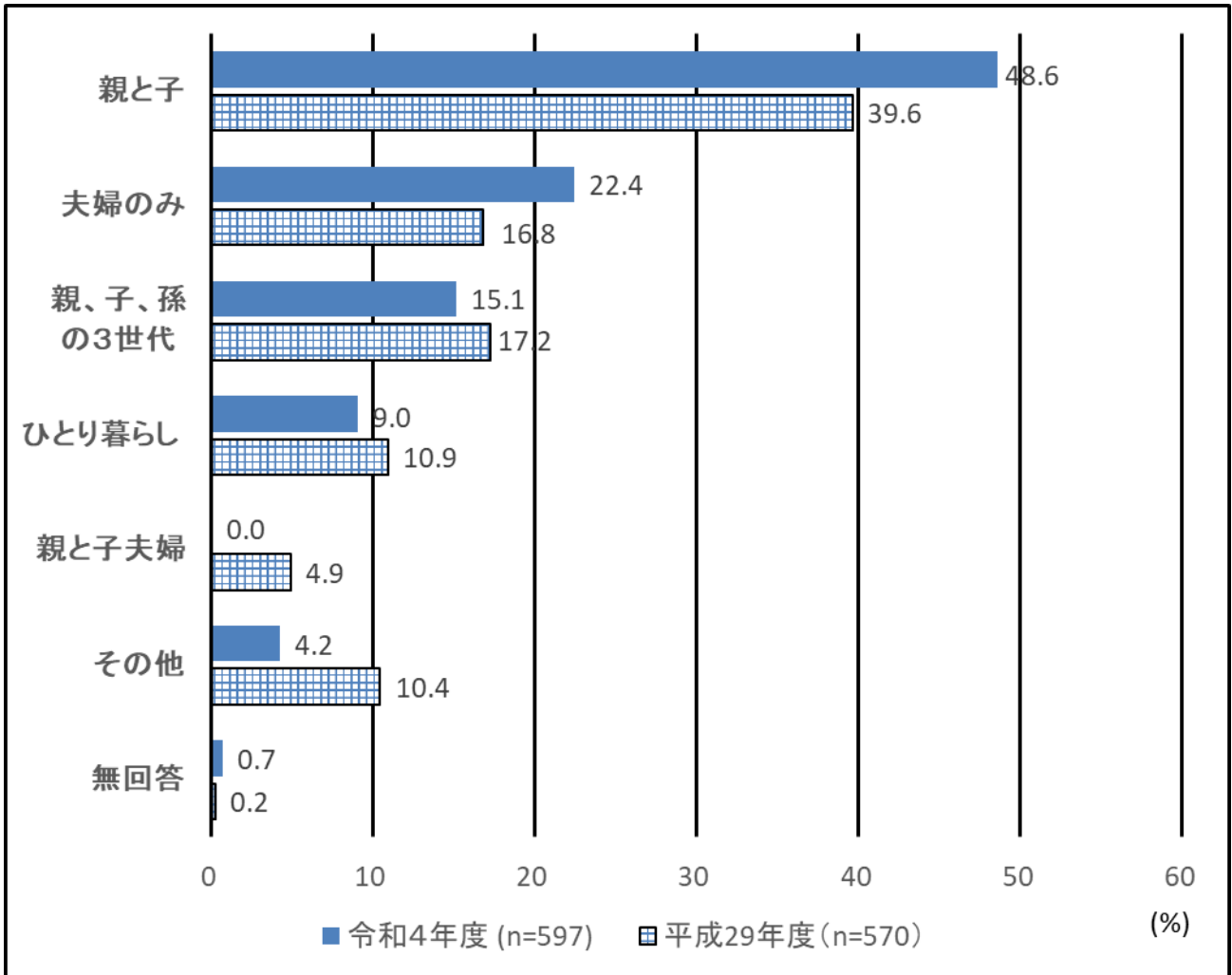
(単位：%)

		人数	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上
全体		597	1.5	7.7	7.2	13.4	17.6	52.3
居住地区	矢本東地区	128	1.6	10.2	3.9	14.8	21.9	47.7
	矢本西地区	103	0.0	5.8	4.9	16.5	14.6	58.3
	大曲地区	75	2.7	6.7	22.7	6.7	25.3	36.0
	赤井地区	123	1.6	11.4	8.9	13.8	11.4	52.8
	大塩地区	46	4.3	2.2	6.5	23.9	17.4	45.7
	小野地区	77	1.3	2.6	2.6	9.1	20.8	63.6
	野蒜地区	32	0.0	12.5	0.0	9.4	12.5	65.6
	宮戸地区	7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	85.7
年齢	10歳代	5	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0
	20歳代	46	4.3	17.4	8.7	8.7	60.9	0.0
	30歳代	80	2.5	26.3	18.8	12.5	6.3	33.8
	40歳代	97	2.1	5.2	7.2	32.0	16.5	37.1
	50歳代	125	1.6	4.0	6.4	19.2	26.4	42.4
	60歳代	144	0.0	1.4	3.5	3.5	9.7	81.9
	70歳代	99	1.0	5.1	3.0	3.0	9.1	77.8
性別	男性	266	1.9	6.0	6.8	12.8	15.8	56.8
	女性	330	1.2	9.1	7.6	13.9	19.1	48.8

■ 家族構成

【問6】あなたのご家族の構成は。(〇は1つ)

家族構成については、「2世代(親と子)」48.6%と約半数を占め、次いで「夫婦のみ」22.4%、「3世代(親と子と孫)」15.1%、「ひとり暮らし」9.0%となっています。



(単位：%)

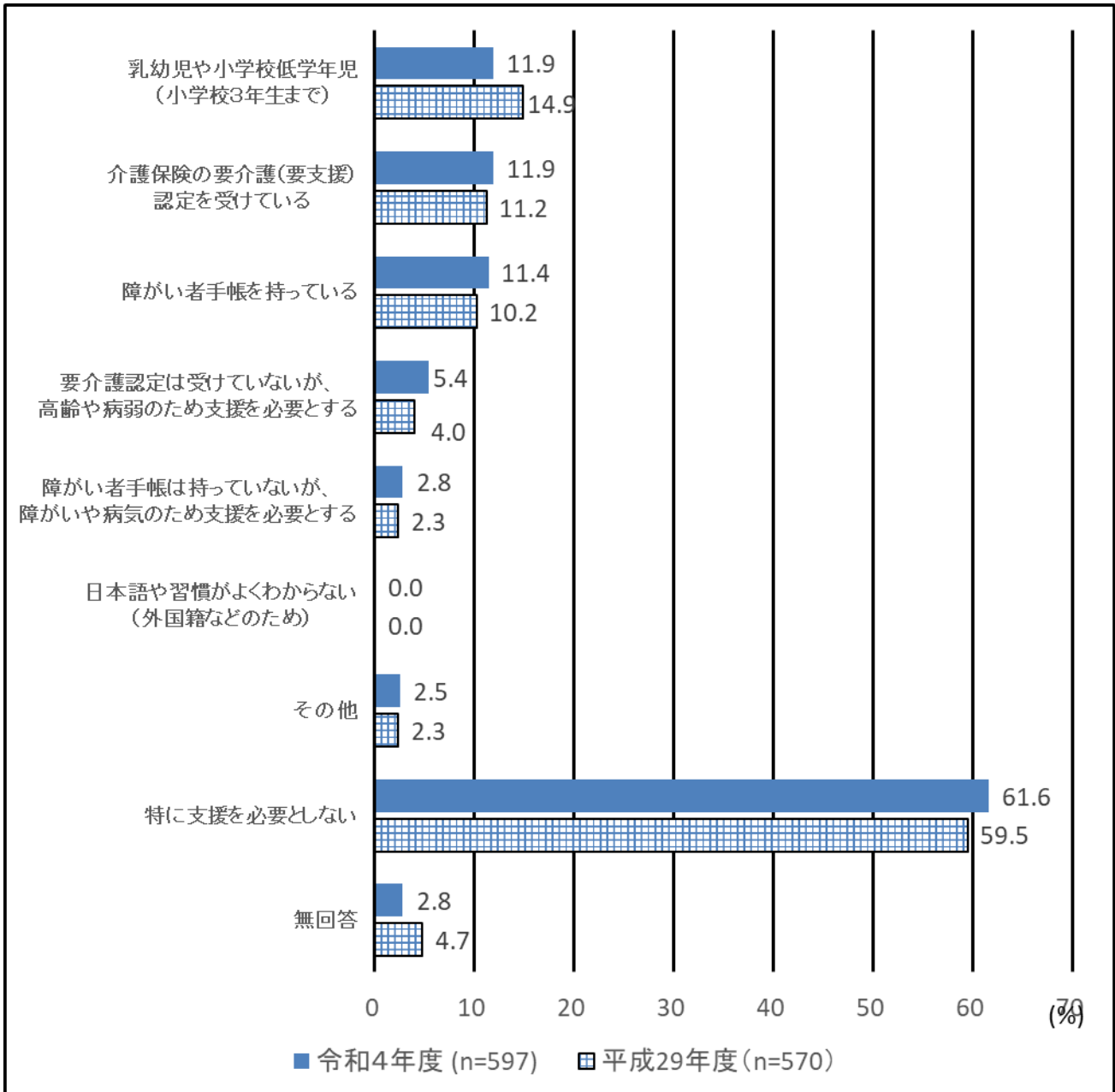
		人数	ひとり暮らし	夫婦のみ	親と子	親、子、孫 の3世代	その他
全体		597	9.0	22.4	48.6	15.1	4.2
居住地区	矢本東地区	128	10.2	26.6	47.7	11.7	3.1
	矢本西地区	103	12.6	17.5	46.6	16.5	6.8
	大曲地区	75	4.0	20.0	58.7	13.3	4.0
	赤井地区	123	10.6	22.8	49.6	16.3	0.8
	大塩地区	46	2.2	21.7	60.9	10.9	2.2
	小野地区	77	7.8	27.3	36.4	20.8	6.5
	野蒜地区	32	6.3	18.8	46.9	15.6	12.5
	宮戸地区	7	14.3	14.3	42.9	28.6	0.0
年齢	10歳代	5	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0
	20歳代	46	4.3	6.5	56.5	28.3	4.3
	30歳代	80	3.8	6.3	65.0	15.0	10.0
	40歳代	97	2.1	11.3	73.2	7.2	5.2
	50歳代	125	8.8	24.8	50.4	14.4	0.8
	60歳代	144	13.2	31.9	35.4	14.6	4.9
	70歳代	99	17.2	38.4	25.3	16.2	2.0
性別	男性	266	10.5	18.0	51.1	16.5	3.4
	女性	330	7.9	26.1	46.7	13.9	4.8



## ■要支援者の有無

【問7】あなた又はご家族の中に何らかの支援（見守りや手助け）が必要な方がいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

「家族の中に何らかの支援（見守りや手助け）が必要な方の有無」については、「乳幼児や小学校低学年児（小学校3年生まで）」と「介護保険の要介護（要支援）認定を受けている」が11.9%と最も多く、次いで「障がい者手帳を持っている」が11.4%となっています。また、「特に支援を必要としない」は、約6割の61.6%となっています。



(単位：%)

	人数	乳幼児や小学校低学年児(小学校3年生まで)	介護保険の要介護(要支援)認定を受けている	要介護認定は受けていないが、高齢や病弱のため支援を必要とする	障がい者手帳を持っている	障がい者手帳は持っていないが、障がいや病気のため支援を必要とする	日本語や習慣がよくわからない(外国籍などのため)	その他	特に支援を必要としない	
全体	597	11.9	11.9	5.4	11.4	2.8	0.0	2.5	61.6	
居住地区	矢本東地区	128	9.4	11.7	6.3	10.2	3.1	0.0	2.3	61.7
	矢本西地区	103	8.7	12.6	3.9	14.6	2.9	0.0	4.9	62.1
	大曲地区	75	17.3	12.0	1.3	16.0	4.0	0.0	4.0	54.7
	赤井地区	123	13.0	11.4	5.7	4.9	3.3	0.0	0.8	63.4
	大塩地区	46	13.0	10.9	6.5	13.0	2.2	0.0	2.2	60.9
	小野地区	77	7.8	10.4	9.1	11.7	1.3	0.0	2.6	64.9
	野蒜地区	32	28.1	12.5	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	65.6
	宮戸地区	7	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	57.1
年齢	10～20歳代	51	17.6	5.9	7.8	11.8	5.9	0.0	0.0	60.8
	30歳代	80	47.5	7.5	6.3	7.5	2.5	0.0	1.3	41.3
	40歳代	97	15.5	7.2	2.1	7.2	3.1	0.0	1.0	70.1
	50歳代	125	1.6	12.8	8.0	12.8	2.4	0.0	4.8	65.6
	60歳代	144	2.8	23.6	4.9	16.7	2.1	0.0	1.4	56.9
	70歳代	99	3.0	5.1	4.0	9.1	3.0	0.0	5.1	72.7
性別	男性	266	11.7	15.0	6.0	11.3	3.4	0.0	2.6	58.3
	女性	330	12.1	9.4	4.8	11.5	2.4	0.0	2.4	64.5

## 2 “地域とあなたの関わり” についての質問（問8～11）

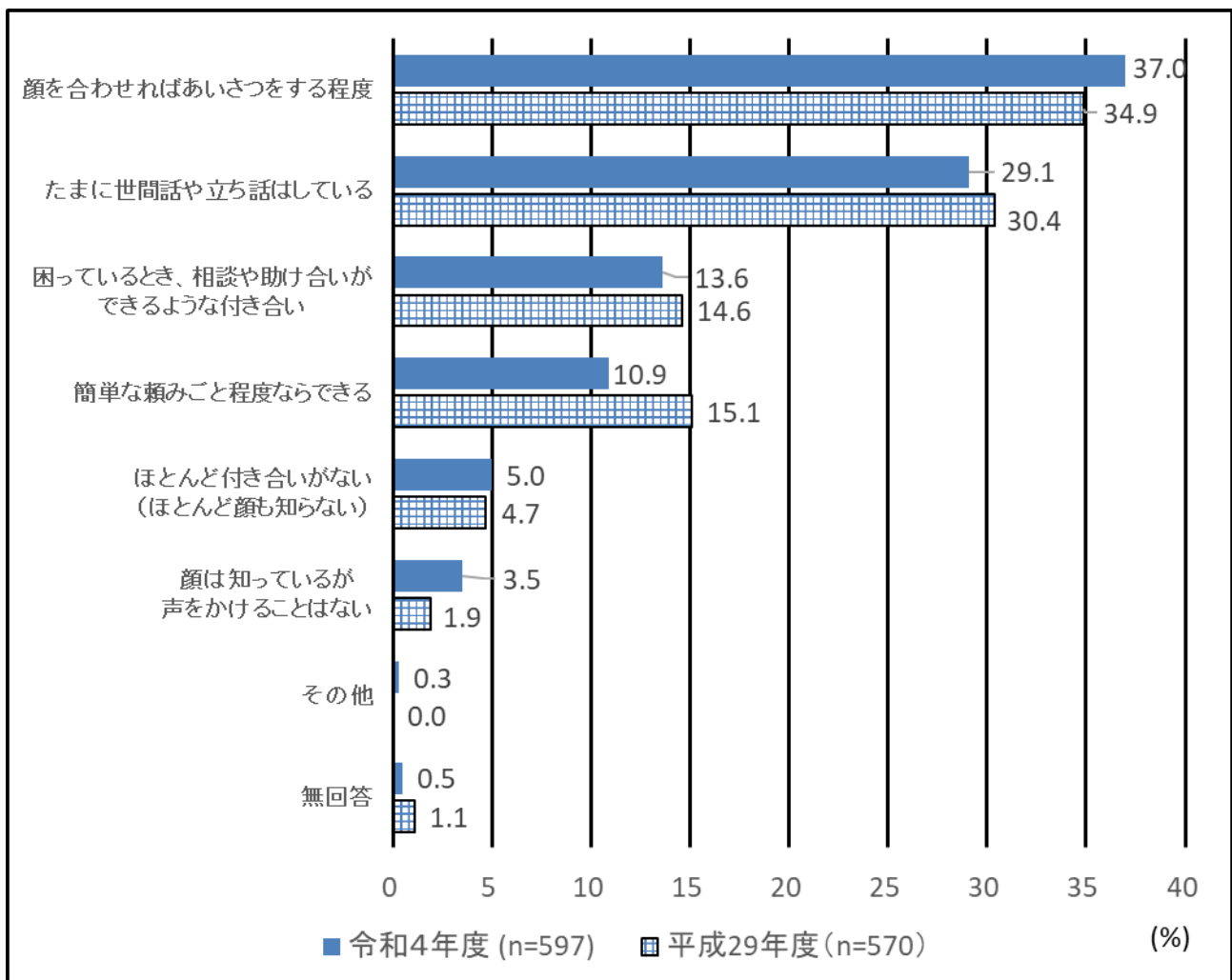
### ■近所付き合い

【問8】日ごろ、ご近所とどの程度お付き合いがありますか。（○は1つ）

日ごろの近所との付き合いについては、「顔を合わせればあいさつをする程度」37.0%、次いで「たまに世間話や立ち話はしている」29.1%となっています。

前回調査と比較すると、「簡単な頼みごと程度ならできる」は4.2ポイント低下し、「顔を合わせればあいさつをする程度」が2.1ポイント増加しています。

年代別にみると、若い世代は「顔を合わせればあいさつをする程度」と回答した割合が高く、高齢年代になるほど「困っているとき、相談や助け合いができるような付き合い」と回答した割合が高くなっています。



(単位：%)

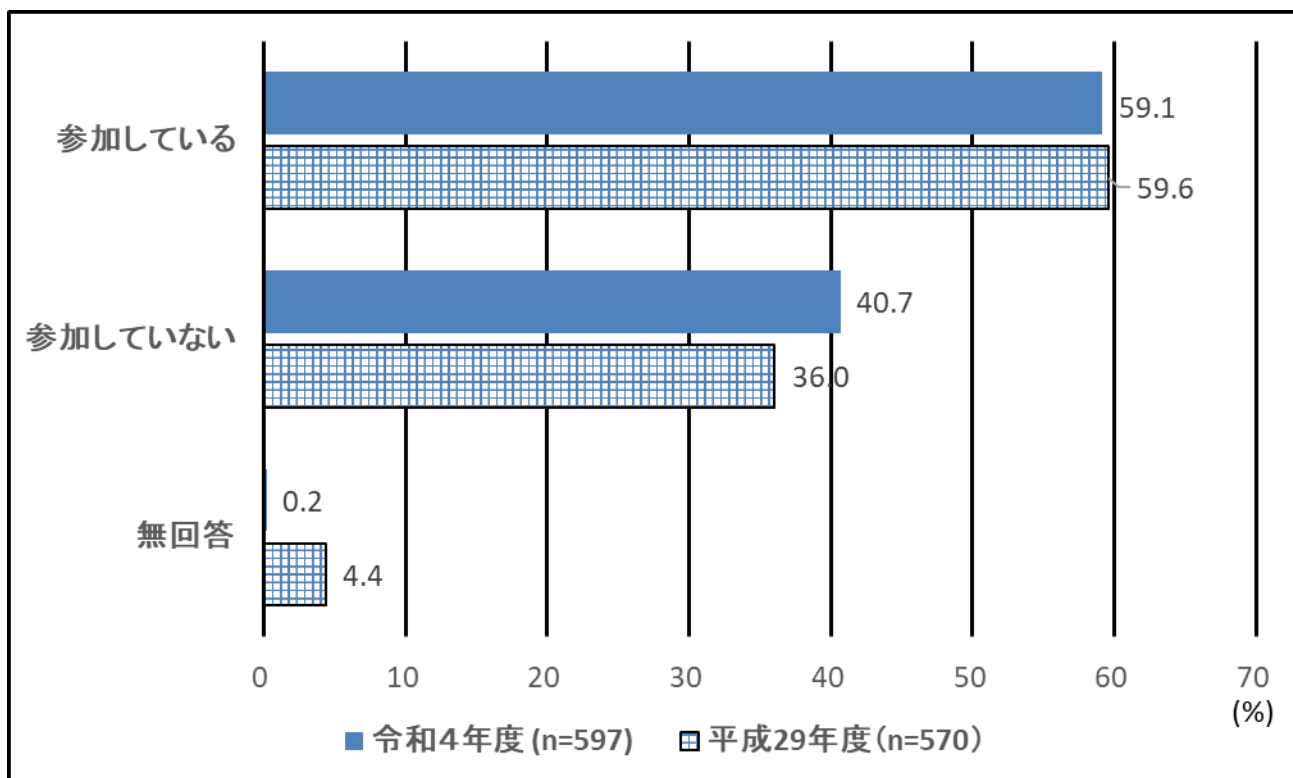
		人数	困っていると き、相談や 助け合いが できるような 付き合い	簡単な頼み ごと程度なら できる	たまに世間 話や立ち話 はしている	顔を合わせ ればあいさ つをする程 度	顔は知って いるが声を かけること はない	ほとんど付 き合いが ない(ほと んど顔も 知らない)	その他
全体		597	13.6	10.9	29.1	37.0	3.5	5.0	0.3
居住地区	矢本東地区	128	8.6	9.4	26.6	43.0	3.9	7.0	1.6
	矢本西地区	103	10.7	9.7	26.2	42.7	3.9	5.8	0.0
	大曲地区	75	14.7	5.3	26.7	42.7	5.3	5.3	0.0
	赤井地区	123	14.6	11.4	35.0	30.1	2.4	5.7	0.0
	大塩地区	46	17.4	19.6	32.6	30.4	0.0	0.0	0.0
	小野地区	77	16.9	14.3	28.6	31.2	5.2	2.6	0.0
	野蒜地区	32	18.8	12.5	25.0	40.6	0.0	3.1	0.0
	宮戸地区	7	42.9	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0
年齢	10～20歳代	51	3.9	2.0	9.8	66.7	11.8	3.9	0.0
	30歳代	80	5.0	5.0	26.3	46.3	3.8	13.8	0.0
	40歳代	97	6.2	7.2	32.0	44.3	5.2	5.2	0.0
	50歳代	125	8.8	16.0	24.8	44.0	1.6	4.0	0.8
	60歳代	144	22.2	15.3	34.7	22.2	2.8	2.1	0.0
	70歳代	99	26.3	11.1	35.4	20.2	1.0	4.0	1.0
性別	男性	266	17.3	12.0	21.1	40.6	4.9	3.0	0.8
	女性	330	10.6	10.0	35.5	34.2	2.4	6.7	0.0

## ■地域活動への参加

【問9】地域活動に参加していますか。（○は1つ）

地域活動への参加状況については、「参加している」59.1%、「参加していない」40.7%で「参加している」が「参加していない」を18.4ポイント上回っています。

年代別にみると、「10～20歳代」が25.5%と最も低く、「60歳代」と「70歳代」は7割以上が参加したことがあると回答しています。



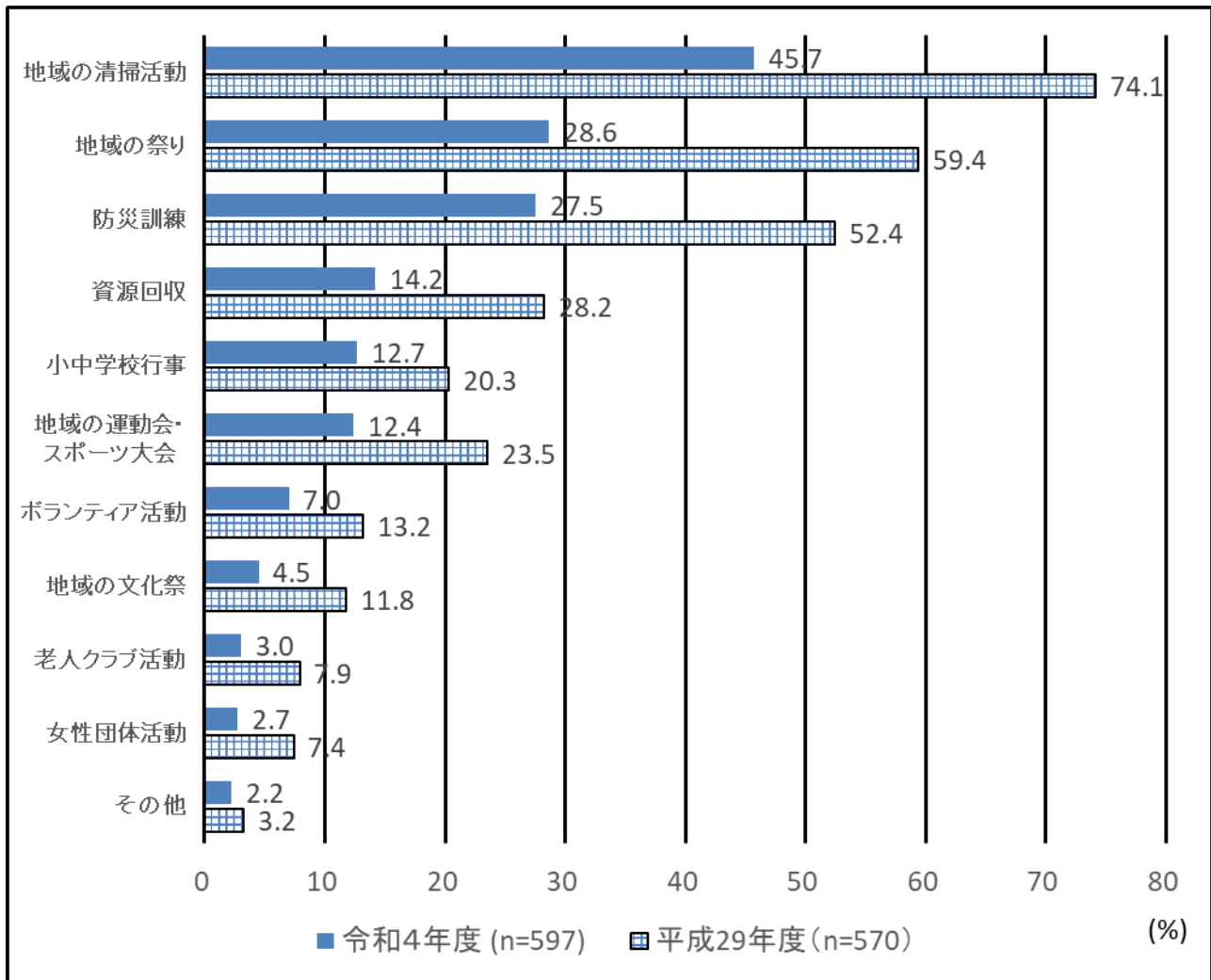
## ■参加している地域活動の内容

【問9-1】参加している活動（あてはまるものすべてに○）

参加した地域活動については、「地域の清掃活動」45.7%が最も多く、次いで「地域の祭り」28.6%、「防災訓練」27.5%となっています。

居住地区別でみると、いずれの地区も「地域の清掃活動」の参加の割合が高くなっていますが、中でも「野蒜地区」と「宮戸地区」は65%を超える割合となっています。「地域の祭り」や「地域の運動会・スポーツ大会」「資源回収」は、居住地区によって参加の割合に差があります。

年代別にみると、「地域の清掃活動」は「60代」62.5%、「50代」52.0%で割合が高く、「小中学校行事」は「40代」29.9%、「30代」25.0%で割合が高くなっています。



(単位：%)

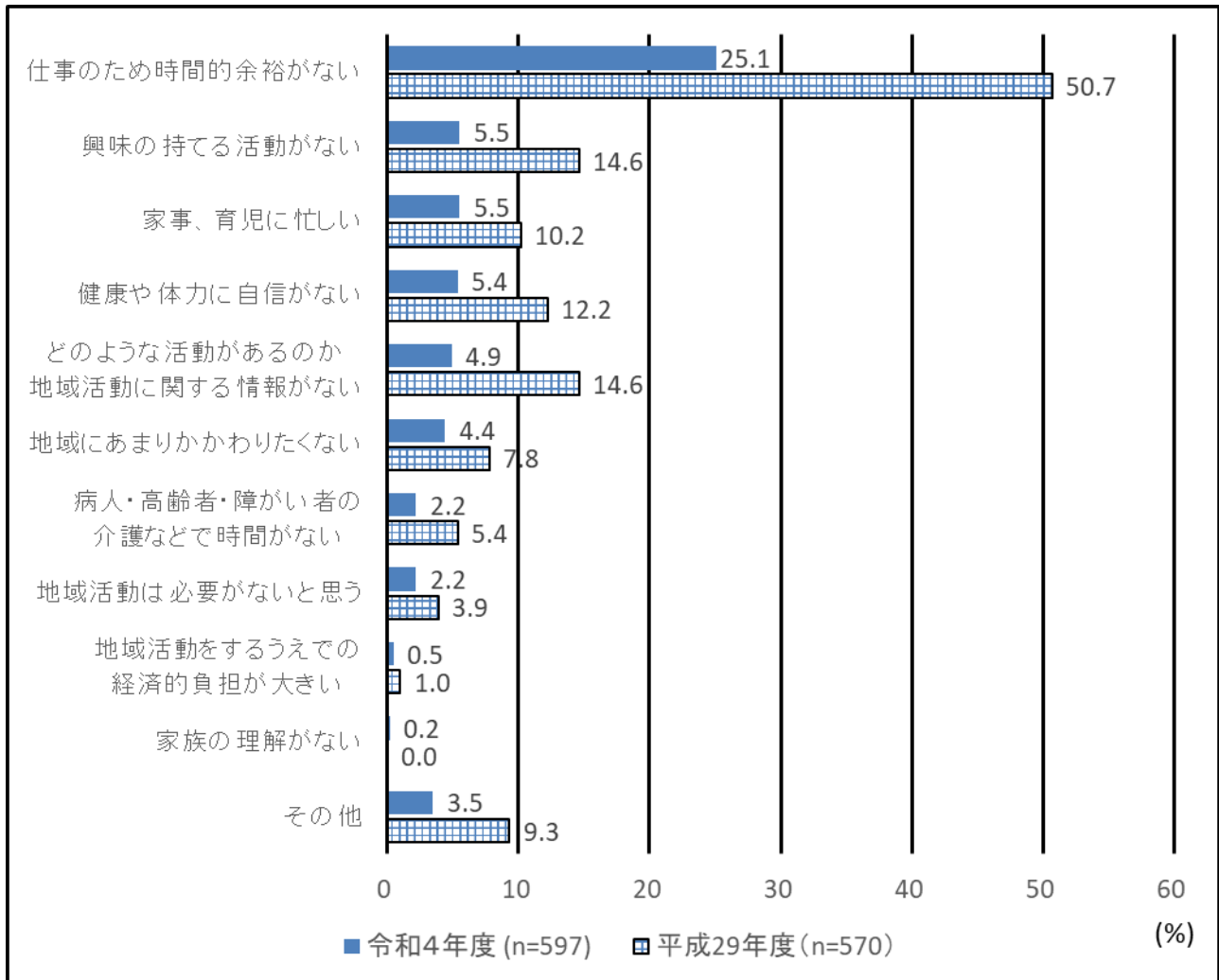
	人数	地域の清掃活動	地域の祭り	地域の運動会・スポーツ大会	資源回収	小中学校行事	地域の文化祭	老人クラブ活動	女性団体活動	防災訓練	ボランティア活動	その他	
全体	597	45.7	28.6	12.4	14.2	12.7	4.5	3.0	2.7	27.5	7.0	2.2	
居住地区	矢本東地区	128	33.6	14.8	3.9	8.6	10.9	2.3	0.0	1.6	18.0	4.7	1.6
	矢本西地区	103	39.8	29.1	9.7	15.5	7.8	1.9	2.9	2.9	25.2	8.7	1.0
	大曲地区	75	45.3	25.3	10.7	5.3	16.0	8.0	1.3	4.0	26.7	4.0	5.3
	赤井地区	123	52.0	33.3	13.0	18.7	13.8	3.3	3.3	1.6	24.4	5.7	1.6
	大塩地区	46	56.5	47.8	21.7	15.2	17.4	13.0	4.3	0.0	34.8	15.2	4.3
	小野地区	77	49.4	31.2	22.1	18.2	14.3	3.9	5.2	5.2	36.4	10.4	1.3
	野蒜地区	32	65.6	34.4	18.8	25.0	18.8	6.3	12.5	0.0	43.8	6.3	0.0
	宮戸地区	7	71.4	57.1	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	85.7	0.0	0.0
年齢	10～20歳代	51	11.8	17.6	3.9	5.9	3.9	0.0	0.0	0.0	13.7	2.0	0.0
	30歳代	80	25.0	16.3	5.0	7.5	25.0	2.5	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	40歳代	97	43.3	30.9	10.3	13.4	29.9	3.1	1.0	0.0	21.6	8.2	2.1
	50歳代	125	52.0	26.4	9.6	12.8	6.4	3.2	0.0	0.8	22.4	4.8	1.6
	60歳代	144	62.5	34.7	20.1	18.1	7.6	5.6	4.2	6.3	43.1	10.4	2.1
	70歳代	99	49.5	35.4	17.2	21.2	6.1	10.1	11.1	6.1	37.4	12.1	6.1
	性別	男性	266	50.4	27.8	16.5	19.2	10.9	6.4	3.0	1.9	32.0	9.4
女性		330	41.8	29.1	9.1	10.3	14.2	3.0	3.0	3.3	23.6	5.2	2.1

## ■不参加の理由

【問 9-2】 参加していない理由（あてはまるものすべてに○）

地域活動に参加していない理由については、「仕事のため時間的余裕がない」25.1%が最も多い回答となっています。

前回調査時と比較すると、全ての回答で前回より回答の割合は減少していますが、順位はほとんど変わっていません。



(単位：%)

	人数	仕事のための 時間的余裕 がない	どのような 活動がある のか地域活 動に関する 情報がない	興味の持て る活動が ない	健康や体力 に自信が ない	家事、育児 に忙しい	病人・高齢 者・障がい 者の介護な どで時間 がない	地域活動を するうえで の経済的負 担が大きい	家族の理解 がない	地域にあまり かかわり たくない	地域活動は 必要がない と思う	その他	
全体	597	25.1	4.9	5.5	5.4	5.5	2.2	0.5	0.2	4.4	2.2	3.5	
居住地区	矢本東地区	128	30.5	7.8	7.0	9.4	6.3	1.6	0.8	0.0	3.9	2.3	4.7
	矢本西地区	103	30.1	2.9	7.8	7.8	8.7	2.9	1.0	0.0	4.9	1.9	5.8
	大曲地区	75	18.7	8.0	9.3	1.3	6.7	2.7	0.0	0.0	8.0	1.3	4.0
	赤井地区	123	24.4	2.4	3.3	5.7	4.1	1.6	0.8	0.8	4.1	0.8	2.4
	大塩地区	46	23.9	4.3	4.3	0.0	4.3	2.2	0.0	0.0	4.3	2.2	2.2
	小野地区	77	23.4	3.9	3.9	2.6	5.2	2.6	0.0	0.0	1.3	2.6	0.0
	野蒜地区	32	12.5	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	6.3	3.1
	宮戸地区	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
年齢	10～20歳代	51	43.1	11.8	17.6	3.9	7.8	0.0	0.0	0.0	9.8	5.9	3.9
	30歳代	80	46.3	2.5	6.3	0.0	18.8	0.0	1.3	0.0	7.5	5.0	6.3
	40歳代	97	27.8	5.2	6.2	2.1	9.3	3.1	2.1	0.0	4.1	1.0	2.1
	50歳代	125	32.0	7.2	3.2	4.0	3.2	5.6	0.0	0.0	5.6	2.4	4.8
	60歳代	144	11.8	2.1	4.2	6.9	0.7	0.7	0.0	0.7	0.7	0.7	2.8
	70歳代	99	7.1	4.0	3.0	13.1	0.0	2.0	0.0	0.0	3.0	1.0	2.0
性別	男性	266	25.2	5.6	5.6	5.3	4.5	1.9	1.1	0.0	4.1	3.0	2.3
	女性	330	25.2	4.2	5.5	5.5	6.4	2.4	0.0	0.3	4.5	1.5	4.5

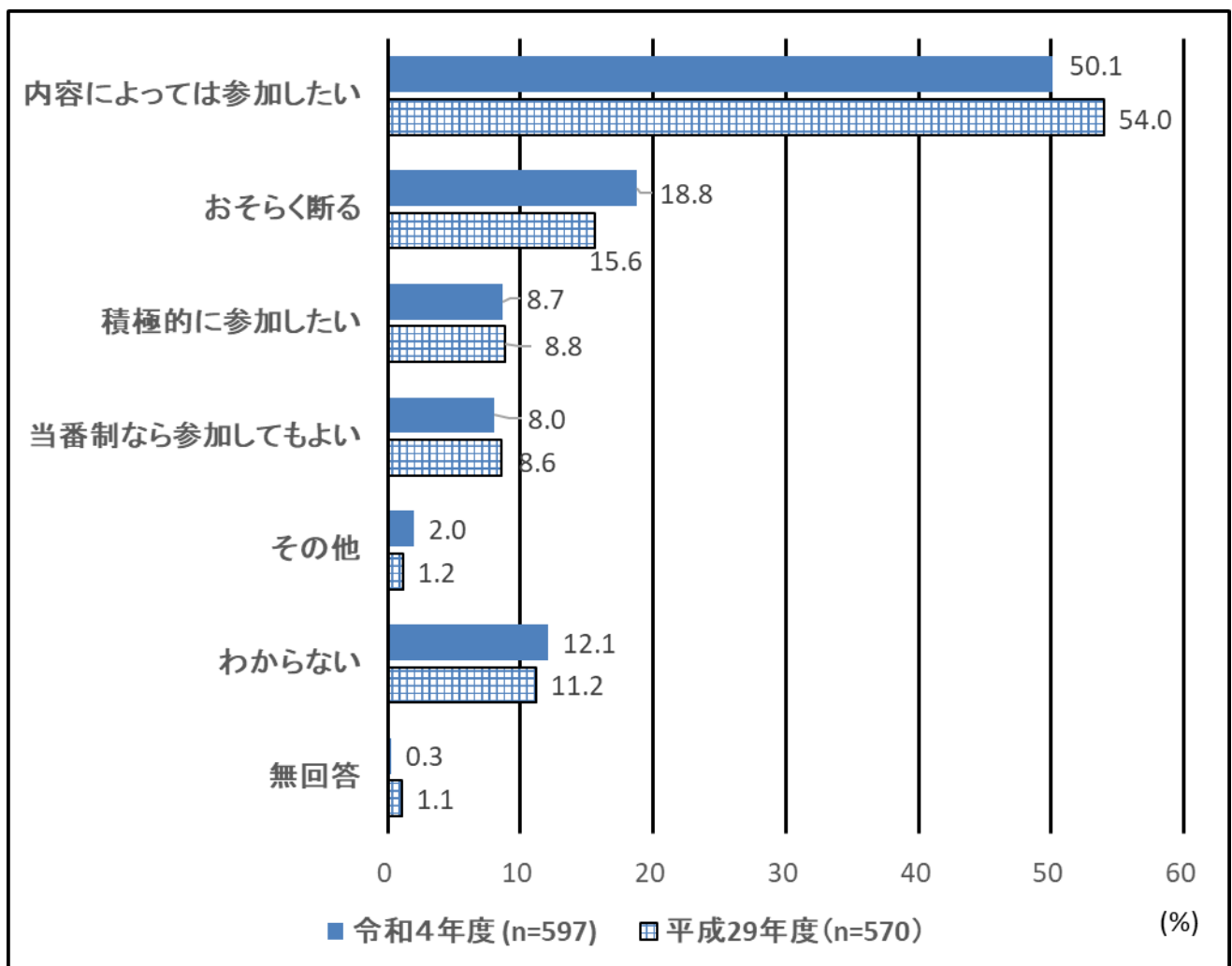


■今後の地域活動への参加の意向

【問10】今後、地域活動への参加の依頼があった場合、あなたはどのようにしますか。  
(○は1つ)

今後の地域活動への参加については、「内容によっては参加したい」50.1%で最も多く、次いで「おそらく断る」18.8%、「わからない」12.1%となっています。

地区別でみると、「積極的に参加したい」が「宮戸地区」28.6%、「大塩地区」「小野地区」13.0%と高い割合となっています。



(単位：%)

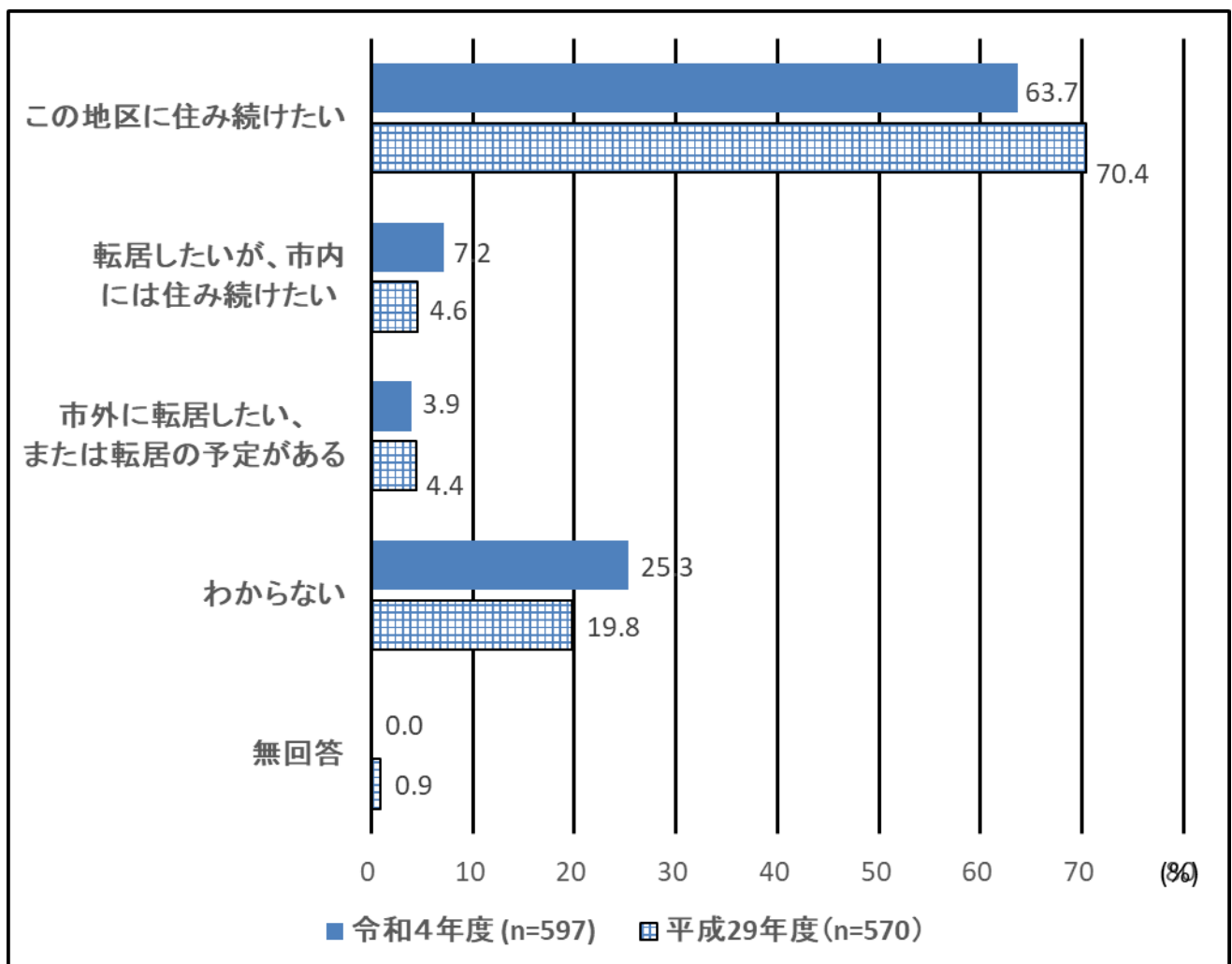
		人数	積極的に参加したい	内容によっては参加したい	当番制なら参加してもよい	おそらく断る	その他	わからない
全体		597	8.7	50.1	8.0	18.8	2.0	12.1
居住地区	矢本東地区	128	6.3	38.3	9.4	25.8	2.3	18.0
	矢本西地区	103	8.7	51.5	6.8	19.4	1.0	12.6
	大曲地区	75	5.3	60.0	9.3	17.3	1.3	6.7
	赤井地区	123	8.1	50.4	10.6	16.3	0.8	13.0
	大塩地区	46	13.0	50.0	10.9	10.9	6.5	8.7
	小野地区	77	13.0	58.4	2.6	15.6	0.0	9.1
	野蒜地区	32	9.4	50.0	6.3	18.8	9.4	6.3
	宮戸地区	7	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	10～20歳代	51	5.9	39.2	9.8	33.3	2.0	9.8
	30歳代	80	3.8	53.8	10.0	20.0	5.0	7.5
	40歳代	97	6.2	50.5	9.3	21.6	1.0	11.3
	50歳代	125	4.8	48.8	6.4	20.8	0.8	18.4
	60歳代	144	13.2	55.6	7.6	11.1	2.8	9.0
	70歳代	99	15.2	45.5	7.1	16.2	1.0	14.1
性別	男性	266	10.9	50.4	6.8	17.7	2.3	11.7
	女性	330	7.0	49.7	9.1	19.7	1.8	12.4

■東松島市への愛着度

【問 11】 将来も現在の地区で暮らしていきたいと思えますか。（○は1つ）

「将来も現在の地域で暮らしたい」かについては、「この地区に住み続けたい」63.7%と最も高くなっています。

「この地区で住み続けたい」については。居住地区別では「宮戸地区」85.7%、「赤井地区」74.8%で高く、年齢別では高齢世代になるほど回答した割合が多くなっていますが、前回調査時と比較すると6.7ポイント減少しています。



(単位：%)

		人数	この地区 に住み続 けたい	転居したい が、市内に は住み続け たい	市外に転居 したい、また は転居の 予定がある	わからない
全体		597	63.7	7.2	3.9	25.3
居住地区	矢本東地区	128	62.5	5.5	5.5	26.6
	矢本西地区	103	60.2	7.8	3.9	28.2
	大曲地区	75	56.0	13.3	5.3	25.3
	赤井地区	123	74.8	4.9	0.8	19.5
	大塩地区	46	63.0	0.0	4.3	32.6
	小野地区	77	62.3	13.0	2.6	22.1
	野蒜地区	32	62.5	0.0	6.3	31.3
	宮戸地区	7	85.7	0.0	0.0	14.3
年齢	10～20歳代	51	27.5	13.7	11.8	47.1
	30歳代	80	46.3	6.3	12.5	35.0
	40歳代	97	60.8	9.3	5.2	24.7
	50歳代	125	61.6	7.2	0.8	30.4
	60歳代	144	75.7	6.3	0.7	17.4
	70歳代	99	83.8	4.0	0.0	12.1
性別	男性	266	71.1	5.3	1.9	21.8
	女性	330	57.6	8.8	5.5	28.2

### 3 地域福祉についての質問（問12～14）

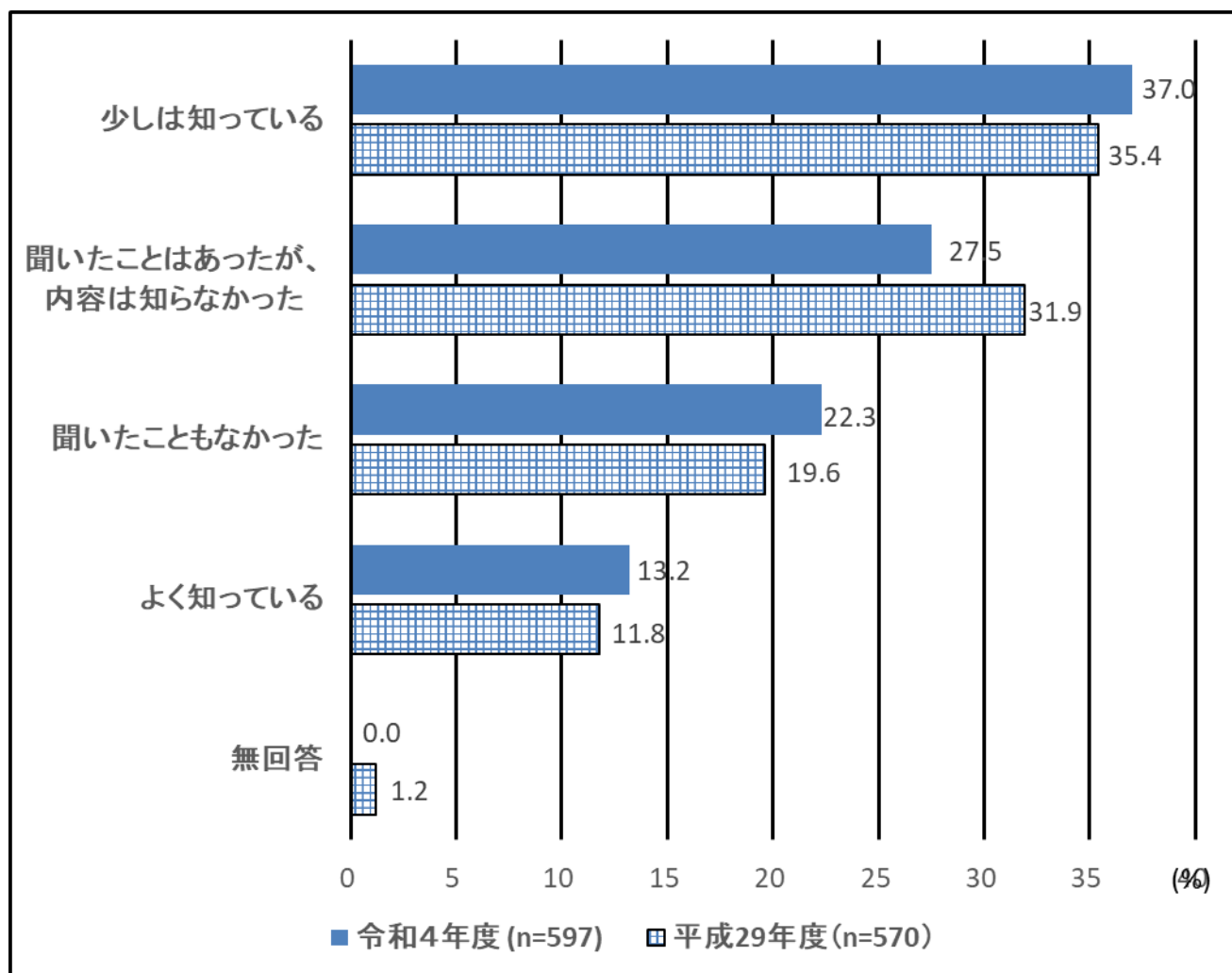
#### ■「地域福祉」の言葉の認知度

【問12】「地域福祉」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

「地域福祉」の言葉の認知度は、「少しは知っている」37.0%が最も多く、次いで「聞いたことはあったが、内容は知らなかった」27.5%となっています。

前回調査時と比較すると、「よく知っている」と「少しは知っている」と回答した割合が3.0ポイント増加しています。

年齢別でみると「聞いたこともなかった」と回答した割合が「20歳代」で29.4%と高く、年代が上がるにつれ、「少しは知っている」と回答した割合は増加しています。



(単位：%)

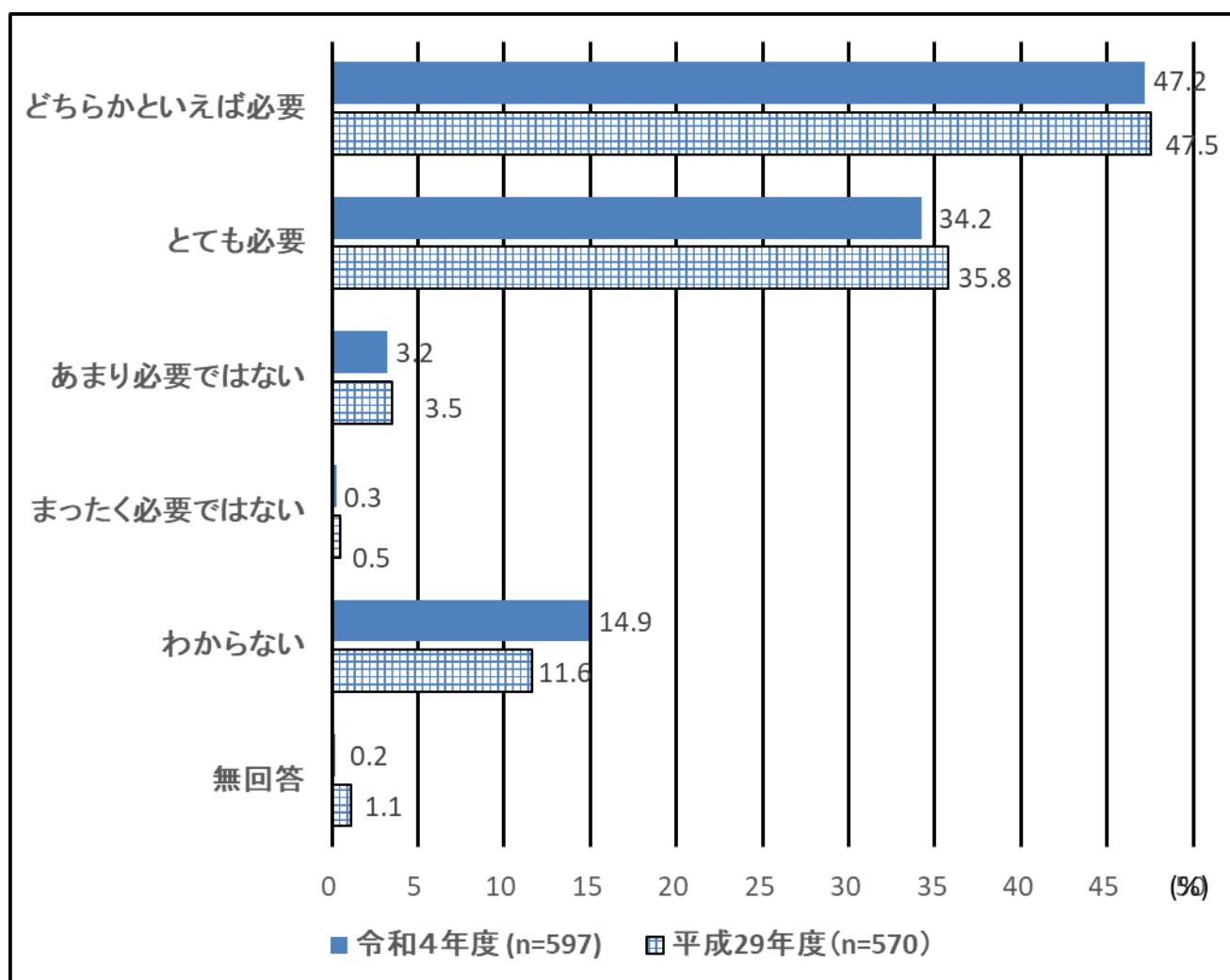
		人数	よく知っている	少しは知っている	聞いたことはあったが、内容は知らなかった	聞いたこともなかった
全体		597	13.2	37.0	27.5	22.3
居住地区	矢本東地区	128	14.8	34.4	27.3	23.4
	矢本西地区	103	14.6	37.9	28.2	19.4
	大曲地区	75	10.7	38.7	25.3	25.3
	赤井地区	123	13.0	43.9	20.3	22.8
	大塩地区	46	17.4	37.0	23.9	21.7
	小野地区	77	11.7	36.4	32.5	19.5
	野蒜地区	32	6.3	28.1	46.9	18.8
	宮戸地区	7	28.6	0.0	28.6	42.9
年齢	10～20歳代	51	11.8	31.4	27.5	29.4
	30歳代	80	6.3	32.5	40.0	21.3
	40歳代	97	10.3	37.1	28.9	23.7
	50歳代	125	8.8	39.2	31.2	20.8
	60歳代	144	13.2	38.2	25.7	22.9
	70歳代	99	28.3	39.4	13.1	19.2
性別	男性	266	16.2	38.3	23.3	22.2
	女性	330	10.9	36.1	30.6	22.4

■地域福祉の必要性

【問 13】「地域福祉」を進めることが必要と思いますか。（○は1つ）

「地域福祉」の推進の考え方については、「どちらかといえば必要」47.2%、「とても必要」34.2%で合計すると 81.4%と高い割合を示しており、前回調査時と比較しても同様の結果となっています。

また、「とても必要だ」と回答した割合が高いのは、居住地区でみると「宮戸地区」「大塩地区」「赤井地区」の順に、年齢別でみると「30歳代」「70歳代」「10～20歳代」の順となっています。



(単位：%)

		人数	とても必要	どちらかといえ ば必要	あまり必要 ではない	まったく必 要ではない	わからない
全体		597	34.2	47.2	3.2	0.3	14.9
居住地区	矢本東地区	128	28.9	48.4	3.1	0.0	19.5
	矢本西地区	103	35.9	52.4	0.0	0.0	10.7
	大曲地区	75	36.0	46.7	4.0	0.0	13.3
	赤井地区	123	39.0	43.9	6.5	0.0	10.6
	大塩地区	46	39.1	43.5	4.3	2.2	10.9
	小野地区	77	33.8	42.9	2.6	0.0	20.8
	野蒜地区	32	21.9	56.3	0.0	3.1	18.8
	宮戸地区	7	42.9	42.9	0.0	0.0	14.3
年齢	10～20歳代	51	37.3	37.3	3.9	0.0	21.6
	30歳代	80	37.5	46.3	2.5	2.5	11.3
	40歳代	97	28.9	49.5	1.0	0.0	19.6
	50歳代	125	33.6	47.2	4.0	0.0	15.2
	60歳代	144	33.3	54.9	1.4	0.0	10.4
	70歳代	99	37.4	39.4	7.1	0.0	16.2
性別	男性	266	34.2	49.2	3.8	0.0	12.8
	女性	330	34.2	45.5	2.7	0.6	16.7



■地域福祉に対する考え方

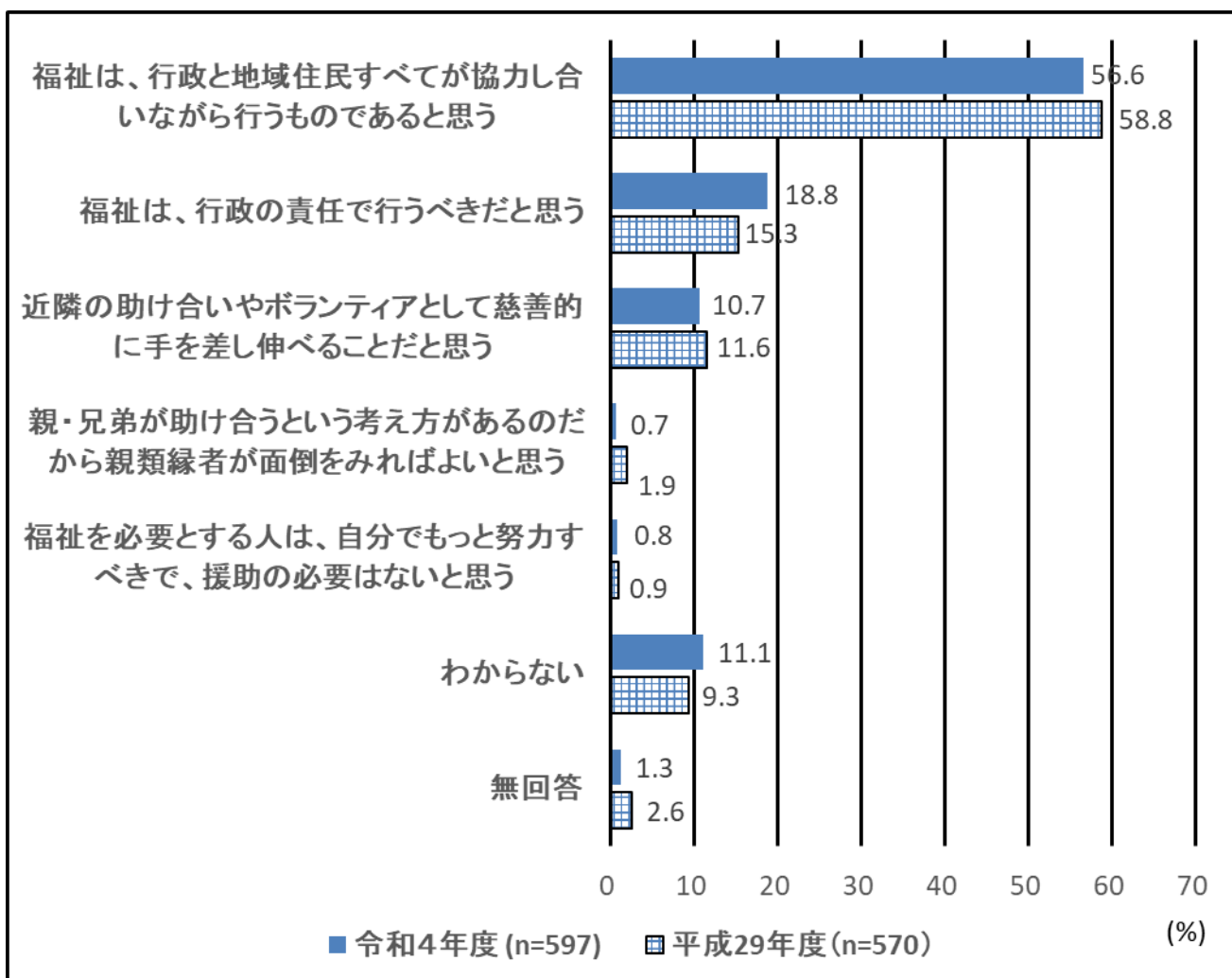
【問 14】 地域福祉に対して、あなたの考え方は次のどれに近いですか。（○は1つ）

「地域における福祉」の考え方については、「福祉は、行政と地域住民（住民組織）すべてが協力し合いながら行うものであると思う」56.6%が最も多く、次に「福祉は、行政（国や地方自治体）の責任で行うべきだと思う」18.8%となっています。

「福祉は、行政と地域住民（住民組織）すべてが協力し合いながら行うものであると思う」の回答の割合を居住地区別にみると、高い順に「宮戸地区」「野蒜地区」「赤井地区」となっています。

「福祉は、行政（国や地方自治体）の責任で行うべきだと思う」の回答の割合を居住地区別にみると、高い順に「矢本東地区」「大曲地区」「大塩地区」となっています。

年齢別では、「福祉は、行政と地域住民（住民組織）すべてが協力し合いながら行うものであると思う」の回答の割合が、「50 歳代」以降の年代が上がるにつれて高くなっています。



(単位：%)

		人数	福祉は、行政と地域住民(住民組織)すべてが協力し合いながら行うものであると思う	福祉とは、近隣の助け合いやボランティアとして慈善的に手を差し伸べることだと思う	福祉は、行政(国や地方自治体)の責任で行うべきだと思う	昔から、親・兄弟が互いに助け合うという考え方があるのだから親類縁者が面倒をみればよいと思う	福祉を必要とする人は、自分でもっと努力すべきで、援助の必要はないと思う	わからない
	全体	597	56.6	10.7	18.8	0.7	0.8	11.1
居住地区	矢本東地区	128	49.2	16.4	22.7	0.0	1.6	9.4
	矢本西地区	103	57.3	9.7	18.4	1.0	1.0	11.7
	大曲地区	75	57.3	9.3	20.0	0.0	0.0	12.0
	赤井地区	123	60.2	12.2	17.9	2.4	0.0	5.7
	大塩地区	46	58.7	6.5	19.6	0.0	0.0	13.0
	小野地区	77	54.5	10.4	16.9	0.0	2.6	13.0
	野蒜地区	32	68.8	0.0	12.5	0.0	0.0	18.8
	宮戸地区	7	71.4	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3
年齢	10～20歳代	51	54.9	13.7	11.8	0.0	2.0	15.7
	30歳代	80	51.3	12.5	22.5	1.3	1.3	11.3
	40歳代	97	52.6	8.2	20.6	1.0	0.0	17.5
	50歳代	125	58.4	8.8	20.8	0.0	0.0	10.4
	60歳代	144	59.0	11.8	17.4	0.7	0.0	9.0
	70歳代	99	59.6	11.1	17.2	1.0	3.0	6.1
性別	男性	266	54.9	9.8	22.6	0.4	0.4	10.5
	女性	330	57.9	11.5	15.8	0.9	1.2	11.5

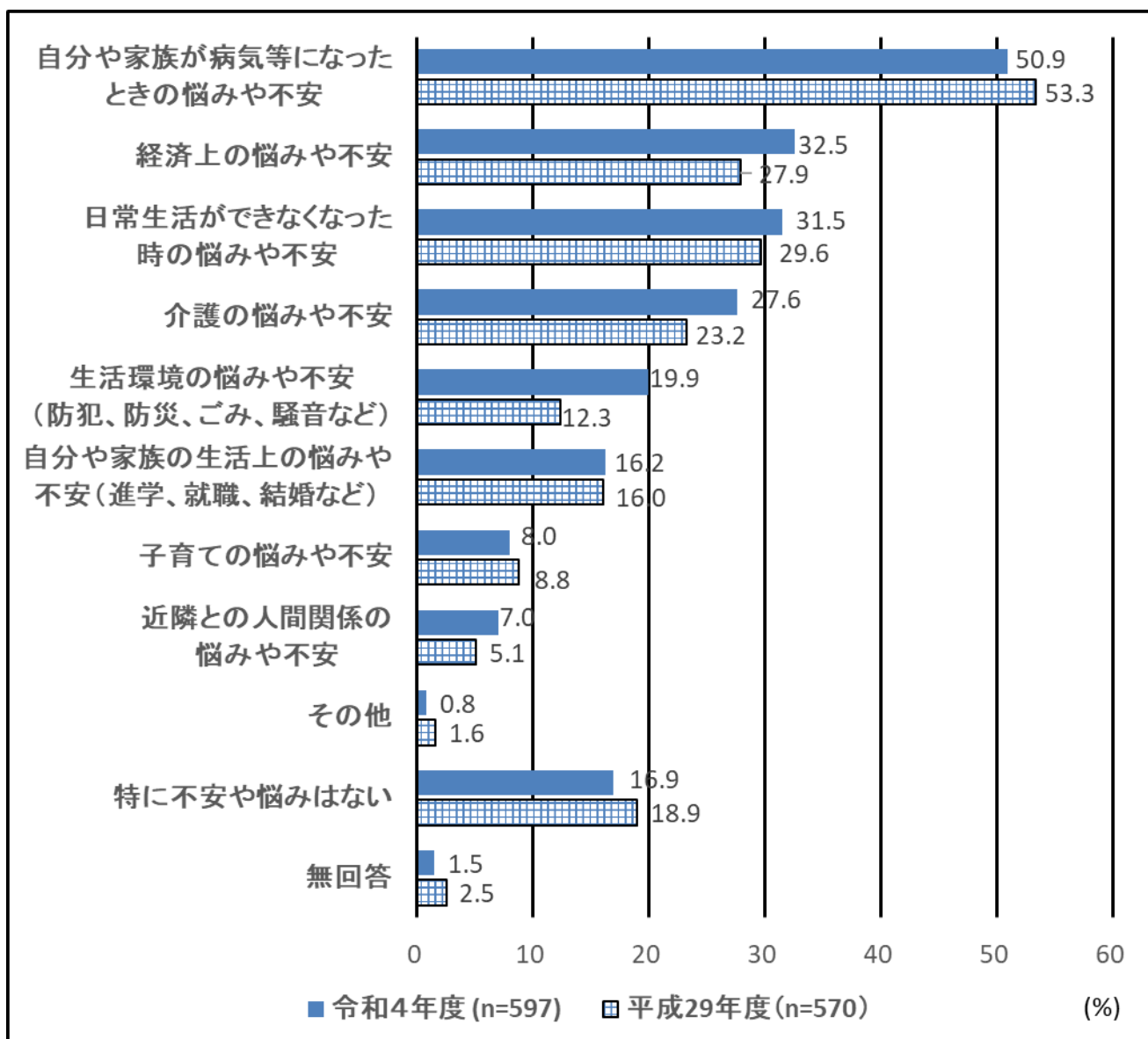
#### 4 “地域での助け合い、支え合い” についての質問（問15～25）

##### ■現在感じている悩みや不安

【問15】毎日の暮らしの中で、どのような悩みや不安を感じていますか。  
（あてはまるものすべてに○）

現在感じている悩みや不安については、多い順に「自分や家族が病気等になったときの悩みや不安」50.9%、「経済上の悩みや不安」32.5%、「日常生活（買い物や家事など）ができなくなった時の悩みや不安」31.5%、「介護の悩みや不安」27.6%となっています。

年代別にみると、「10～20歳代」では「自分や家族の生活上の悩みや不安（進学、就職、結婚など）」39.2%、「特に不安や悩みはない」27.5%と回答した割合が高くなっています。「30歳代」では「子育ての悩みや不安」32.5%、「経済上の悩みや不安」31.3%と回答した割合が高くなっています。「40歳代」では「経済上の悩みや不安」40.2%、「50歳代」では「介護の悩みや不安」39.2%と回答した割合が高くなっています。



(単位：%)

	人数	自分や家族が病気等になったときの悩みや不安	日常生活(買い物や家事など)ができなくなった時の悩みや不安	自分や家族の生活上の悩みや不安(進学、就職、結婚など)	子育ての悩みや不安	介護の悩みや不安	経済上の悩みや不安	生活環境の悩みや不安(防犯、防災、ごみ、騒音など)	近隣との人間関係の悩みや不安	その他	特に不安や悩みはない	
全体	597	50.9	31.5	16.2	8.0	27.6	32.5	19.9	7.0	0.8	16.9	
居住地区	矢本東地区	128	53.9	32.0	16.4	8.6	29.7	39.1	19.5	6.3	0.8	17.2
	矢本西地区	103	50.5	35.9	16.5	8.7	28.2	31.1	18.4	5.8	1.9	18.4
	大曲地区	75	36.0	22.7	18.7	9.3	21.3	30.7	22.7	8.0	1.3	24.0
	赤井地区	123	53.7	33.3	13.8	11.4	26.8	27.6	21.1	4.9	0.0	15.4
	大塩地区	46	65.2	39.1	17.4	6.5	28.3	37.0	19.6	10.9	0.0	6.5
	小野地区	77	49.4	24.7	15.6	5.2	28.6	32.5	16.9	6.5	1.3	15.6
	野蒜地区	32	43.8	28.1	15.6	0.0	34.4	25.0	18.8	15.6	0.0	15.6
	宮戸地区	7	71.4	71.4	14.3	0.0	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3
年齢	10～20歳代	51	31.4	23.5	39.2	13.7	15.7	23.5	13.7	2.0	2.0	27.5
	30歳代	80	48.8	26.3	18.8	32.5	20.0	31.3	21.3	5.0	0.0	20.0
	40歳代	97	49.5	16.5	21.6	13.4	29.9	40.2	23.7	12.4	2.1	17.5
	50歳代	125	57.6	37.6	16.8	1.6	39.2	34.4	25.6	8.8	0.0	14.4
	60歳代	144	52.8	38.2	9.0	0.0	32.6	31.9	16.7	6.3	0.0	13.9
	70歳代	99	53.5	37.4	7.1	0.0	15.2	28.3	15.2	5.1	2.0	16.2
性別	男性	266	47.7	26.7	16.9	9.8	28.6	36.1	19.5	6.8	0.8	16.5
	女性	330	53.6	35.5	15.8	6.7	26.7	29.4	20.0	7.3	0.9	17.3

■ 日常の困りごとについての相談者

【問 16】 日常生活の困っていることは、現在だれに相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

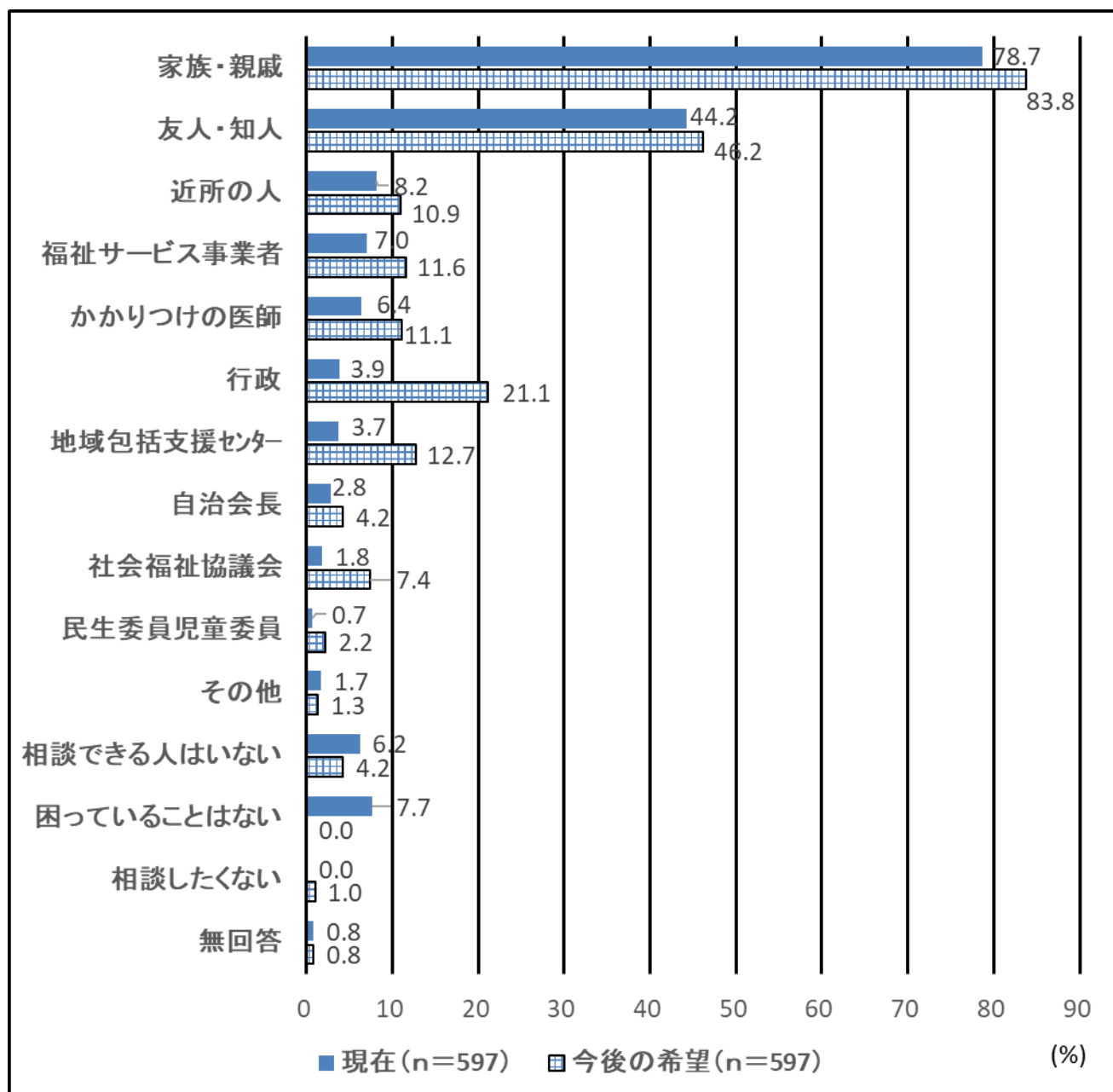
【問 17】 もしこれから日常生活で困ることがおきたら、だれに相談したいですか。

(あてはまるものすべてに○)

「現在の日常生活の困りごとの相談」については、「家族・親戚」が 78.7%と多くの回答となっており、次いで、「友人・知人」44.2%、「近所の人」8.2%となっていることから、日常生活の困りごとはより身近な信頼できる方に相談していることがわかります。

「今後の相談先」についても同様の傾向が見られますが、「行政」「地域包括支援センター」「社会福祉協議会」と回答した割合は、現状より 31.8%増加しています。

年代別でみると、若い世代は「家族・親戚」「友人・知人」と回答した割合が高く、高齢世代になるほど、「近所の人」「かかりつけの医師」「福祉サービス事業者」と回答した割合が高くなっています。



## ■日常の困りごとについての現在の相談者

(単位：%)

	人数	家族・親戚	友人・知人	近所の人	行政	地域包括支援センター	社会福祉協議会	民生委員児童委員	自治会長	かかりつけの医師	福祉サービス事業者	相談できる人はいない	困っていることはない	その他	
全体	597	78.7	44.2	8.2	3.9	3.7	1.8	0.7	2.8	6.4	7.0	6.2	7.7	1.7	
居住地区	矢本東地区	128	78.1	37.5	5.5	5.5	3.9	4.7	0.0	0.8	3.9	4.7	7.0	7.0	3.1
	矢本西地区	103	77.7	39.8	6.8	2.9	3.9	1.0	1.0	2.9	9.7	8.7	6.8	5.8	1.9
	大曲地区	75	85.3	49.3	9.3	2.7	4.0	1.3	2.7	1.3	6.7	6.7	2.7	9.3	1.3
	赤井地区	123	82.1	52.8	8.9	1.6	4.9	0.8	0.8	2.4	6.5	8.9	3.3	6.5	0.0
	大塩地区	46	73.9	52.2	15.2	8.7	4.3	0.0	0.0	4.3	4.3	8.7	13.0	4.3	4.3
	小野地区	77	77.9	39.0	6.5	5.2	2.6	1.3	0.0	3.9	6.5	6.5	0.0	13.0	0.0
	野蒜地区	32	68.8	43.8	6.3	3.1	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	3.1	18.8	6.3	0.0
	宮戸地区	7	57.1	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0
年齢	10～20歳代	51	78.4	43.1	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	9.8	2.0
	30歳代	80	85.0	68.8	5.0	2.5	1.3	0.0	1.3	1.3	1.3	3.8	5.0	6.3	2.5
	40歳代	97	83.5	46.4	7.2	3.1	2.1	1.0	0.0	3.1	4.1	4.1	6.2	5.2	3.1
	50歳代	125	78.4	44.0	6.4	4.8	4.8	3.2	0.8	1.6	5.6	9.6	11.2	6.4	0.8
	60歳代	144	77.8	38.2	11.1	5.6	6.3	1.4	0.7	4.9	8.3	13.9	2.1	6.3	1.4
	70歳代	99	70.7	32.3	14.1	3.0	3.0	4.0	1.0	4.0	11.1	3.0	7.1	14.1	1.0
性別	男性	266	74.1	38.0	9.4	4.9	5.3	2.6	0.8	4.9	6.4	6.4	6.4	9.8	1.1
	女性	330	82.4	49.4	7.3	3.0	2.4	1.2	0.6	1.2	6.4	7.6	6.1	6.1	2.1

## ■日常の困りごとについて今後希望する相談者

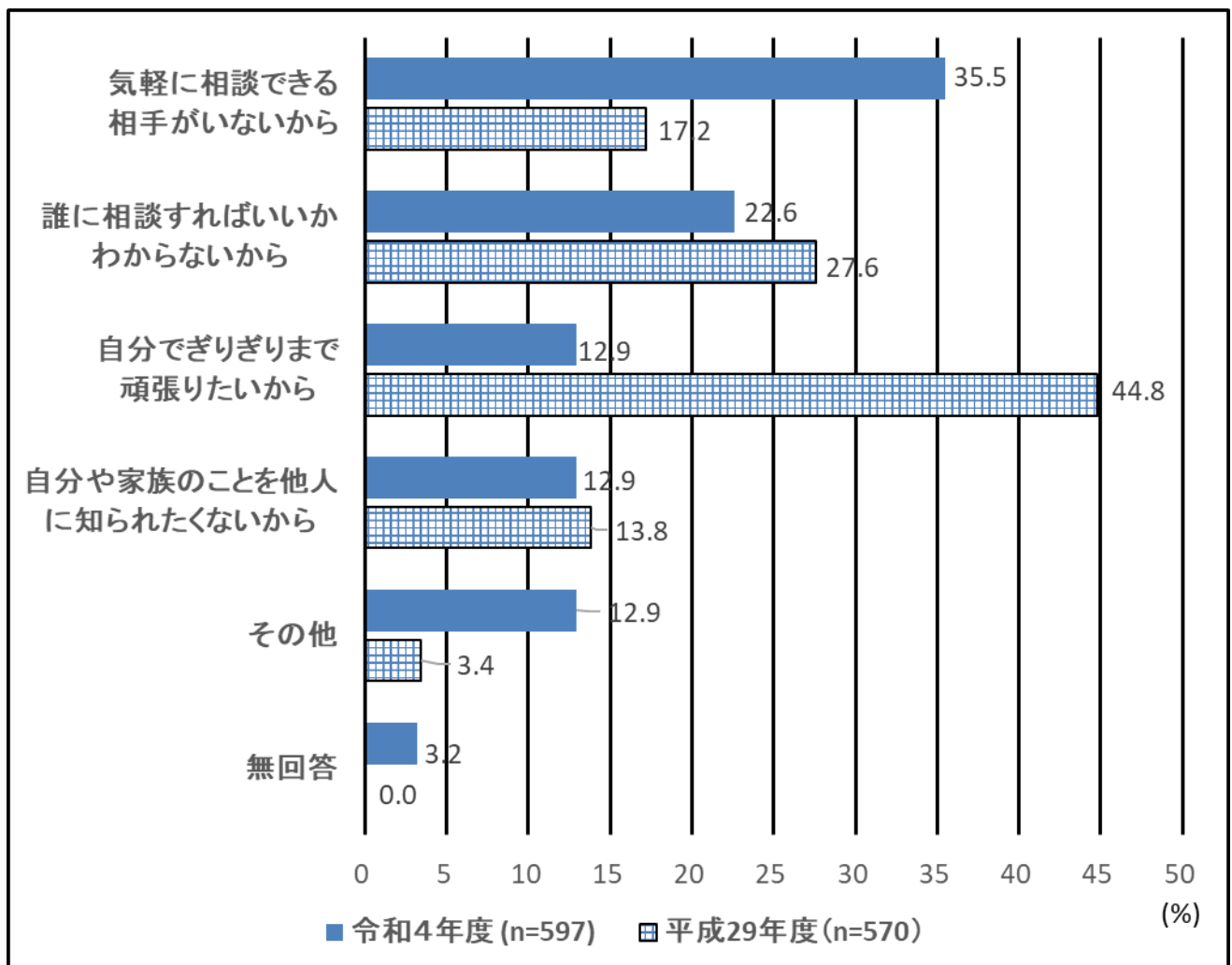
(単位：%)

	人数	家族・親戚	友人・知人	近所の人	行政	地域包括支援センター	社会福祉協議会	民生委員児童委員	自治会長	かかりつけの医師	福祉サービス事業者	その他	相談できる人はいない	相談したくない	
全体	597	83.8	46.2	10.9	21.1	12.7	7.4	2.2	4.2	11.1	11.6	1.3	4.2	1.0	
居住地区	矢本東地区	128	82.8	39.8	4.7	17.2	11.7	7.8	0.0	1.6	9.4	10.9	2.3	5.5	0.8
	矢本西地区	103	81.6	41.7	9.7	17.5	10.7	4.9	1.0	1.9	13.6	10.7	2.9	7.8	1.9
	大曲地区	75	90.7	56.0	13.3	22.7	10.7	6.7	8.0	4.0	12.0	9.3	0.0	0.0	1.3
	赤井地区	123	87.0	51.2	14.6	19.5	17.9	8.1	2.4	4.1	10.6	11.4	0.8	1.6	0.8
	大塩地区	46	73.9	56.5	23.9	28.3	10.9	8.7	2.2	4.3	4.3	15.2	0.0	8.7	0.0
	小野地区	77	88.3	39.0	5.2	28.6	11.7	7.8	1.3	7.8	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
	野蒜地区	32	68.8	50.0	6.3	21.9	12.5	6.3	3.1	12.5	9.4	12.5	0.0	6.3	3.1
	宮戸地区	7	85.7	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
年齢	10～20歳代	51	92.2	49.0	2.0	11.8	3.9	0.0	0.0	2.0	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	80	88.8	73.8	7.5	20.0	8.8	6.3	3.8	1.3	3.8	7.5	1.3	2.5	0.0
	40歳代	97	85.6	46.4	8.2	19.6	8.2	2.1	1.0	3.1	10.3	4.1	3.1	3.1	2.1
	50歳代	125	79.2	44.8	10.4	27.2	12.0	10.4	4.8	3.2	8.0	16.0	0.8	9.6	0.0
	60歳代	144	84.0	39.6	12.5	25.0	20.8	8.3	0.7	8.3	15.3	21.5	1.4	1.4	0.0
	70歳代	99	78.8	33.3	18.2	14.1	14.1	11.1	2.0	4.0	16.2	8.1	1.0	6.1	4.0
性別	男性	266	80.5	41.7	13.5	24.8	10.9	6.8	1.9	5.6	9.8	7.9	1.5	4.1	1.1
	女性	330	86.4	49.7	8.5	17.9	14.2	7.6	2.4	3.0	11.8	14.5	1.2	4.2	0.9

■相談できない、または相談しない理由

【問 17-1】（問 17 で「相談できる人はいない」「相談したくない」を選んだ方）  
理由はなんですか。（○は1つ）

「相談できない、または相談しない理由」は、「気軽に相談できる相手がないから」35.5%が最も多く、次いで「誰に相談すればいいかわからないから」22.6%となっています。  
前回調査時と比較すると、最も多かった「自分でぎりぎりまで頑張りたいから」が41.8%から12.9%に、31.9ポイント大幅に減少しています。



(単位：%)

		人数	自分でぎりぎりまで頑張りたいから	誰に相談すればいいかわからないから	気軽に相談できる相手がいないから	自分や家族のことを他人に知られたくないから	その他
	全体	31	12.9	22.6	35.5	12.9	12.9
居住地区	矢本東地区	8	12.5	12.5	50.0	25.0	0.0
	矢本西地区	10	30.0	30.0	10.0	10.0	20.0
	大曲地区	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	赤井地区	3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	大塩地区	4	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0
	小野地区	0	-	-	-	-	-
	野蒜地区	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	宮戸地区	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	10～20歳代	0	-	-	-	-	-
	30歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	40歳代	5	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0
	50歳代	12	16.7	25.0	50.0	8.3	0.0
	60歳代	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	10	10.0	20.0	30.0	30.0	10.0
性別	男性	14	14.3	21.4	28.6	7.1	28.6
	女性	17	11.8	23.5	41.2	17.6	0.0



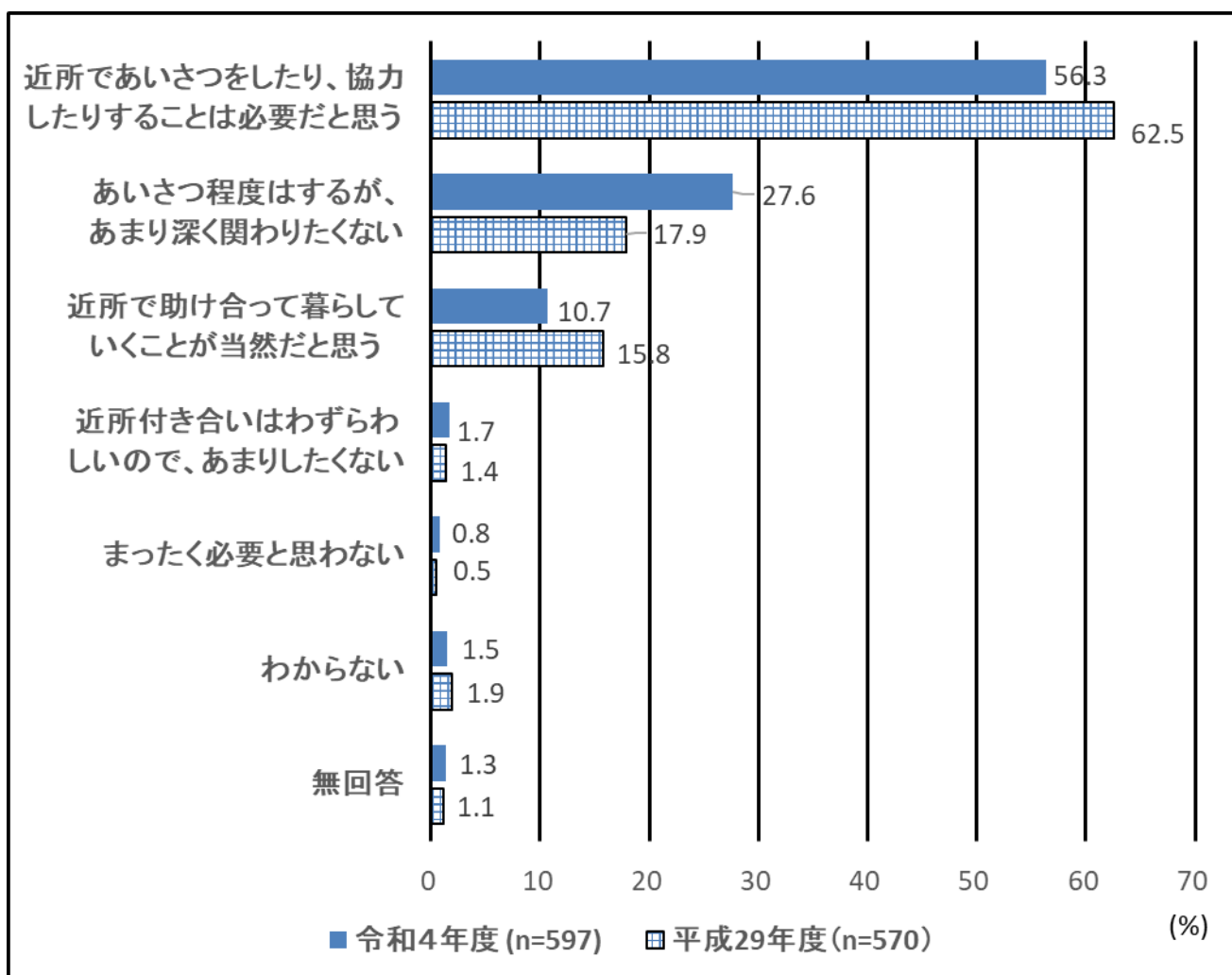
■近所付き合いに対する考え

【問 18】 ご近所付き合いについてどのようにお考えですか。（○は1つ）

市民の「近所付き合いについての考え」については、「近所であいさつをしたり、協力したりすることは必要だと思う」56.3%が最も多く、次に「あいさつ程度はするが、あまり深く関わりたくない」27.6%となっています。

年代別では、「近所で助け合って暮らしていくことが当然だと思う」が若い世代ほど割合が少なくなっています。

前回調査と比較すると、「あいさつ程度はするが、あまり深く関わりたくない」と回答した割合が9.7ポイント増加し、「近所で助け合って暮らしていくことが当然だと思う」と回答した割合が5.1ポイント、「近所であいさつをしたり、協力したりすることは必要だと思う」と回答した割合が6.2ポイント減少しています。



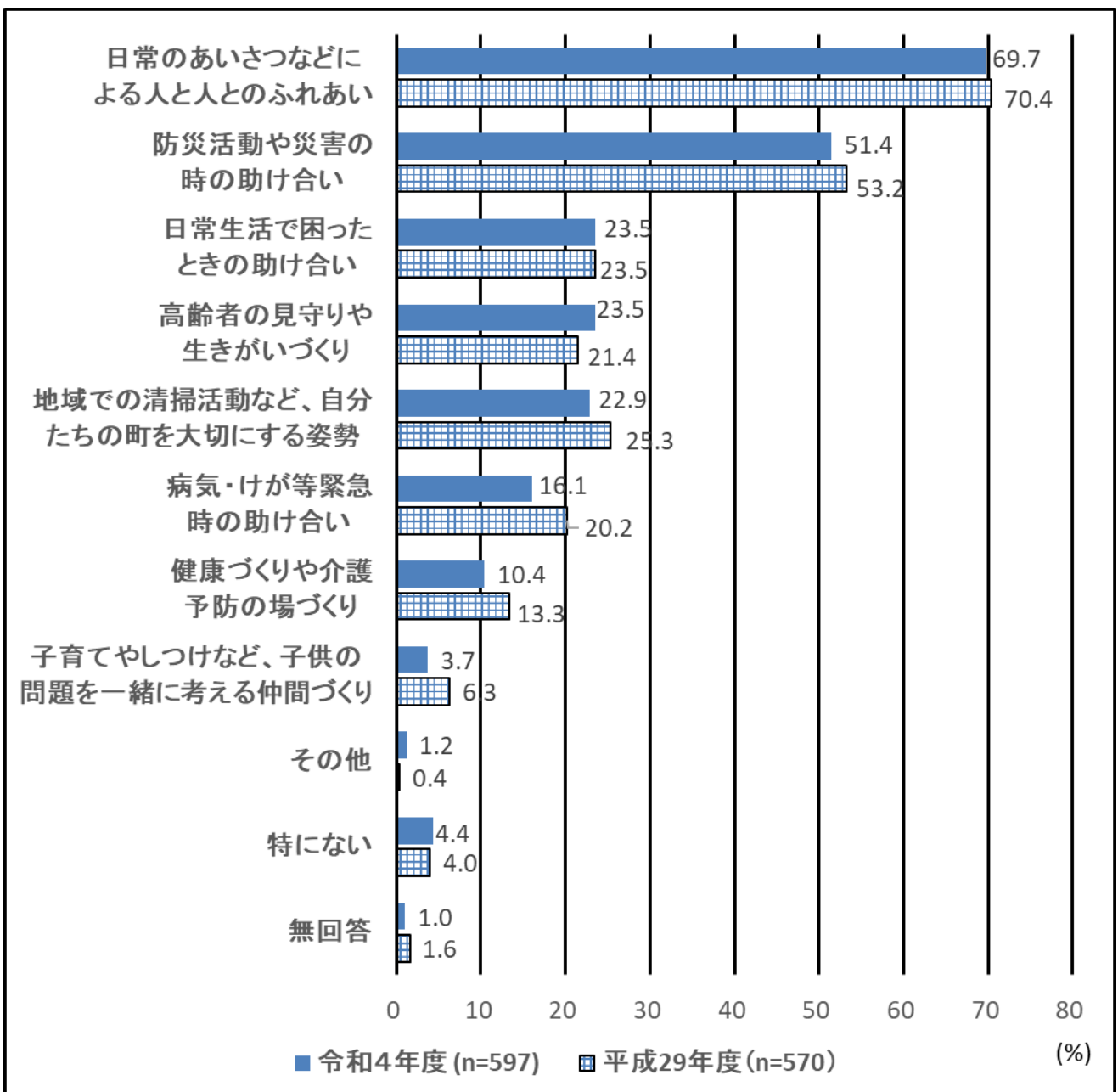
(単位：%)

		人数	近所で助け合って暮らしていくことが当然だと思う	近所であいさつをしたり、協力したりすることは必要だと思う	あいさつ程度はするが、あまり深く関わりたくない	近所付き合いはわずらわしいので、あまりしたくない	まったく必要と思わない	わからない
全体		597	10.7	56.3	27.6	1.7	0.8	1.5
居住地区	矢本東地区	128	8.6	51.6	33.6	2.3	1.6	1.6
	矢本西地区	103	10.7	54.4	28.2	2.9	0.0	1.9
	大曲地区	75	9.3	56.0	29.3	0.0	0.0	4.0
	赤井地区	123	9.8	59.3	27.6	0.8	0.0	0.8
	大塩地区	46	10.9	76.1	6.5	0.0	2.2	0.0
	小野地区	77	14.3	53.2	26.0	3.9	2.6	0.0
	野蒜地区	32	12.5	56.3	28.1	0.0	0.0	3.1
	宮戸地区	7	42.9	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0
年齢	10～20歳代	51	2.0	49.0	37.3	2.0	3.9	5.9
	30歳代	80	5.0	50.0	38.8	5.0	1.3	0.0
	40歳代	97	5.2	59.8	26.8	4.1	0.0	3.1
	50歳代	125	7.2	59.2	30.4	0.8	0.8	1.6
	60歳代	144	16.0	63.2	19.4	0.0	0.7	0.0
	70歳代	99	22.2	47.5	23.2	0.0	0.0	1.0
性別	男性	266	15.8	54.1	23.7	1.9	1.5	1.5
	女性	330	6.7	57.9	30.9	1.5	0.3	1.5

■今後の近所付き合いで大切なこと

【問 19】 ご近所との関わりの中で、今後どのようなことが大切になると思いますか。  
(○は3つまで)

今後近所付き合いで大切なことについて、「日常のあいさつなどによる人と人とのふれあい」69.7%が最も多く、次いで「防災活動や災害の時の助け合い」51.4%、「高齢者の見守りや生きがいづくり」と「日常生活で困ったときの助け合い」が23.5%と続いています。  
前回調査時と比較しても特に大きな差はみられません。



(単位：%)

	人数	日常のあいさつなどによる人と人とのふれあい	子育てやしつけなど、子供の問題を一緒に考える仲間づくり	高齢者の見守りや生きがいづくり	健康づくりや介護予防の場づくり	日常生活で困ったときの助け合い	地域での清掃活動など、自分たちの町を大切にする姿勢	防災活動や災害の時の助け合い	病気・けが等緊急時の助け合い	その他	特になし	
全体	597	69.7	3.7	23.5	10.4	23.5	22.9	51.4	16.1	1.2	4.4	
居住地区	矢本東地区	128	64.8	5.5	18.0	7.0	20.3	17.2	53.9	24.2	0.8	4.7
	矢本西地区	103	74.8	1.9	28.2	6.8	20.4	20.4	47.6	10.7	2.9	2.9
	大曲地区	75	68.0	4.0	26.7	5.3	28.0	22.7	57.3	16.0	1.3	4.0
	赤井地区	123	73.2	2.4	23.6	17.9	27.6	29.3	46.3	13.0	0.0	4.1
	大塩地区	46	73.9	4.3	23.9	13.0	23.9	32.6	54.3	17.4	0.0	2.2
	小野地区	77	63.6	5.2	29.9	15.6	24.7	13.0	42.9	13.0	1.3	6.5
	野蒜地区	32	68.8	3.1	15.6	6.3	12.5	40.6	65.6	15.6	3.1	6.3
	宮戸地区	7	71.4	0.0	0.0	0.0	42.9	28.6	85.7	28.6	0.0	0.0
年齢	10～20歳代	51	62.7	5.9	19.6	7.8	17.6	13.7	52.9	9.8	2.0	9.8
	30歳代	80	65.0	10.0	16.3	2.5	23.8	20.0	40.0	13.8	3.8	10.0
	40歳代	97	64.9	5.2	19.6	9.3	18.6	24.7	61.9	17.5	3.1	3.1
	50歳代	125	73.6	2.4	26.4	8.8	14.4	28.8	54.4	16.0	0.0	4.8
	60歳代	144	70.8	2.1	27.1	13.2	29.9	24.3	53.5	13.9	0.0	2.1
	70歳代	99	74.7	0.0	26.3	17.2	33.3	18.2	42.4	23.2	0.0	1.0
性別	男性	266	68.8	4.1	22.6	7.5	24.1	26.7	46.2	14.3	1.5	5.3
	女性	330	70.3	3.3	24.2	12.7	23.0	19.7	55.5	17.6	0.9	3.6

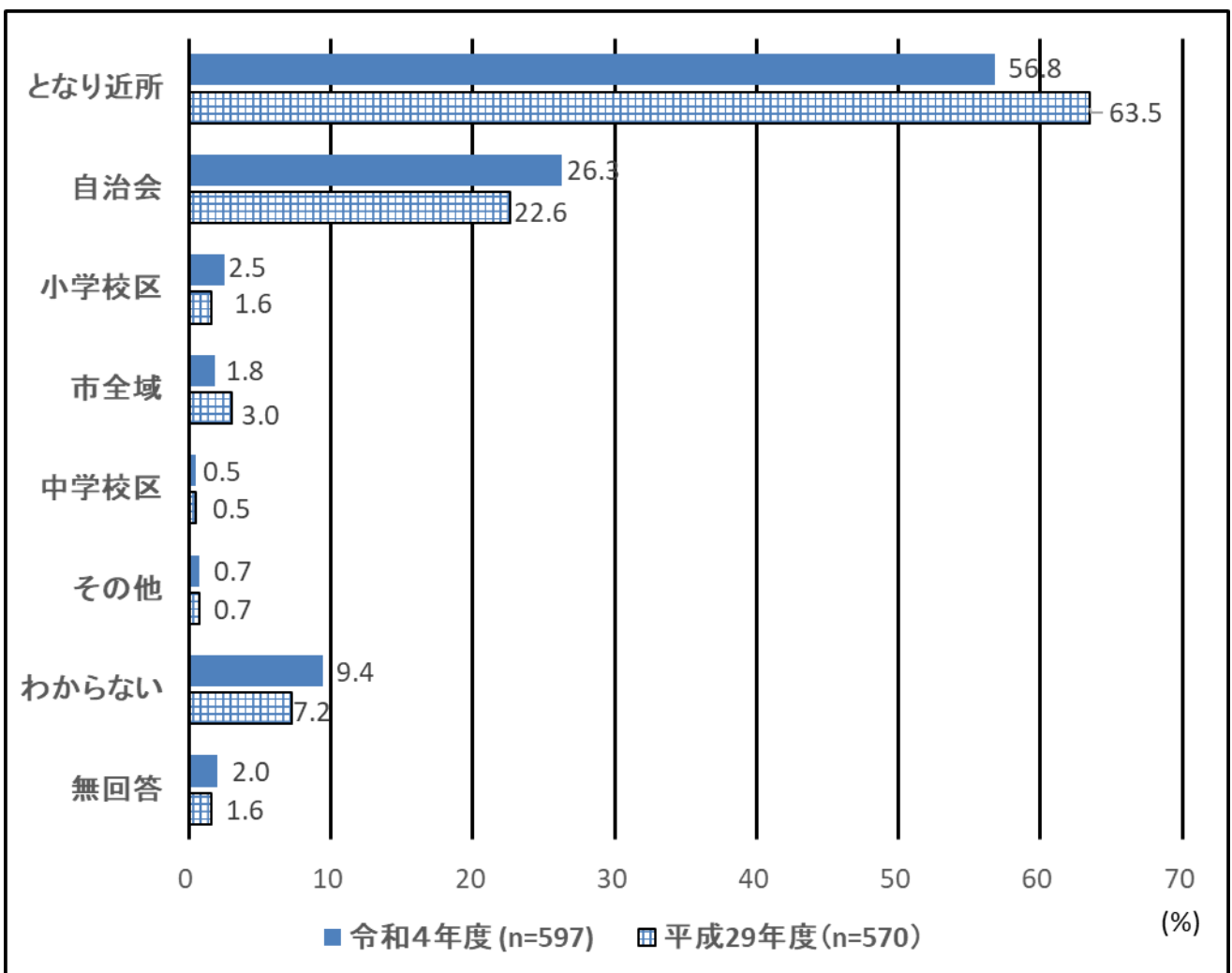
■住民同士が助け合える地域の範囲

【問 20】住民同士がお互いに助け合える地域とは、どの範囲だと思いますか。  
(○は1つ)

住民同士がお互いに助け合える地域の範囲については、「となり近所」が 56.8%で半数以上を占めています。次いで、「自治会」26.3%となっています。

居住地区別にみると、「自治会」では「野蒜地区」「宮戸地区」の割合が高くなっています。

前回調査時と比較すると、「自治会」と回答した割合が 3.7 ポイント増加し、「となり近所」と回答した割合が 6.7 ポイント減少しています。



(単位：%)

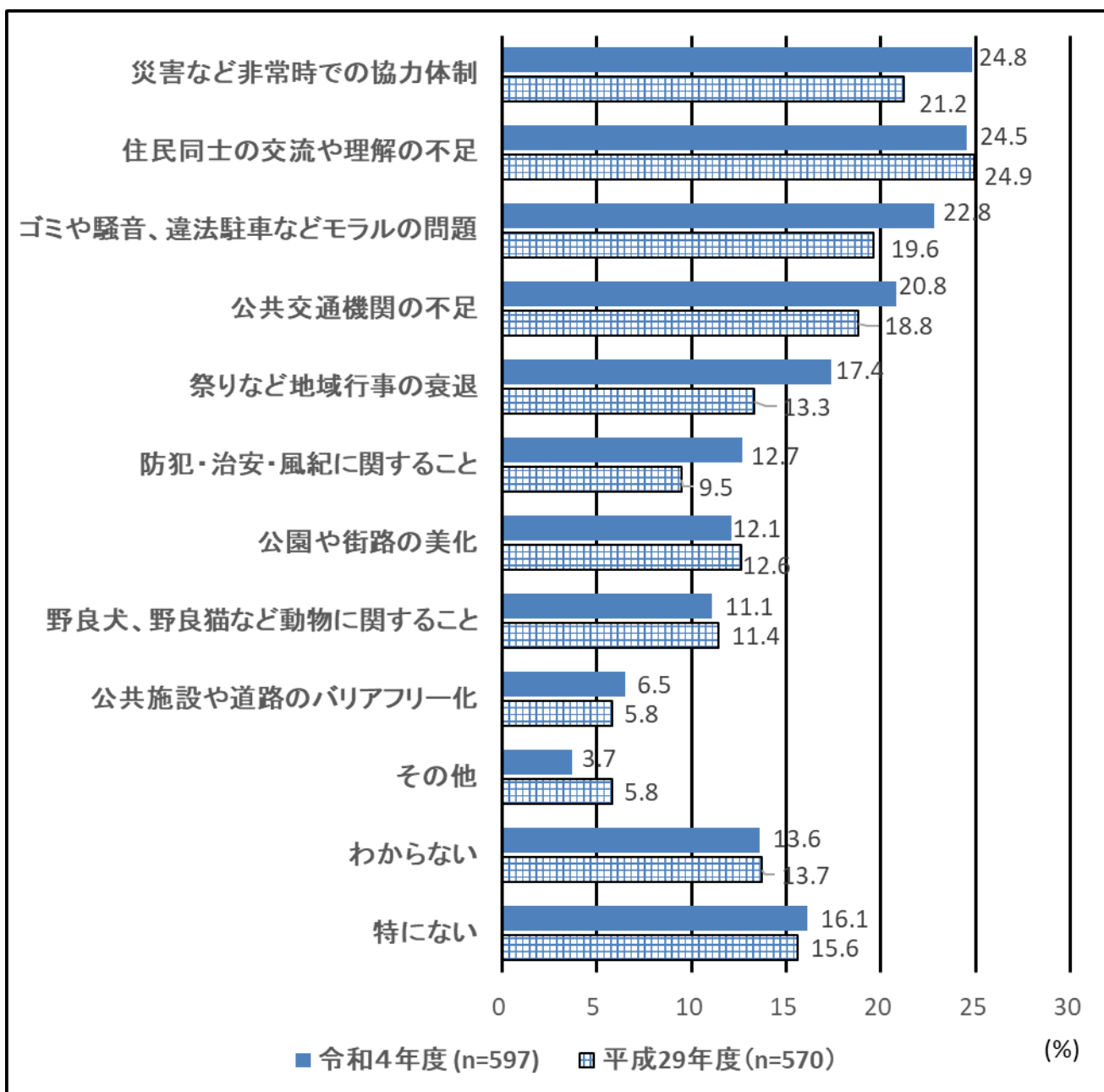
		人数	となり近所	自治会	小学校区	中学校区	市全域	その他	わからない
全体		597	56.8	26.3	2.5	0.5	1.8	0.7	9.4
居住地区	矢本東地区	128	65.6	19.5	1.6	0.0	0.8	0.0	10.2
	矢本西地区	103	56.3	28.2	2.9	0.0	1.9	1.9	6.8
	大曲地区	75	57.3	24.0	0.0	2.7	0.0	0.0	13.3
	赤井地区	123	58.5	26.8	3.3	0.0	3.3	0.0	7.3
	大塩地区	46	52.2	26.1	0.0	2.2	4.3	2.2	10.9
	小野地区	77	51.9	24.7	6.5	0.0	2.6	1.3	9.1
	野蒜地区	32	37.5	50.0	3.1	0.0	0.0	0.0	9.4
	宮戸地区	7	28.6	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
年齢	10～20歳代	51	45.1	27.5	3.9	0.0	7.8	0.0	15.7
	30歳代	80	52.5	27.5	8.8	2.5	0.0	0.0	7.5
	40歳代	97	42.3	33.0	3.1	1.0	2.1	3.1	12.4
	50歳代	125	59.2	24.8	2.4	0.0	1.6	0.0	10.4
	60歳代	144	64.6	26.4	0.0	0.0	2.1	0.0	6.3
	70歳代	99	65.7	20.2	0.0	0.0	0.0	1.0	8.1
性別	男性	266	53.4	28.6	2.6	1.1	2.3	1.1	9.0
	女性	330	59.4	24.5	2.4	0.0	1.5	0.3	9.7

■地域で課題と感じていること

【問 21】 現在あなたがお住まいの地区で、課題と感じていることはありますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

地域で課題と感じていることについては、「災害など非常時での協力体制」「住民同士の交流や理解の不足」「ゴミや騒音、違法駐車などモラルの問題」などが上位に上げられています。

居住地区別で見ると、「公共交通機関の不足」では「宮戸地区」「大塩地区」、「住民同士の交流や理解の不足」では「野蒜地区」での割合が高く、年齢別では、「住民同士の交流や理解の不足」と「災害など非常時での協力体制」で年齢が高くなるほど、割合が高くなっています。



(単位：%)

	人数	祭りなど 地域行事 の衰退	住民同士 の交流や 理解の不足	野良犬、 野良猫な ど動物に 関すること	防犯・治 安・風紀 に関する こと	災害など 非常時で の協力体 制	公共施設 や道路の バリアフ リー化	公園や街 路の美化	ゴミや騒 音、違法 駐車など モラルの 問題	公共交通 機関の不 足	その他	わから ない	特にな い	
全体	597	17.4	24.5	11.1	12.7	24.8	6.5	12.1	22.8	20.8	3.7	13.6	16.1	
居住地区	矢本東地区	128	14.1	17.2	7.8	13.3	24.2	8.6	7.0	19.5	11.7	6.3	14.1	20.3
	矢本西地区	103	20.4	28.2	12.6	12.6	24.3	1.9	11.7	20.4	12.6	2.9	19.4	11.7
	大曲地区	75	14.7	16.0	6.7	9.3	20.0	8.0	13.3	29.3	14.7	4.0	13.3	18.7
	赤井地区	123	12.2	28.5	14.6	13.8	26.0	10.6	16.3	28.5	16.3	1.6	10.6	17.1
	大塩地区	46	23.9	21.7	10.9	6.5	21.7	0.0	13.0	19.6	58.7	2.2	4.3	15.2
	小野地区	77	26.0	31.2	11.7	18.2	28.6	3.9	7.8	15.6	35.1	5.2	16.9	9.1
	野蒜地区	32	12.5	37.5	12.5	6.3	25.0	6.3	21.9	28.1	15.6	3.1	12.5	21.9
	宮戸地区	7	57.1	14.3	28.6	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0
年齢	10～20歳代	51	11.8	15.7	9.8	9.8	15.7	9.8	5.9	13.7	23.5	3.9	13.7	29.4
	30歳代	80	6.3	18.8	2.5	10.0	12.5	6.3	12.5	27.5	8.8	2.5	22.5	17.5
	40歳代	97	15.5	16.5	9.3	14.4	23.7	9.3	12.4	26.8	20.6	9.3	12.4	13.4
	50歳代	125	18.4	16.8	13.6	15.2	24.8	5.6	7.2	25.6	18.4	4.0	16.0	17.6
	60歳代	144	20.1	33.3	14.6	10.4	30.6	7.6	15.3	22.2	25.7	2.1	9.0	11.8
	70歳代	99	26.3	37.4	12.1	15.2	32.3	1.0	15.2	16.2	24.2	1.0	11.1	15.2
性別	男性	266	18.8	27.4	9.4	13.2	25.6	7.9	15.0	25.6	22.9	4.1	11.3	13.9
	女性	330	16.4	21.8	12.4	12.4	24.2	5.2	9.4	20.3	18.8	3.3	15.5	17.9

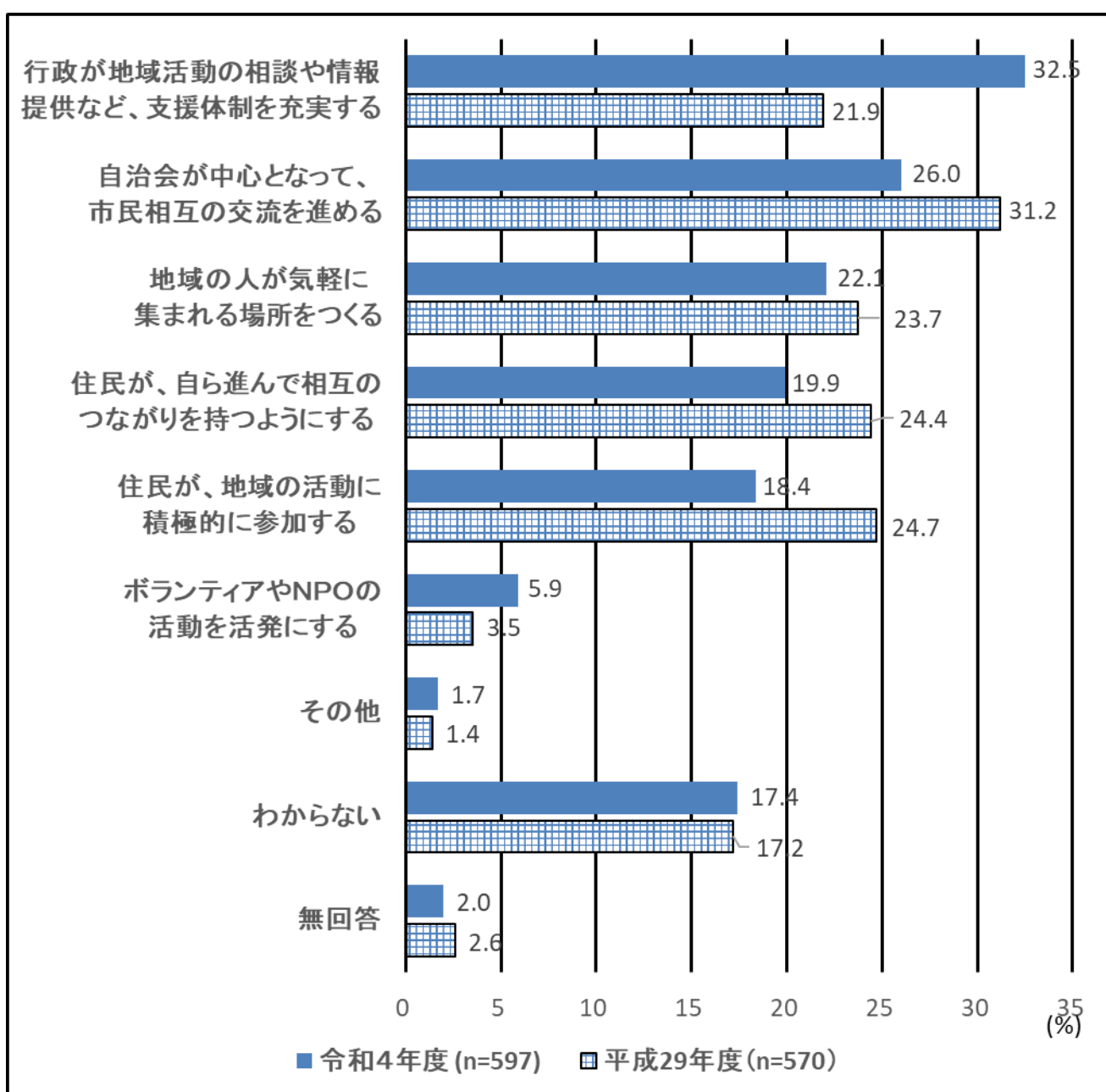


■生活課題に対する住民協力のために必要なこと

【問 22】地域で起こるさまざまな生活課題に対し、住民が相互に協力するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は2つまで）

「生活課題に対し、住民が相互に協力するために必要なこと」については、「行政が地域活動の相談や情報提供など、支援体制を充実する」「自治会が中心となって、市民相互の交流を進める」「地域の人々が気軽に集まれる場所をつくる」などが上位にあげられています。

前回調査時と比較すると、「行政が地域活動の相談や情報提供など、支援体制を充実する」が 10.6 ポイント増加しています。逆に、「住民が、地域の活動に積極的に参加する」が 6.3 ポイント、「自治会が中心となって、市民相互の交流を進める」が 5.2 ポイント、「住民が、自ら進んで相互のつながりを持つようにする」が 4.5 ポイント減少しています。



(単位：%)

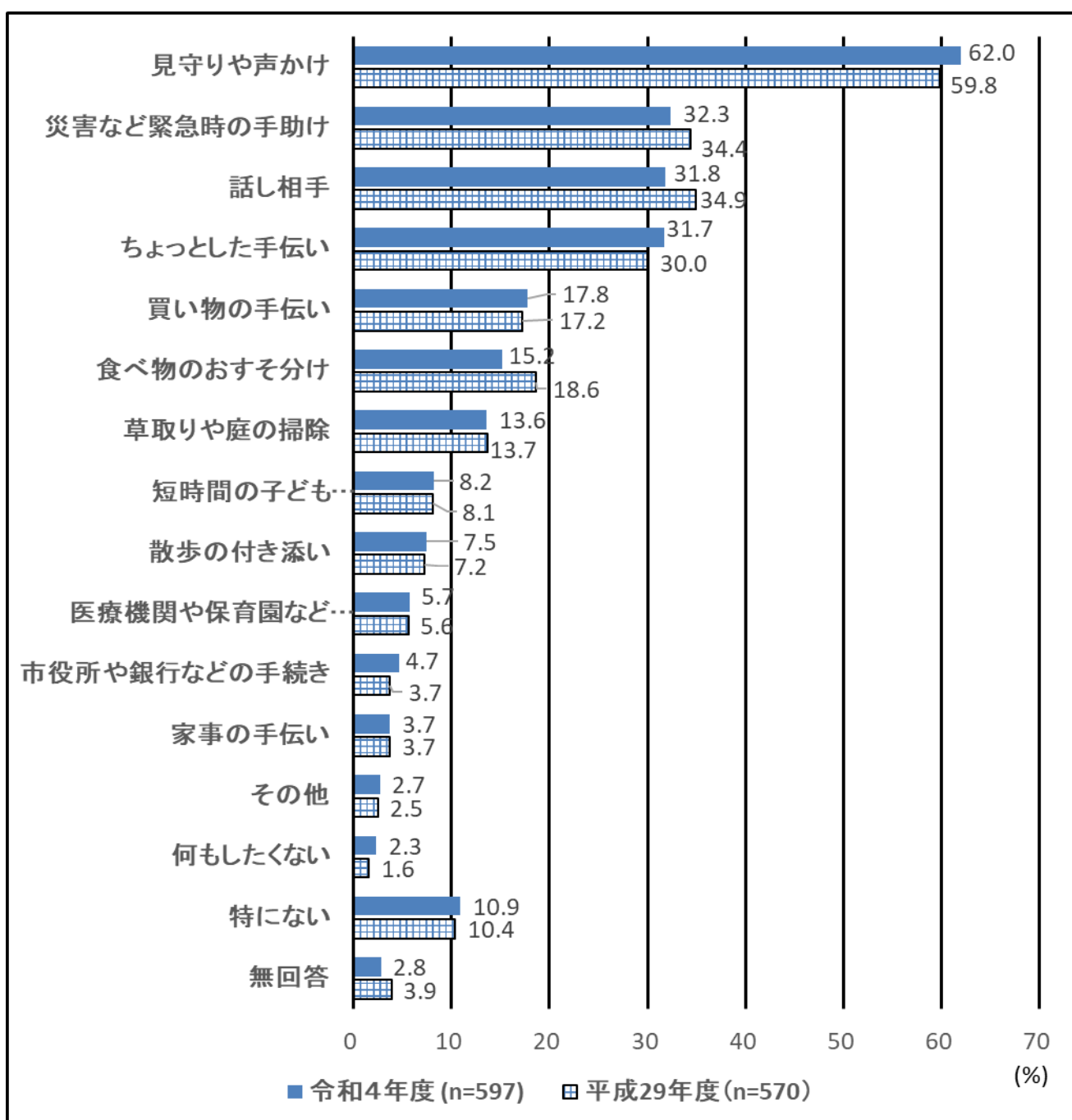
	人数	自治会が中心となって、市民相互の交流を進める	住民が、自ら進んで相互のつながりを持つようにする	住民が、地域の活動に積極的に参加する	ボランティアやNPO※の活動を活発にする	地域の人々が気軽に集まれる場所をつくる	行政が地域活動の相談や情報提供など、支援体制を充実する	その他	わからない	
全体	597	26.0	19.9	18.4	5.9	22.1	32.5	1.7	17.4	
居住地区	矢本東地区	128	21.1	14.1	11.7	4.7	21.9	38.3	3.9	20.3
	矢本西地区	103	26.2	23.3	11.7	4.9	22.3	35.0	1.0	21.4
	大曲地区	75	21.3	26.7	21.3	8.0	21.3	29.3	1.3	16.0
	赤井地区	123	29.3	22.8	22.0	9.8	17.9	32.5	0.0	13.0
	大塩地区	46	23.9	21.7	19.6	4.3	28.3	26.1	2.2	15.2
	小野地区	77	28.6	16.9	27.3	2.6	19.5	32.5	2.6	15.6
	野蒜地区	32	40.6	15.6	21.9	0.0	34.4	21.9	0.0	18.8
	宮戸地区	7	28.6	0.0	28.6	14.3	42.9	28.6	0.0	14.3
年齢	10～20歳代	51	23.5	9.8	9.8	9.8	17.6	33.3	2.0	23.5
	30歳代	80	28.8	18.8	10.0	5.0	27.5	26.3	0.0	25.0
	40歳代	97	23.7	16.5	20.6	5.2	15.5	37.1	6.2	18.6
	50歳代	125	20.0	21.6	15.2	7.2	12.0	45.6	0.8	16.0
	60歳代	144	27.8	22.2	25.7	7.6	30.6	32.6	0.7	9.0
	70歳代	99	32.3	23.2	20.2	1.0	27.3	16.2	1.0	21.2
性別	男性	266	29.7	21.8	17.7	5.6	22.9	33.1	0.8	14.7
	女性	330	23.0	18.2	18.8	6.1	21.5	32.1	2.4	19.7

■困っている家庭にあなたができること

【問 23】 高齢や障がい、子育てなどを理由に、日常生活で困っているご家庭が身近にあった場合、あなたにできることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「日常生活で困っている家庭にあなたができること」については、「見守りや声かけ」が62.0%で最も多く、次いで「災害など緊急時の手助け」「話し相手」「ちょっとした手伝い」の順となっています。

前回調査時と同様、「見守りや声かけ」については、すべての居住地区及び年代で半数以上となっており、男女別にみると、男性では「見守りや声かけ」の次に「災害など緊急時の手助け」の回答が多く、女性では「見守りや声かけ」の次に「話し相手」の回答が多くなっています。



(単位：%)

	人数	見守りや声かけ	話し相手	買い物の手伝い	ちょっとした手伝い (電球の交換や灯油の運搬、ごみ出しなど)	草取りや庭の掃除	食べ物の おすそ分け	家事(料理、掃除、洗濯など)の手伝い	散歩の付き添い	医療機関や保育園などの送り迎え	短時間の子ども預かり	災害など緊急時の 手助け (安否確認、避難所への誘導など)	市役所や銀行などの手続き	その他	何もしたくない	特にない	
全体	597	62.0	31.8	17.8	31.7	13.6	15.2	3.7	7.5	5.7	8.2	32.3	4.7	2.7	2.3	10.9	
居住地	矢本東地区	128	52.3	21.1	14.8	25.8	9.4	7.8	3.1	5.5	7.0	6.3	33.6	6.3	3.1	4.7	15.6
	矢本西地区	103	65.0	31.1	17.5	26.2	13.6	14.6	1.9	6.8	2.9	6.8	32.0	2.9	5.8	1.9	7.8
	大曲地区	75	58.7	36.0	22.7	37.3	12.0	18.7	2.7	5.3	8.0	10.7	24.0	4.0	1.3	1.3	13.3
	赤井地区	123	69.9	36.6	16.3	35.0	17.1	19.5	5.7	8.9	6.5	8.9	33.3	4.1	1.6	1.6	4.9
	大塩地区	46	56.5	26.1	15.2	39.1	15.2	13.0	2.2	4.3	2.2	8.7	34.8	6.5	4.3	4.3	8.7
	小野地区	77	68.8	41.6	24.7	32.5	15.6	19.5	5.2	13.0	7.8	9.1	35.1	5.2	0.0	1.3	10.4
	野蒜地区	32	62.5	31.3	15.6	28.1	15.6	15.6	6.3	9.4	3.1	9.4	31.3	6.3	0.0	0.0	18.8
	宮戸地区	7	57.1	57.1	14.3	42.9	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3
年齢	10～20歳代	51	60.8	29.4	13.7	27.5	7.8	5.9	0.0	3.9	5.9	5.9	27.5	0.0	0.0	7.8	13.7
	30歳代	80	56.3	33.8	12.5	30.0	7.5	12.5	1.3	6.3	1.3	11.3	22.5	1.3	5.0	3.8	11.3
	40歳代	97	57.7	30.9	19.6	33.0	12.4	12.4	6.2	6.2	9.3	14.4	37.1	7.2	4.1	2.1	16.5
	50歳代	125	56.8	25.6	19.2	36.8	12.0	10.4	4.0	7.2	4.8	4.8	35.2	5.6	4.0	3.2	9.6
	60歳代	144	75.0	33.3	20.1	34.0	16.0	21.5	2.8	10.4	5.6	5.6	33.3	4.2	0.0	0.7	5.6
	70歳代	99	58.6	38.4	17.2	23.2	21.2	22.2	6.1	8.1	7.1	9.1	32.3	7.1	3.0	0.0	13.1
性別	男性	266	57.9	25.9	13.5	36.1	15.8	12.0	2.3	6.4	5.3	6.0	40.2	5.6	3.0	1.5	12.4
	女性	330	65.2	36.7	21.2	27.9	11.8	17.9	4.8	8.5	6.1	10.0	25.8	3.9	2.4	3.0	9.7

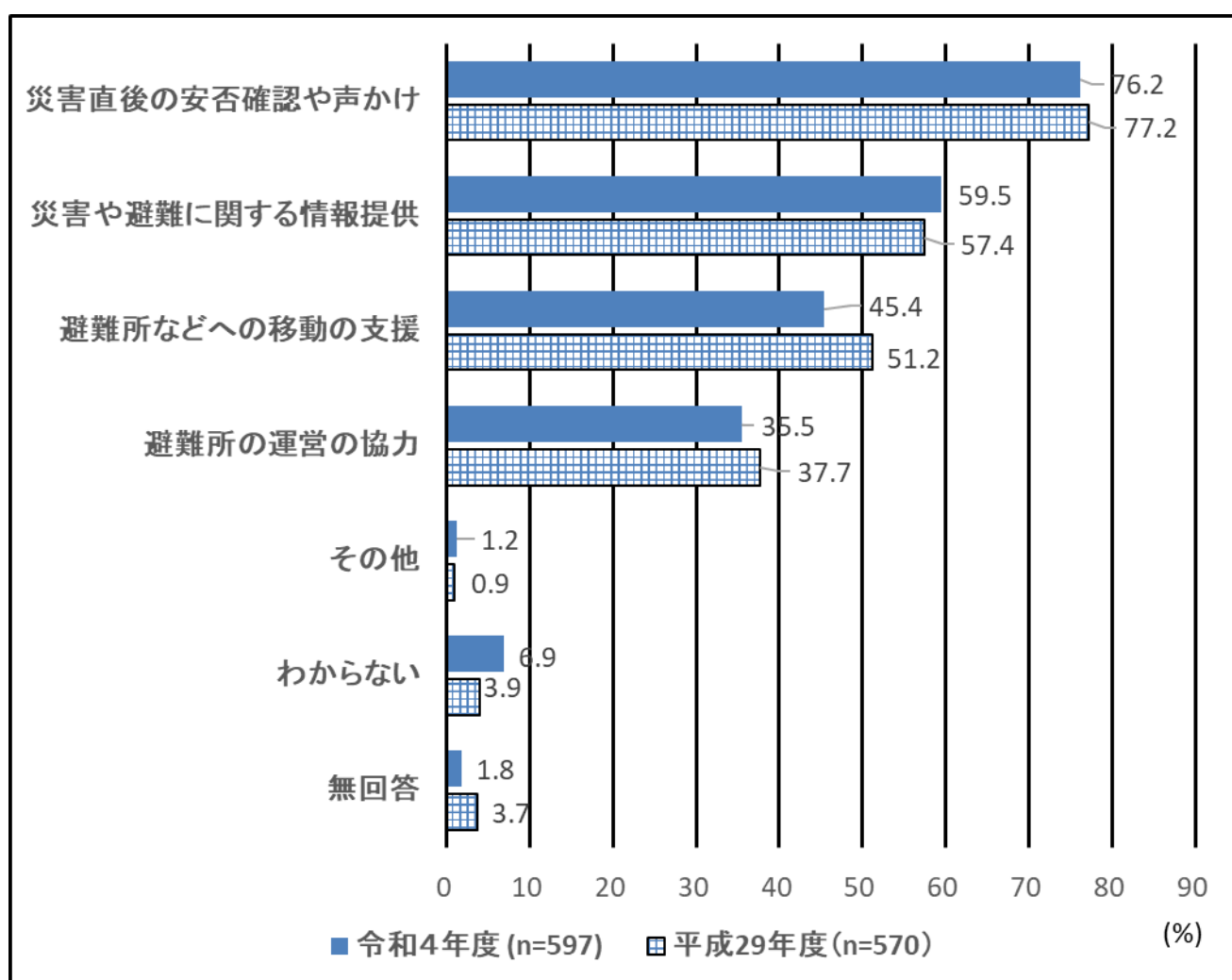
## ■災害時の住民同士の支援

【問 24】災害が起こった場合に、住民がお互いにどのような支援をすることが必要だと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

市民の災害がおこった場合に住民同士で支援が必要なことでは、「災害直後の安否確認や声かけ」が 76.2%で最も多い回答となっており、「災害や避難に関する情報提供」も約 6割と高い意識になっています。

前回調査時と比較すると、ほとんどの回答で前回より回答の割合は減少していますが、順位は変わっていません。

また、年代、性別にみても、特に大きな差はみられません。



(単位：%)

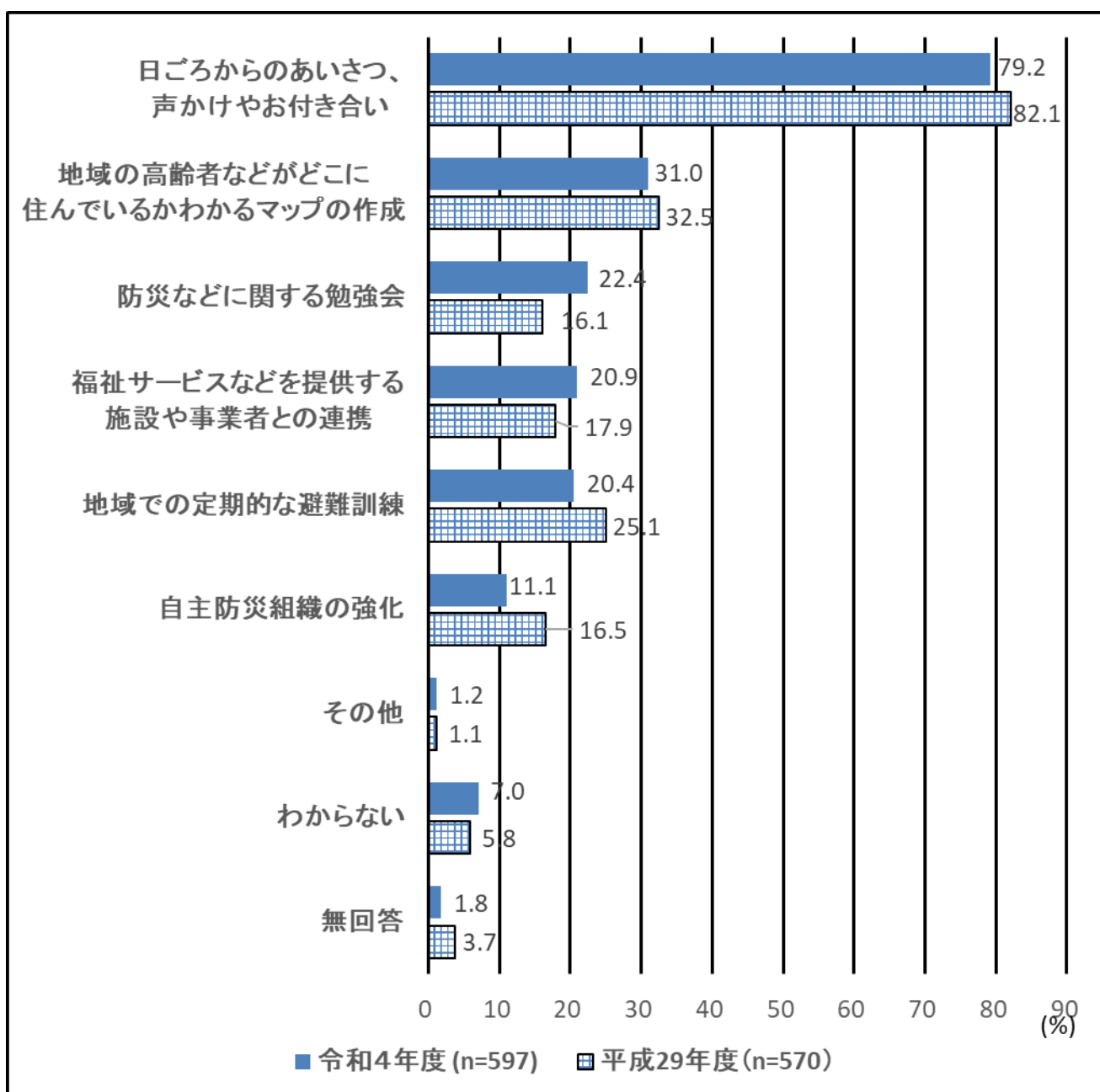
		人数	災害直後の 安否確認や 声かけ	災害や避難 に関する情 報提供	避難所など への移動の 支援	避難所の運 営の協力	その他	わからない
	全体	597	76.2	59.5	45.4	35.5	1.2	6.9
居住 地区	矢本東地区	128	71.1	57.0	34.4	26.6	1.6	9.4
	矢本西地区	103	79.6	55.3	38.8	37.9	1.9	5.8
	大曲地区	75	74.7	64.0	46.7	40.0	0.0	6.7
	赤井地区	123	82.1	60.2	52.8	35.0	0.0	5.7
	大塩地区	46	71.7	58.7	43.5	43.5	2.2	8.7
	小野地区	77	77.9	62.3	55.8	32.5	1.3	6.5
	野蒜地区	32	65.6	65.6	46.9	40.6	3.1	3.1
	宮戸地区	7	85.7	42.9	71.4	71.4	0.0	0.0
年 齢	10～20歳代	51	74.5	64.7	51.0	39.2	0.0	5.9
	30歳代	80	71.3	60.0	46.3	32.5	1.3	7.5
	40歳代	97	75.3	57.7	46.4	27.8	1.0	10.3
	50歳代	125	74.4	57.6	43.2	36.8	1.6	7.2
	60歳代	144	84.7	57.6	48.6	39.6	0.0	4.9
	70歳代	99	71.7	62.6	38.4	35.4	3.0	6.1
性 別	男性	266	73.7	57.9	48.9	36.8	1.5	8.3
	女性	330	78.2	60.6	42.4	34.2	0.9	5.8

■災害時に必要なこと

【問 25】「災害時に住民が支え合う地域づくり」には、何が必要だと思いますか。  
 (〇は3つまで)

市民の「災害時に住民が支えあう地域づくりに必要なこと」については、「日ごろからのあいさつ、声かけやお付き合い」が 79.2%と最も多い回答となっています。次いで、「地域の高齢者などがどこに住んでいるかわかるマップの作成」「防災などに関する勉強会」「福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携」と続いています。

また、居住地区、性別でも、特に大きな差はみられません。



(単位：%)

		人数	日ごろからのあいさつ、声かけやお付き合い	防災などに関する勉強会(危険な箇所への把握など)	地域の高齢者などがどこに住んでいるかひと目でわかるマップの作成	地域での定期的な避難訓練(平常時からの見守り支援)	自主防災組織の強化	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	わからない
全体		597	79.2	22.4	31.0	20.4	11.1	20.9	1.2	7.0
居住地区	矢本東地区	128	73.4	21.1	28.9	10.9	10.9	21.9	2.3	8.6
	矢本西地区	103	79.6	17.5	37.9	20.4	8.7	19.4	1.9	8.7
	大曲地区	75	77.3	21.3	33.3	21.3	12.0	24.0	0.0	5.3
	赤井地区	123	84.6	26.8	35.8	24.4	11.4	26.0	0.0	4.9
	大塩地区	46	82.6	28.3	23.9	28.3	13.0	17.4	2.2	0.0
	小野地区	77	81.8	23.4	20.8	24.7	7.8	15.6	1.3	6.5
	野蒜地区	32	75.0	18.8	25.0	18.8	15.6	18.8	0.0	15.6
	宮戸地区	7	71.4	42.9	28.6	28.6	42.9	14.3	0.0	14.3
年齢	10～20歳代	51	80.4	21.6	27.5	19.6	7.8	25.5	0.0	5.9
	30歳代	80	76.3	21.3	28.8	23.8	8.8	15.0	1.3	7.5
	40歳代	97	72.2	17.5	28.9	13.4	9.3	24.7	4.1	7.2
	50歳代	125	75.2	16.0	34.4	16.0	8.8	20.0	0.8	10.4
	60歳代	144	86.1	31.3	36.1	20.8	13.2	20.8	0.0	2.8
	70歳代	99	82.8	24.2	24.2	29.3	16.2	21.2	1.0	9.1
性別	男性	266	78.6	26.3	27.4	19.2	15.8	21.1	1.1	6.8
	女性	330	79.7	19.4	33.6	21.2	7.3	20.9	1.2	7.3



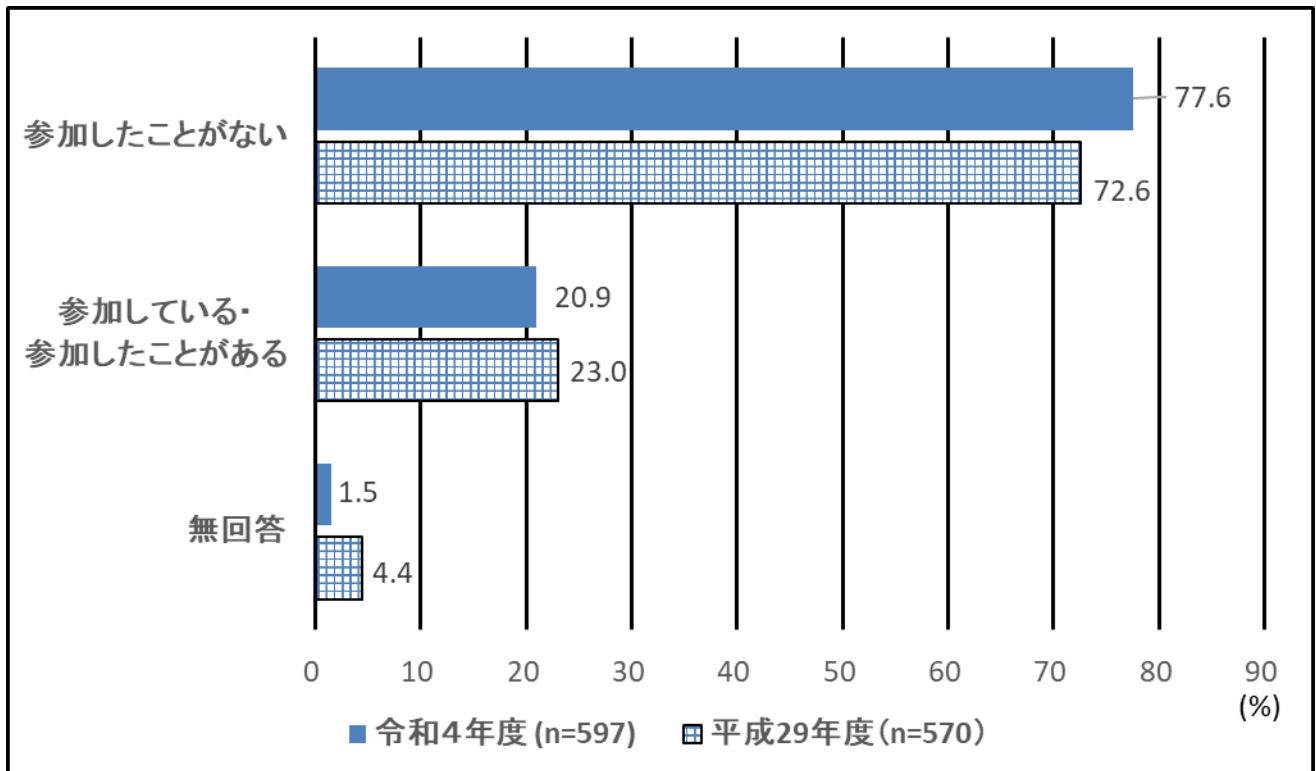
## 5 “ボランティア活動等” についての質問（問26～27）

### ■ボランティア活動等への参加の有無

【問26】 ボランティアやNPOの活動に参加したことがありますか。（○は1つ）

ボランティアやNPOの活動に参加状況では、「参加している・参加したことがある」が20.9%となっています。

「参加している・参加したことがある」を居住地区別で見ると、「小野地区」「野蒜地区」の割合が高く、年齢別では「10～20歳代」が最も高くなっています。前回調査時と比較すると、「参加している・参加したことがある」と回答した割合が2.1ポイント減少し、逆に「参加したことがない」は5.0ポイント増加しています。



(単位：%)

		人数	参加している・ 参加したことがある	参加した ことがない
全体		597	20.9	77.6
居住地区	矢本東地区	128	15.6	82.0
	矢本西地区	103	23.3	75.7
	大曲地区	75	17.3	80.0
	赤井地区	123	19.5	78.9
	大塩地区	46	23.9	73.9
	小野地区	77	28.6	71.4
	野蒜地区	32	28.1	71.9
	宮戸地区	7	0.0	100.0
年齢	10～20歳代	51	29.4	70.6
	30歳代	80	13.8	86.3
	40歳代	97	24.7	74.2
	50歳代	125	16.0	83.2
	60歳代	144	20.8	76.4
	70歳代	99	25.3	71.7
性別	男性	266	22.9	75.9
	女性	330	19.4	78.8

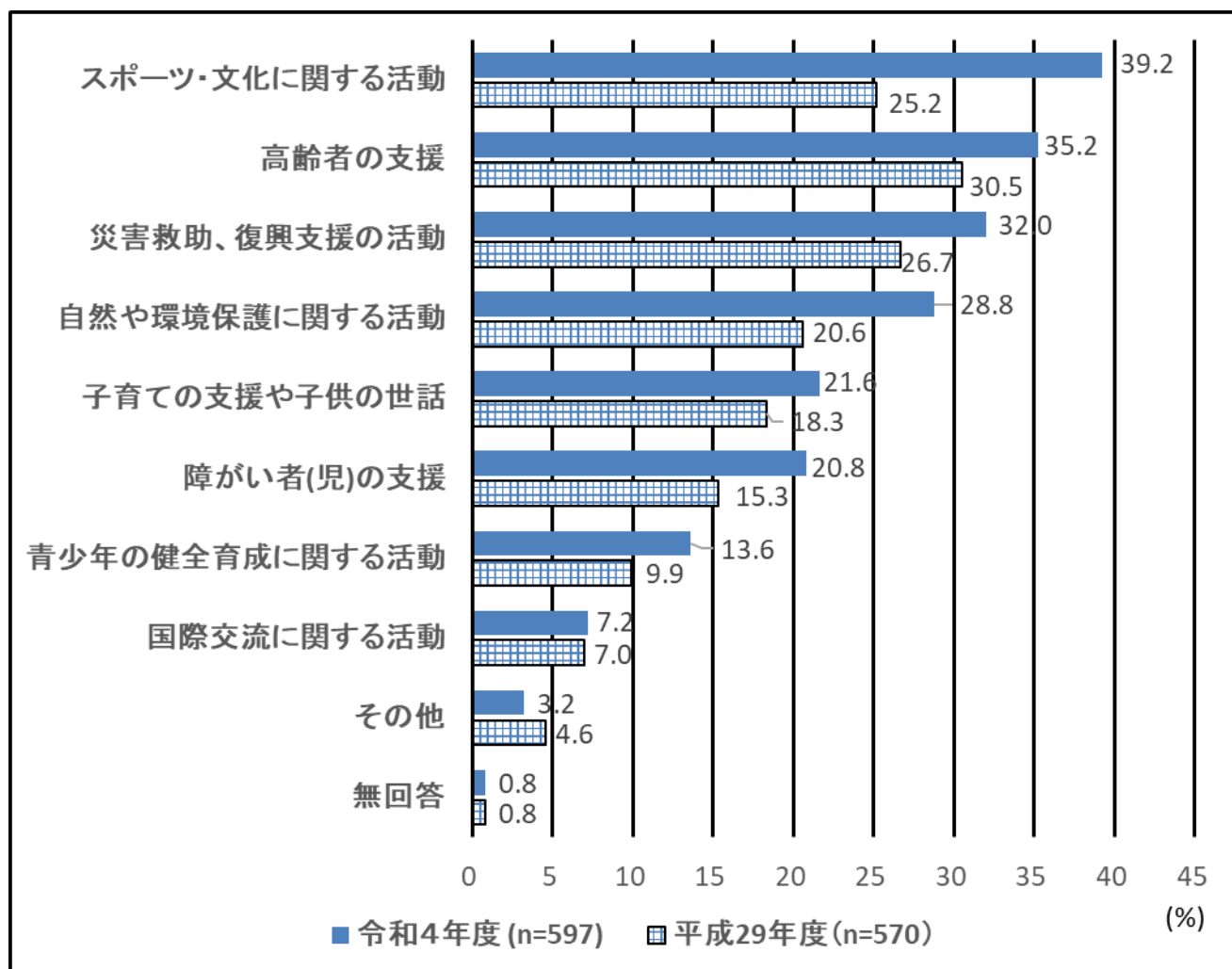
## ■活動の内容

【問 26-1】（問 26 で「参加している・参加したことがある」を選んだ方）  
参加した活動内容は（あてはまるものすべてに○）

「ボランティアやNPOの活動に参加している・参加したことがある」と回答した方に、参加したことがある活動を尋ねたところ、「スポーツ・文化に関する活動」「高齢者の支援」「災害救助、復興支援の活動」が30%以上になっています。

また、男女別にみて、男性が回答した割合が高かったものは「スポーツ・文化に関する活動」「災害救助、復興支援の活動」「自然や環境保護に関する活動」であり、女性が回答した割合が高かったものは「高齢者の支援」「子育ての支援や子供の世話」「スポーツ・文化に関する活動」となっています。

前回調査時と比較すると、全ての活動内容について回答者の割合が増加しています。



(単位：%)

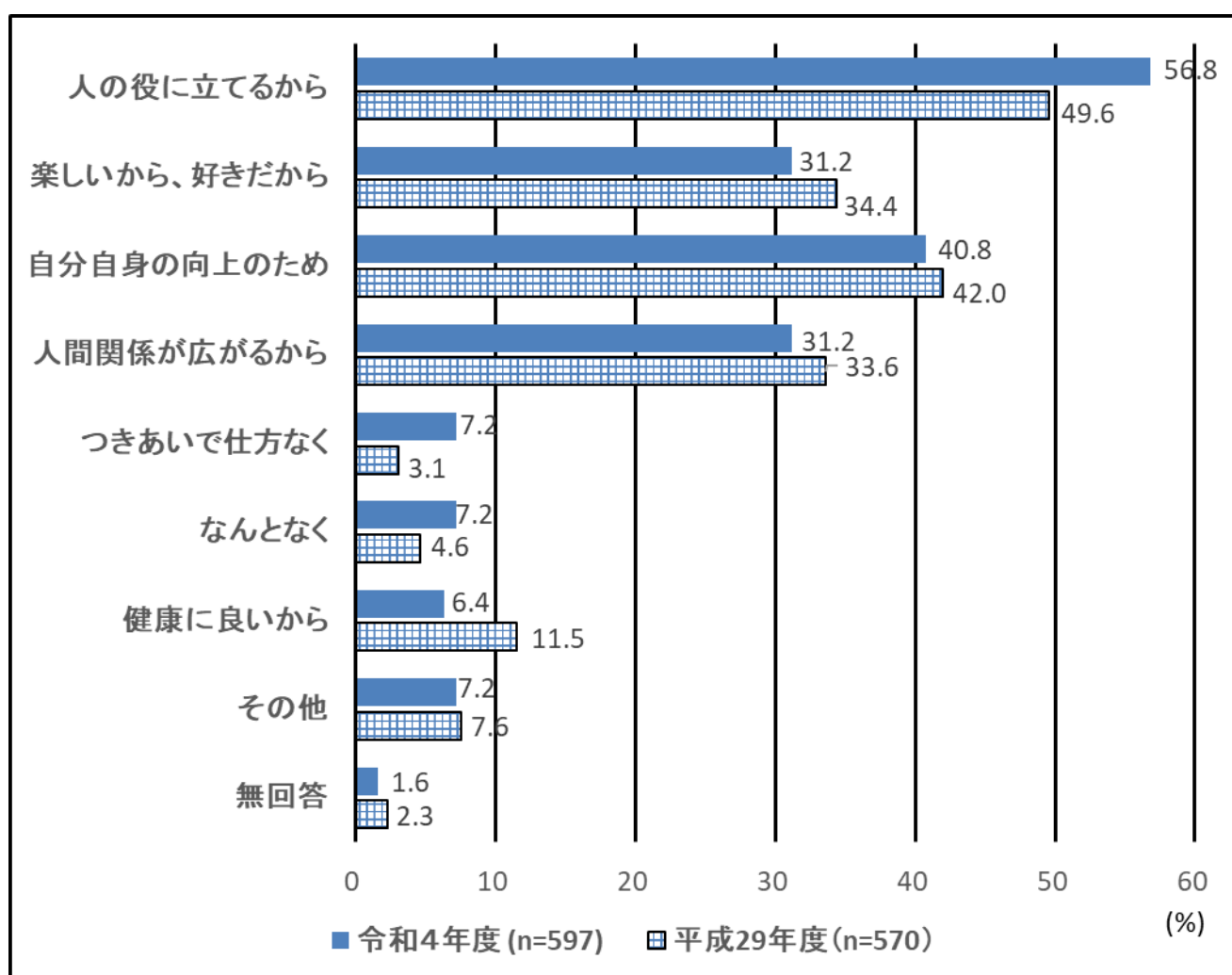
	人数	高齢者の支援	障がい者・児の支援	子育ての支援や子供の世話	自然や環境保護に関する活動	国際交流に関する活動	青少年の健全育成に関する活動	スポーツ・文化に関する活動	災害救助、復興支援の活動	その他	
全体	125	35.2	20.8	21.6	28.8	7.2	13.6	39.2	32.0	3.2	
居住地区	矢本東地区	20	20.0	25.0	15.0	25.0	15.0	20.0	40.0	10.0	10.0
	矢本西地区	24	45.8	33.3	20.8	16.7	0.0	12.5	37.5	29.2	0.0
	大曲地区	13	15.4	23.1	23.1	23.1	0.0	15.4	53.8	30.8	7.7
	赤井地区	24	37.5	25.0	33.3	37.5	12.5	8.3	29.2	37.5	0.0
	大塩地区	11	45.5	18.2	27.3	54.5	0.0	27.3	45.5	63.6	0.0
	小野地区	22	40.9	4.5	18.2	31.8	9.1	13.6	40.9	31.8	0.0
	野蒜地区	9	44.4	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0	44.4	33.3	0.0
	宮戸地区	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢	10～20歳代	15	20.0	26.7	26.7	53.3	6.7	6.7	26.7	26.7	0.0
	30歳代	11	18.2	45.5	45.5	0.0	0.0	0.0	36.4	18.2	0.0
	40歳代	24	29.2	16.7	29.2	16.7	0.0	25.0	37.5	33.3	4.2
	50歳代	20	25.0	15.0	10.0	40.0	15.0	10.0	50.0	20.0	10.0
	60歳代	30	43.3	20.0	13.3	40.0	13.3	20.0	46.7	50.0	0.0
	70歳代	25	56.0	16.0	20.0	16.0	4.0	8.0	32.0	28.0	4.0
性別	男性	61	29.5	14.8	9.8	44.3	8.2	13.1	50.8	47.5	1.6
	女性	64	40.6	26.6	32.8	14.1	6.3	14.1	28.1	17.2	4.7

■参加した理由

【問 26-2】（問 26 で「参加している・参加したことがある」を選んだ方）  
参加した理由は（あてはまるものすべてに○）

「ボランティアやNPOの活動に参加している・参加したことがある」と回答した方に、参加した理由を尋ねたところ、「人の役に立てるから」「自分自身の向上のため」「楽しいから、好きだから」「人間関係が広がるから」が30%以上となっています。

前回調査時と比較すると、回答者の割合が増加したものは「人の役に立てるから」「つきあいで仕方なく」「なんとなく」であり、回答者の割合が減少したものは「楽しいから、好きだから」「健康に良いから」「自分自身の向上のため」「人間関係が広がるから」となっています。



(単位：%)

	人数	楽しいから、好きだから	健康に良いから	自分自身の向上のため	人間関係が広がるから	人の役に立てるから	つきあいで仕方なく	なんとなく	その他	
全体	125	31.2	6.4	40.8	31.2	56.8	7.2	7.2	7.2	
居住地区	矢本東地区	20	35.0	0.0	45.0	35.0	65.0	5.0	10.0	10.0
	矢本西地区	24	41.7	4.2	45.8	29.2	54.2	4.2	0.0	4.2
	大曲地区	13	23.1	7.7	23.1	7.7	30.8	15.4	7.7	7.7
	赤井地区	24	25.0	12.5	45.8	41.7	58.3	4.2	12.5	8.3
	大塩地区	11	45.5	0.0	81.8	36.4	72.7	9.1	0.0	9.1
	小野地区	22	27.3	4.5	22.7	31.8	63.6	13.6	0.0	4.5
	野蒜地区	9	22.2	22.2	22.2	33.3	33.3	0.0	33.3	11.1
	宮戸地区	0	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢	10～20歳代	15	66.7	6.7	40.0	26.7	46.7	6.7	13.3	0.0
	30歳代	11	9.1	0.0	45.5	0.0	45.5	0.0	9.1	18.2
	40歳代	24	37.5	4.2	37.5	25.0	58.3	12.5	8.3	4.2
	50歳代	20	20.0	0.0	45.0	25.0	65.0	5.0	0.0	15.0
	60歳代	30	33.3	6.7	40.0	43.3	53.3	10.0	10.0	6.7
	70歳代	25	20.0	16.0	40.0	44.0	64.0	4.0	4.0	4.0
性別	男性	61	26.2	8.2	36.1	34.4	60.7	9.8	6.6	4.9
	女性	64	35.9	4.7	45.3	28.1	53.1	4.7	7.8	9.4

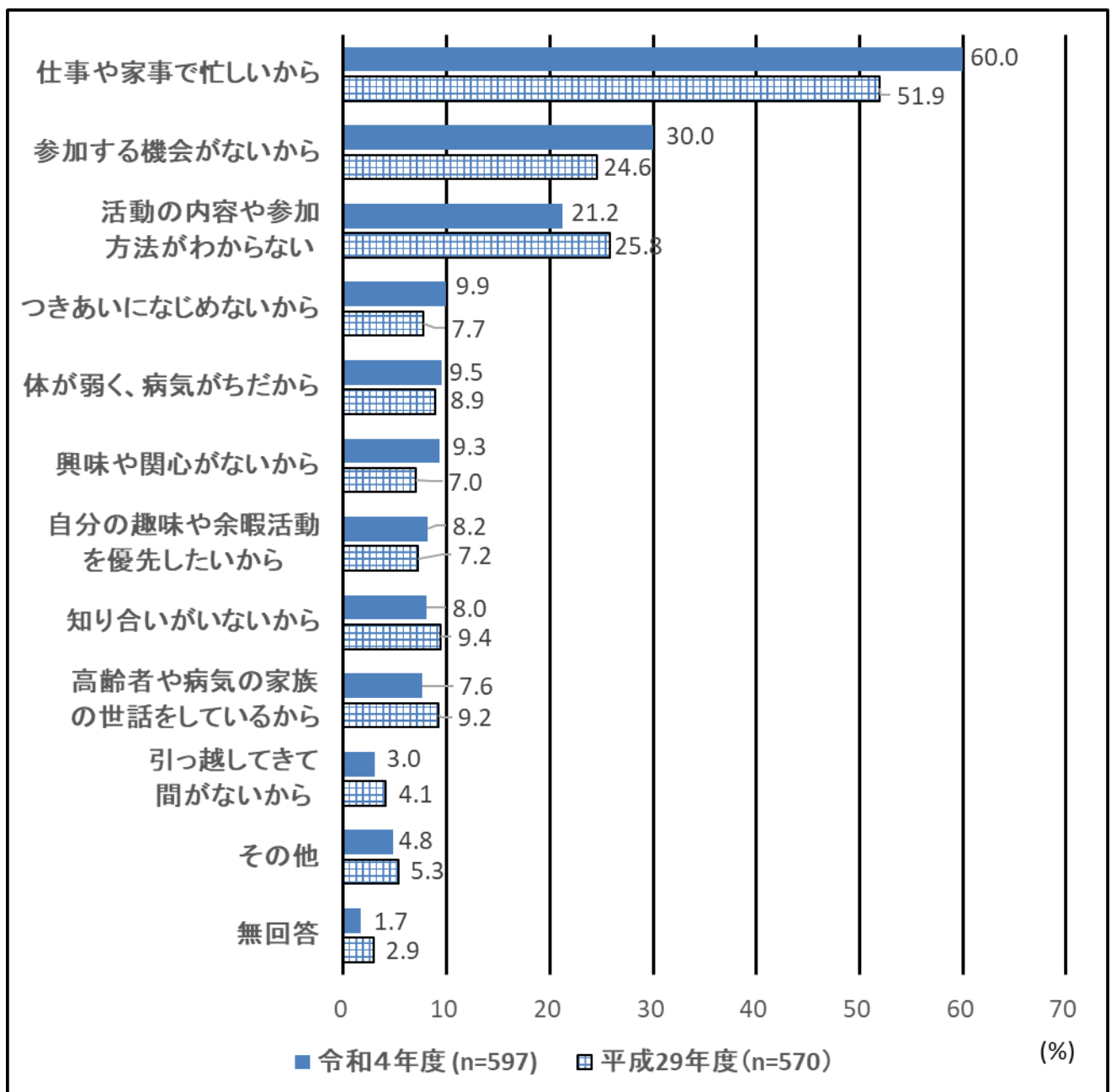
■参加したことがない理由

【問 26-3】（問 26 で「参加したことがない」を選んだ方）  
 参加したことがない理由は（あてはまるものすべてに○）

「ボランティアやNPOの活動に参加したことがない」と回答した方に、その理由を尋ねたところ、「仕事や家事で忙しいから」「参加する機会がないから」が特に多い理由となっています。

年齢別でみると、「仕事や家事で忙しいから」は「30歳代」と「40歳代」で70%以上であり、「参加する機会がないから」は「10～20歳代」と「60歳以上」で30%以上となっています。

前回調査時と比較すると、回答者の割合が増加した主なものは「仕事や家事で忙しいから」「参加する機会がないから」であり、回答者が減少した主なものは「活動の内容や参加方法がわからないから」「高齢者や病気の家族の世話をしているから」となっています。



(単位：%)

	人数	仕事や家事で忙しいから	体が弱く、病気がちだから	高齢者や病気の家族の世話をしているから	活動の内容や参加方法がわからないから	参加する機会がないから	自分の趣味や余暇活動を優先したいから	興味や関心がないから	引っ越してきて間がないから	知り合いがいないから	つきあいにないから	その他	
全体	463	60.0	9.5	7.6	21.2	30.0	8.2	9.3	3.0	8.0	9.9	4.8	
居住地区	矢本東地区	105	54.3	10.5	4.8	20.0	27.6	11.4	11.4	1.9	6.7	19.0	4.8
	矢本西地区	78	64.1	14.1	5.1	19.2	33.3	9.0	10.3	5.1	7.7	6.4	3.8
	大曲地区	60	55.0	13.3	10.0	21.7	25.0	8.3	5.0	3.3	8.3	6.7	6.7
	赤井地区	97	61.9	5.2	9.3	17.5	33.0	4.1	7.2	3.1	10.3	11.3	4.1
	大塩地区	34	61.8	2.9	2.9	20.6	32.4	8.8	14.7	5.9	17.6	8.8	5.9
	小野地区	55	58.2	9.1	14.5	29.1	30.9	9.1	9.1	1.8	5.5	1.8	3.6
	野蒜地区	23	73.9	8.7	0.0	26.1	30.4	4.3	13.0	0.0	0.0	4.3	8.7
	宮戸地区	7	71.4	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
年齢	10～20歳代	36	44.4	5.6	0.0	25.0	33.3	22.2	5.6	8.3	8.3	16.7	2.8
	30歳代	69	79.7	1.4	0.0	18.8	24.6	14.5	11.6	4.3	13.0	8.7	4.3
	40歳代	72	75.0	5.6	8.3	16.7	26.4	8.3	12.5	6.9	9.7	11.1	4.2
	50歳代	104	63.5	8.7	12.5	22.1	26.9	5.8	10.6	0.0	5.8	13.5	4.8
	60歳代	110	50.0	11.8	11.8	21.8	33.6	4.5	6.4	0.0	6.4	7.3	5.5
	70歳代	71	43.7	21.1	4.2	23.9	35.2	4.2	8.5	4.2	7.0	5.6	5.6
性別	男性	202	60.9	10.9	5.9	19.8	28.2	11.9	12.4	4.5	8.9	13.9	4.0
	女性	260	59.2	8.5	8.8	22.3	31.2	5.4	6.9	1.9	7.3	6.9	5.4

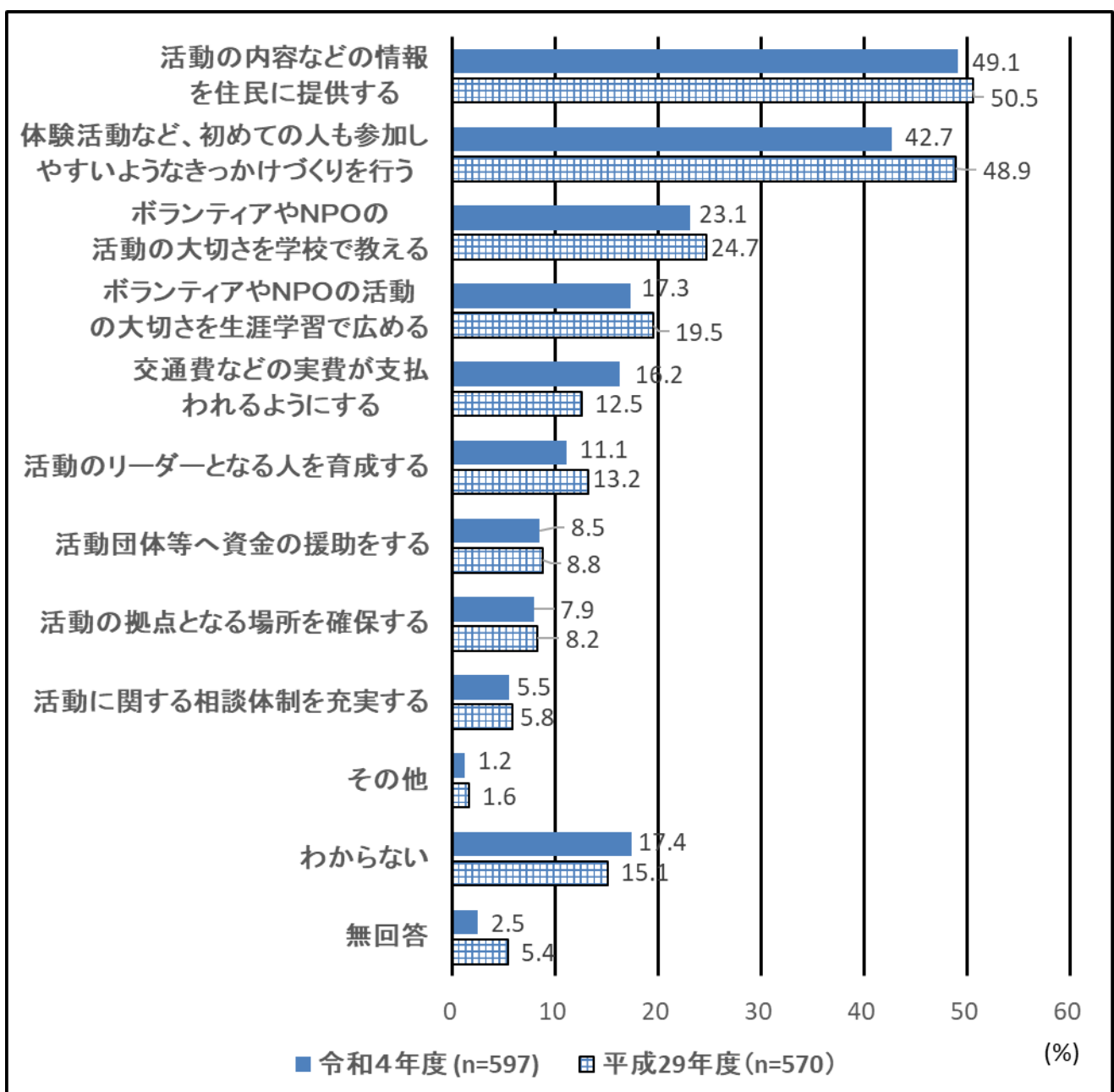


■ ボランティア活動などを活発化するために必要なこと

【問 27】 ボランティアやNPOの活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「ボランティアやNPOの活動を活発にするために必要なこと」では、「活動の内容などの情報を住民に提供する」49.1%で最も多く、次に「体験活動など、初めての人も参加しやすいようなきっかけづくりを行う」42.7%、「ボランティアやNPOの活動の大切さを学校で教える」23.1%となっています。

前回調査時と比較すると、「交通費などの実費が支払われるようにする」は3.7ポイント増加しましたが、それ以外のほとんどの回答の割合は減少しています。



(単位：%)

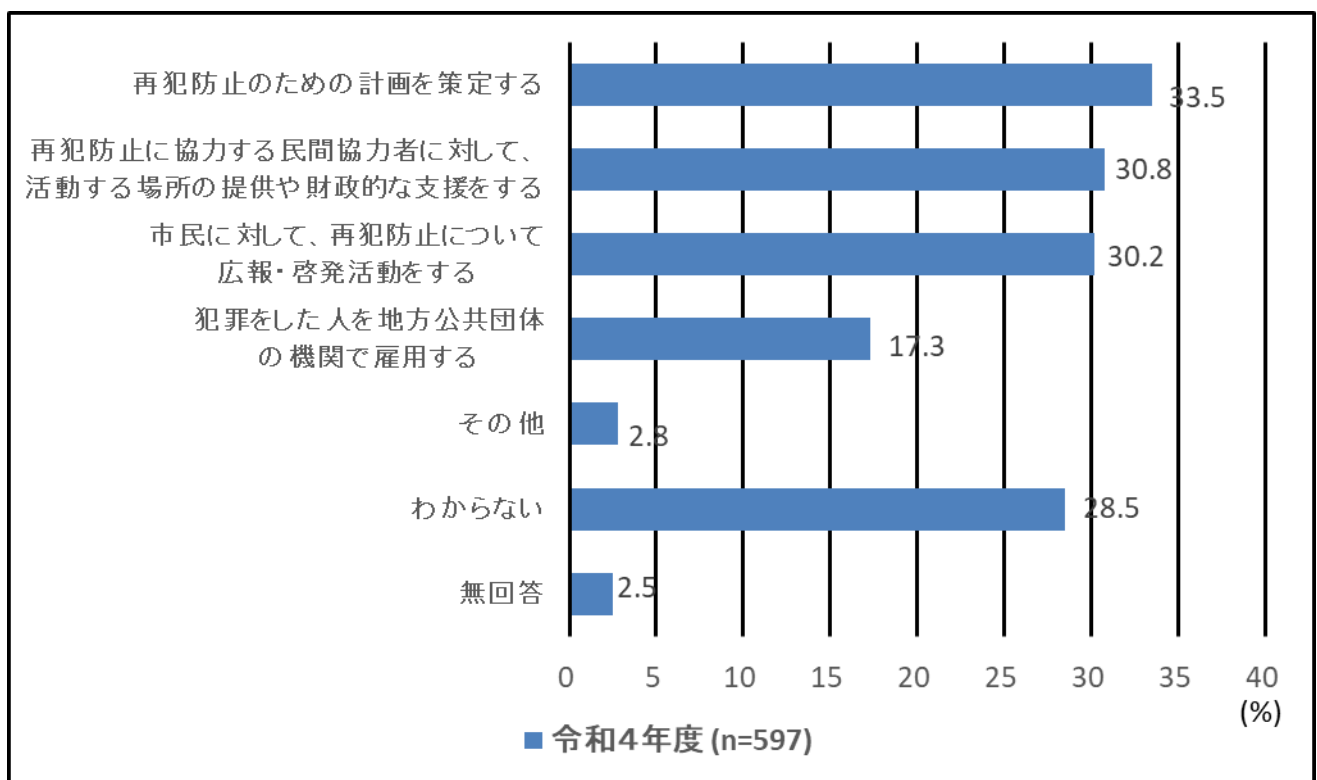
	人数	ボランティアやNPOの活動の大切さを学校で教える	ボランティアやNPOの活動の大切さを生涯学習で広める	活動の内容などの情報を住民に提供する	活動に関する相談体制を充実する	体験活動など、初めての人にも参加しやすいようなきつかけづくりを行う	活動の拠点となる場所を確保する	活動団体等へ資金の援助をする	交通費などの実費が支払われるようにする	活動のリーダーとなる人を育成する	その他	わからない	
全体	597	23.1	17.3	49.1	5.5	42.7	7.9	8.5	16.2	11.1	1.2	17.4	
居住地区	矢本東地区	128	27.3	17.2	44.5	5.5	40.6	9.4	7.0	17.2	9.4	1.6	16.4
	矢本西地区	103	22.3	18.4	50.5	3.9	43.7	7.8	8.7	12.6	13.6	1.9	18.4
	大曲地区	75	25.3	12.0	56.0	8.0	48.0	5.3	5.3	14.7	9.3	0.0	13.3
	赤井地区	123	25.2	19.5	55.3	4.9	41.5	7.3	6.5	13.8	7.3	1.6	17.9
	大塩地区	46	23.9	19.6	47.8	6.5	28.3	4.3	13.0	15.2	8.7	0.0	19.6
	小野地区	77	19.5	16.9	44.2	3.9	44.2	9.1	13.0	20.8	16.9	1.3	19.5
	野蒜地区	32	9.4	18.8	34.4	9.4	43.8	6.3	12.5	25.0	15.6	0.0	18.8
	宮戸地区	7	0.0	0.0	71.4	14.3	100.0	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
年齢	10～20歳代	51	21.6	15.7	43.1	5.9	45.1	5.9	9.8	11.8	2.0	0.0	21.6
	30歳代	80	32.5	16.3	56.3	5.0	46.3	5.0	3.8	17.5	5.0	1.3	12.5
	40歳代	97	23.7	11.3	44.3	5.2	42.3	11.3	8.2	20.6	10.3	4.1	16.5
	50歳代	125	21.6	15.2	47.2	3.2	40.0	6.4	8.0	12.8	7.2	0.8	24.0
	60歳代	144	21.5	22.2	54.2	9.0	40.3	12.5	9.0	18.8	18.8	0.7	12.5
	70歳代	99	20.2	20.2	46.5	4.0	45.5	3.0	11.1	13.1	15.2	0.0	19.2
性別	男性	266	20.7	17.7	46.6	6.0	36.5	9.4	11.7	14.3	13.2	1.5	19.2
	女性	330	25.2	17.0	51.2	5.2	47.6	6.7	5.8	17.6	9.4	0.9	16.1

## 6 “再犯防止” についての質問（問28～30）

### ■再犯防止について行政が取り組むべきもの

【問28】再犯防止のために、行政が取り組むべきものはどれだと思いますか。  
（あてはまるものすべてに○）

「再犯防止のために、行政が取り組むべきもの」については、「再犯防止のための計画を策定する」33.5%が最も多い回答となっています。次に、「再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする」30.8%、「市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする」30.2%となっています。



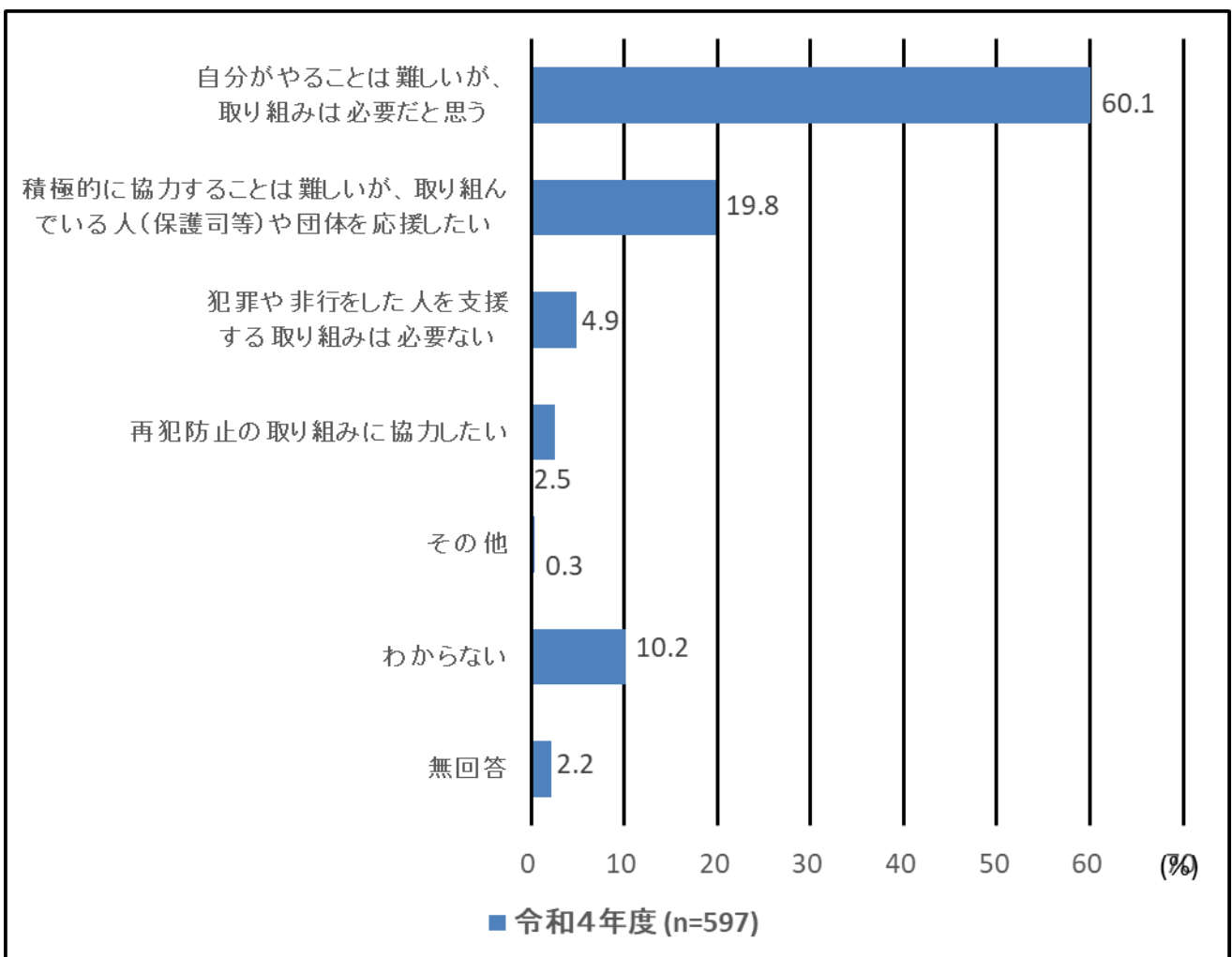
(単位：%)

		人数	再犯防止のための計画を策定する	犯罪をした人を地方公共団体の機関で雇用する	市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする	再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする	その他	わからない
	全体	597	33.5	17.3	30.2	30.8	2.8	28.5
居住地区	矢本東地区	128	32.0	18.8	26.6	27.3	3.9	28.9
	矢本西地区	103	35.0	12.6	30.1	35.9	5.8	28.2
	大曲地区	75	36.0	20.0	25.3	26.7	0.0	28.0
	赤井地区	123	35.8	18.7	35.8	31.7	1.6	25.2
	大塩地区	46	41.3	21.7	30.4	23.9	2.2	26.1
	小野地区	77	23.4	15.6	31.2	39.0	1.3	35.1
	野蒜地区	32	34.4	9.4	31.3	28.1	6.3	28.1
	宮戸地区	7	42.9	28.6	28.6	28.6	0.0	28.6
年齢	10～20歳代	51	35.3	21.6	25.5	25.5	2.0	33.3
	30歳代	80	38.8	15.0	27.5	25.0	1.3	27.5
	40歳代	97	24.7	17.5	21.6	32.0	6.2	29.9
	50歳代	125	40.8	18.4	28.0	26.4	4.8	28.0
	60歳代	144	30.6	18.1	36.8	33.3	1.4	29.2
	70歳代	99	31.3	14.1	36.4	39.4	1.0	25.3
性別	男性	266	33.8	17.7	32.7	33.1	4.1	26.7
	女性	330	33.0	17.0	28.2	29.1	1.8	30.0

## ■再犯防止の取り組みに対する考え方

【問 29】再犯防止の取り組みについての考え方は、次のどれに近いですか。  
(○は1つ)

「再犯防止の取り組みについての考え方」については、「自分がやることは難しいが、取り組みは必要だと思う」60.1%が最も多い回答となっています。次に、「積極的に協力することは難しいが、取り組んでいる人(保護司等)や団体を応援したい」19.8%、「わからない」10.2%となっています。



(単位：%)

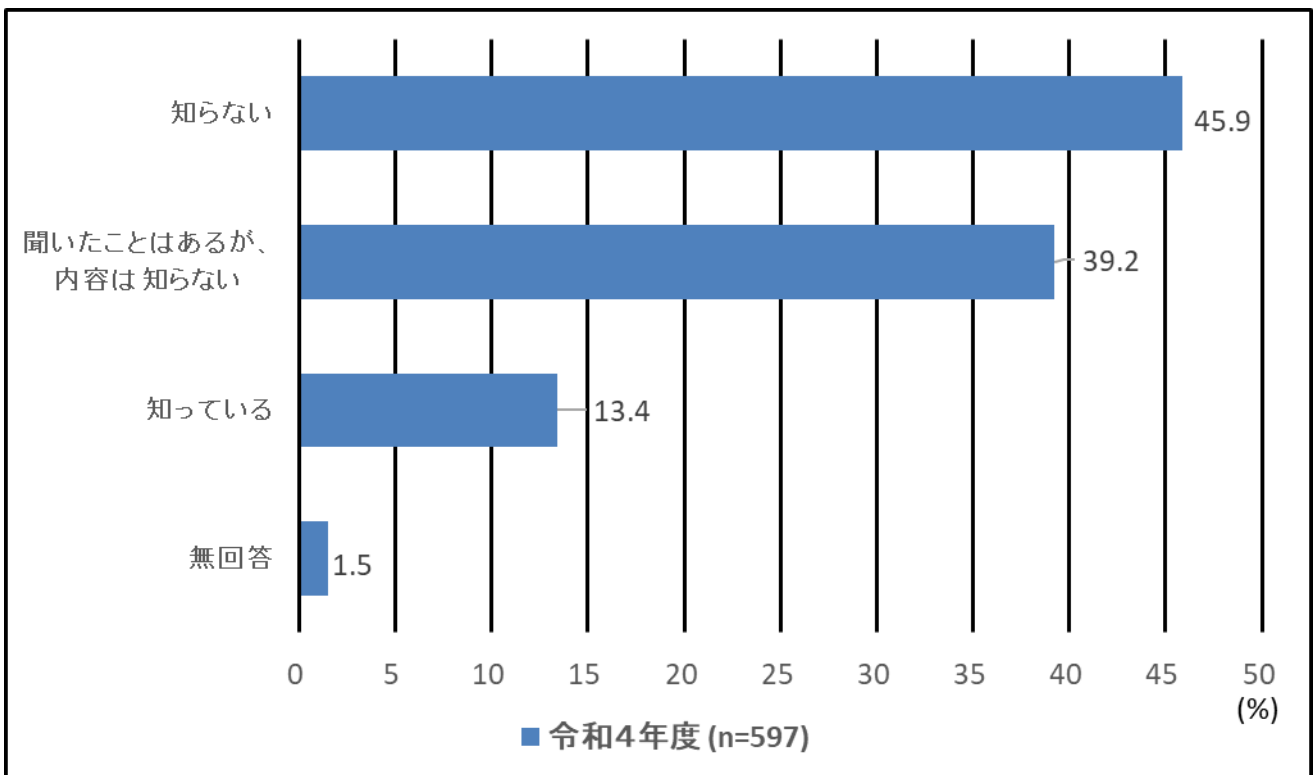
		人数	再犯防止の 取り組みに 協力したい	積極的に協 力すること は難しい が、取り組 んでいる人 や団体を応 援したい	自分がやる ことは難し いが、取り 組みは必要 だと思う	犯罪や非行 をした人を 支援する取 り組みは必 要ない	その他	わからない
	全体	597	2.5	19.8	60.1	4.9	0.3	10.2
居住地区	矢本東地区	128	2.3	19.5	59.4	6.3	0.0	10.2
	矢本西地区	103	2.9	15.5	63.1	5.8	0.0	9.7
	大曲地区	75	0.0	26.7	56.0	4.0	0.0	10.7
	赤井地区	123	2.4	23.6	61.0	3.3	0.8	8.1
	大塩地区	46	2.2	17.4	52.2	8.7	2.2	10.9
	小野地区	77	3.9	16.9	62.3	2.6	0.0	13.0
	野蒜地区	32	6.3	12.5	68.8	6.3	0.0	6.3
	宮戸地区	7	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0
年齢	10～20歳代	51	2.0	27.5	45.1	11.8	2.0	11.8
	30歳代	80	3.8	18.8	62.5	5.0	0.0	10.0
	40歳代	97	3.1	17.5	58.8	5.2	0.0	13.4
	50歳代	125	2.4	20.8	57.6	6.4	0.0	9.6
	60歳代	144	2.1	18.1	69.4	2.1	0.7	7.6
	70歳代	99	2.0	20.2	56.6	3.0	0.0	11.1
性別	男性	266	3.4	19.5	57.5	6.4	0.4	9.4
	女性	330	1.8	20.0	62.1	3.6	0.3	10.9

## ■社会を明るくする運動の認知度

【問 30】「社会を明るくする運動」という言葉や内容を知っていますか。（○は1つ）

「社会を明るくする運動の認知度」については、「知らない」45.9%が最も多い回答となっています。次に「聞いたことはあるが、内容は知らない」39.2%、「知っている」13.4%となっています。

「知らない」「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した人は、85.1%でした。



(単位：%)

		人数	知っている	聞いたことはあるが、 内容は知らない	知らない
全体		597	13.4	39.2	45.9
居住地区	矢本東地区	128	11.7	32.8	53.1
	矢本西地区	103	14.6	35.9	47.6
	大曲地区	75	9.3	44.0	45.3
	赤井地区	123	13.8	44.7	41.5
	大塩地区	46	10.9	34.8	50.0
	小野地区	77	18.2	44.2	36.4
	野蒜地区	32	18.8	37.5	43.8
	宮戸地区	7	0.0	57.1	42.9
年齢	10～20歳代	51	7.8	17.6	74.5
	30歳代	80	7.5	28.8	63.8
	40歳代	97	6.2	40.2	52.6
	50歳代	125	11.2	36.0	49.6
	60歳代	144	13.9	52.1	34.0
	70歳代	99	30.3	43.4	22.2
性別	男性	266	14.3	34.6	48.9
	女性	330	12.7	43.0	43.3



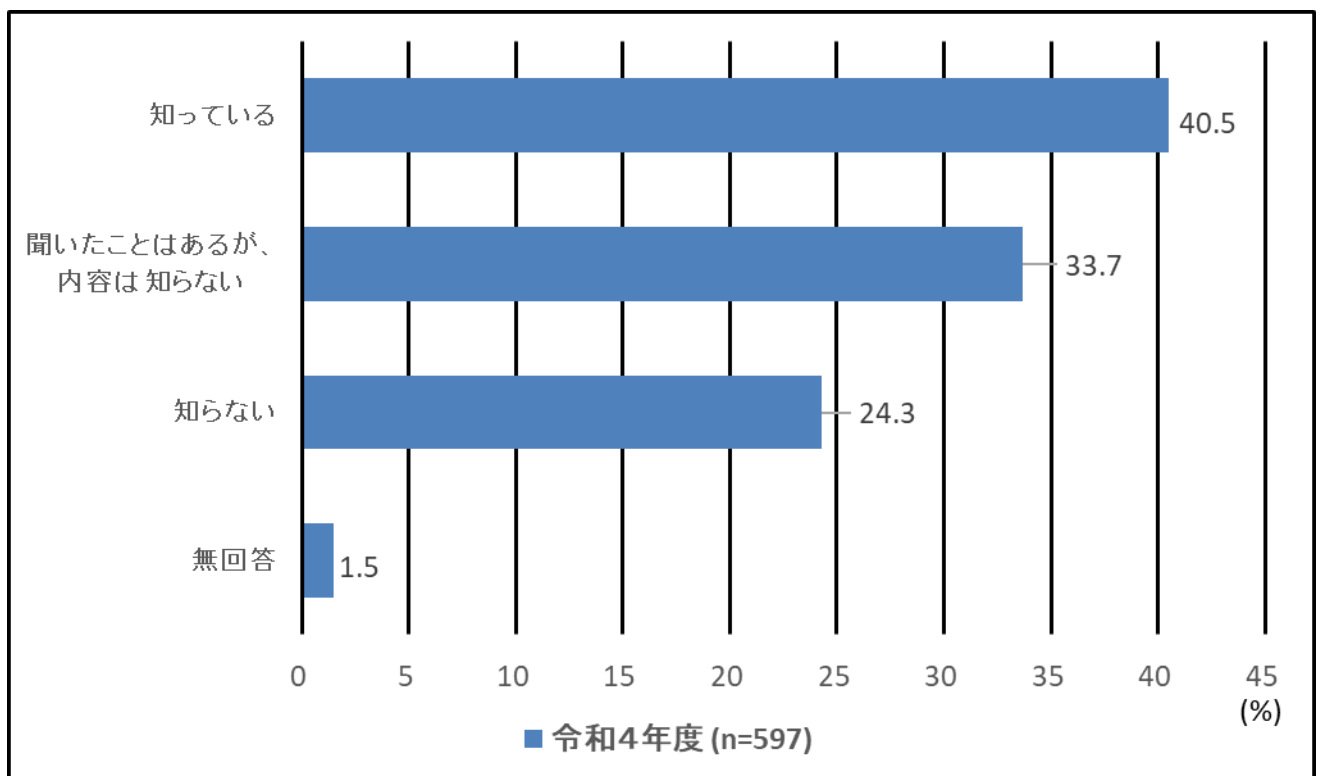
## 7 “成年後見制度”についての質問（問31～33）

### ■成年後見制度の認知度

【問31】成年後見制度を知っていますか。（○は1つ）

成年後見制度の認知度については、「知っている」40.5%が最も多い回答となっています。次いで「聞いたことがあるが、内容は知らない」33.7%、「知らない」24.3%となっています。

「聞いたことがあるが、内容は知らない」、「知らない」と回答した人は58.0%でした。



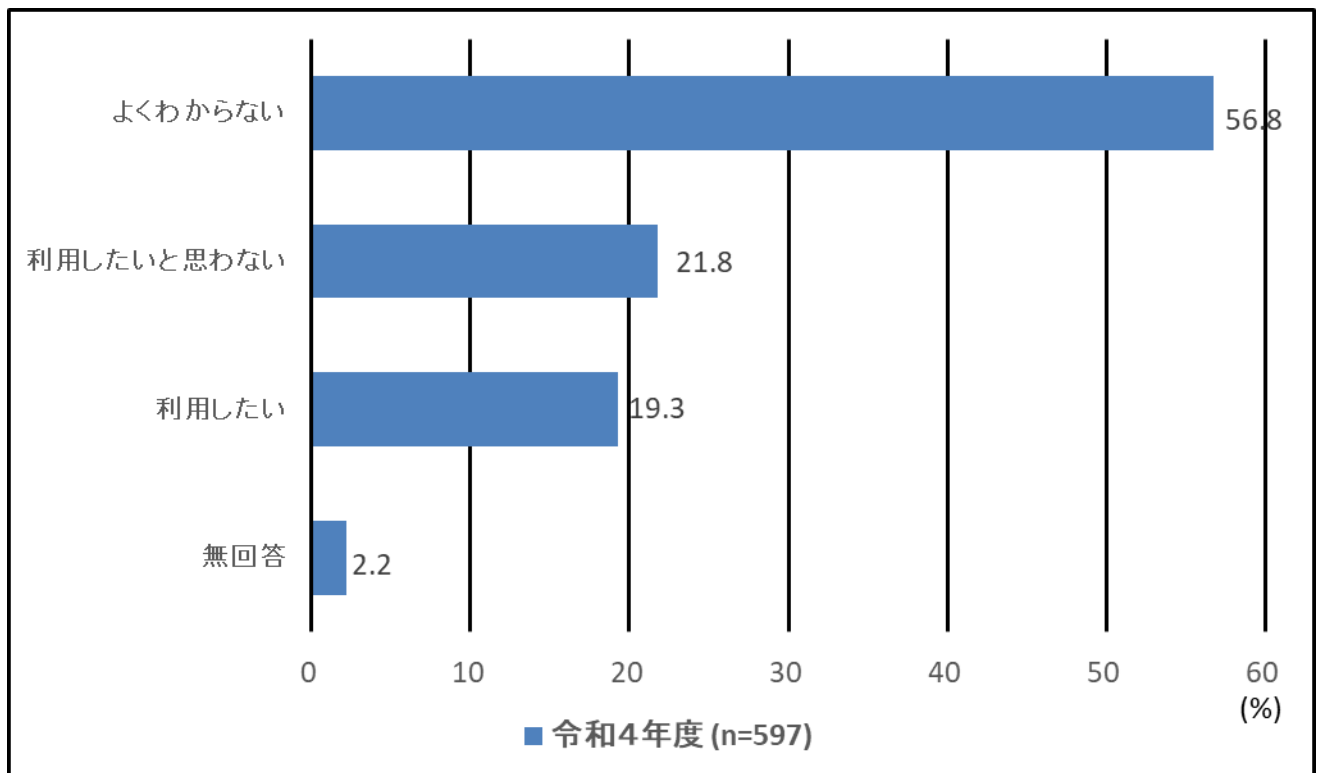
(単位：%)

		人数	知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない
全体		597	40.5	33.7	24.3
居住地区	矢本東地区	128	35.9	33.6	28.1
	矢本西地区	103	43.7	29.1	24.3
	大曲地区	75	45.3	26.7	25.3
	赤井地区	123	43.1	36.6	20.3
	大塩地区	46	28.3	41.3	28.3
	小野地区	77	45.5	35.1	19.5
	野蒜地区	32	40.6	40.6	18.8
	宮戸地区	7	28.6	28.6	42.9
年齢	10～20歳代	51	31.4	27.5	41.2
	30歳代	80	36.3	32.5	31.3
	40歳代	97	43.3	28.9	26.8
	50歳代	125	40.8	34.4	23.2
	60歳代	144	43.8	36.8	19.4
	70歳代	99	41.4	36.4	16.2
性別	男性	266	35.3	33.8	28.9
	女性	330	44.8	33.3	20.6

## ■成年後見制度を利用したいか

【問 32】成年後見制度には、法定後見制度のほかに、本人に十分な判断能力があるうちに、将来に備えて自ら代理人と契約する任意後見制度があります。このような任意後見制度を利用したいと思いませんか。（○は1つ）

成年後見制度利用の有無は、「よくわからない」56.8%が最も多い回答となっています。次いで「利用したいと思わない」21.8%、「利用したい」19.3%となっています。



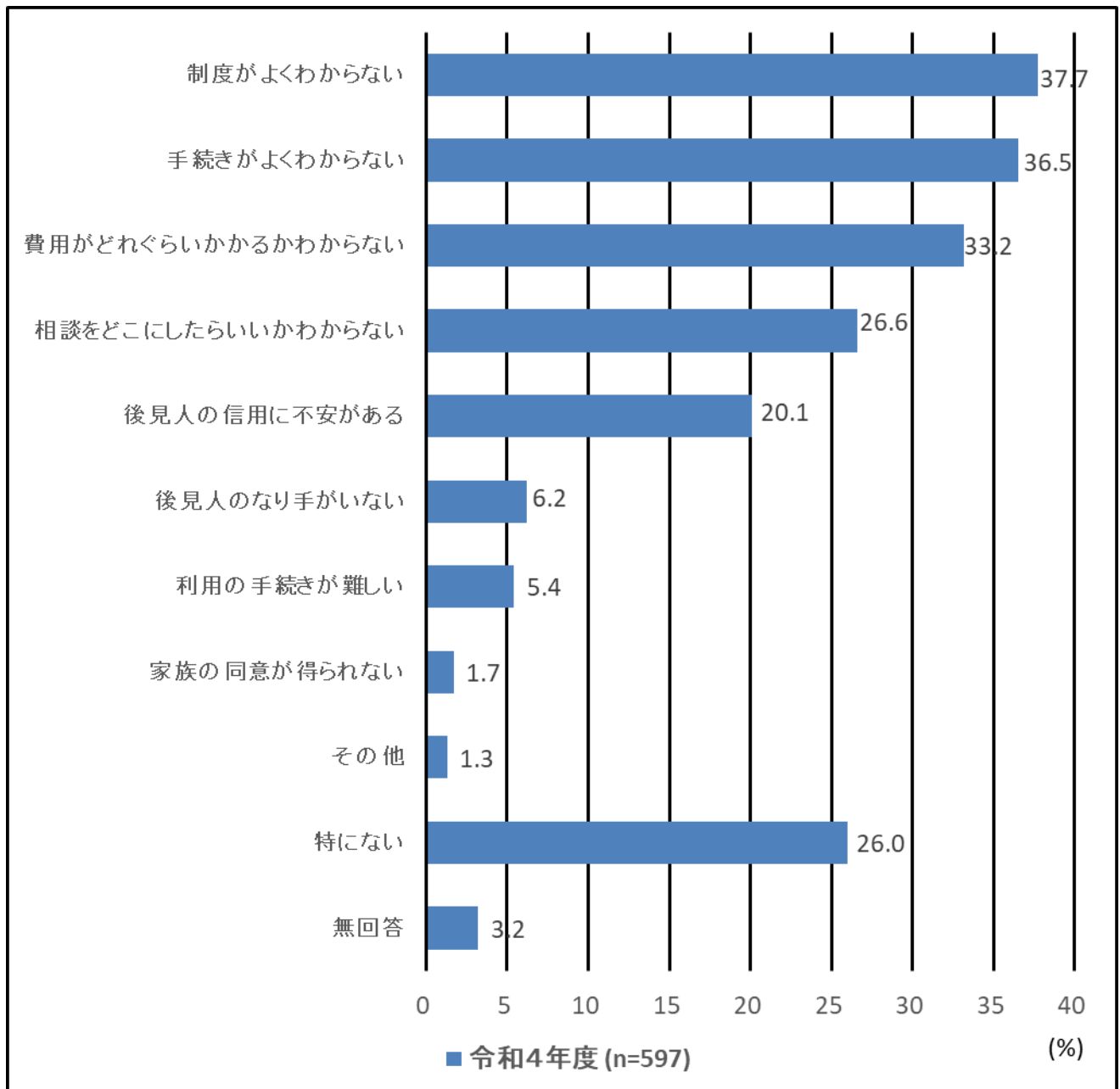
(単位：%)

		人数	利用したい	利用したい と思わない	よくわから ない
全体		597	19.3	21.8	56.8
居住地区	矢本東地区	128	16.4	19.5	61.7
	矢本西地区	103	19.4	30.1	47.6
	大曲地区	75	13.3	20.0	64.0
	赤井地区	123	20.3	18.7	60.2
	大塩地区	46	21.7	28.3	47.8
	小野地区	77	24.7	18.2	54.5
	野蒜地区	32	25.0	21.9	53.1
	宮戸地区	7	14.3	14.3	57.1
年齢	10～20歳代	51	27.5	15.7	56.9
	30歳代	80	28.8	12.5	58.8
	40歳代	97	21.6	18.6	58.8
	50歳代	125	18.4	17.6	61.6
	60歳代	144	15.3	26.4	57.6
	70歳代	99	12.1	34.3	45.5
性別	男性	266	19.9	22.2	54.9
	女性	330	18.8	21.5	58.2

## ■成年後見制度について思うこと

【問 33】成年後見制度について思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

成年後見制度について思うことでは、「制度がよくわからない」37.7%が最も多い回答となっています。次いで「手続きがよくわからない」36.5%、「費用がどれぐらいかかるかわからない」33.2%となっています。



(単位：%)

	人数	手続きがよくわからない	家族の同意が得られない	費用がどれくらいかあ るかわからない	制度がよくわからない	利用の手続きが難しい	相談をどこにしたらいいかわからない	後見人の信用に不安がある	後見人のなり手がいない	その他	特にな	
全体	597	36.5	1.7	33.2	37.7	5.4	26.6	20.1	6.2	1.3	26.0	
居住地区	矢本東地区	128	35.9	0.0	36.7	37.5	3.9	25.8	21.1	6.3	0.8	25.8
	矢本西地区	103	33.0	1.0	31.1	42.7	10.7	23.3	28.2	7.8	0.0	25.2
	大曲地区	75	33.3	0.0	30.7	30.7	4.0	21.3	20.0	2.7	2.7	34.7
	赤井地区	123	35.8	0.8	35.0	38.2	4.1	31.7	11.4	5.7	1.6	26.8
	大塩地区	46	37.0	2.2	34.8	45.7	4.3	19.6	19.6	8.7	2.2	17.4
	小野地区	77	41.6	7.8	28.6	35.1	6.5	29.9	23.4	3.9	1.3	22.1
	野蒜地区	32	40.6	3.1	31.3	31.3	0.0	31.3	18.8	12.5	3.1	28.1
	宮戸地区	7	57.1	0.0	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0
年齢	10～20歳代	51	37.3	0.0	25.5	31.4	7.8	21.6	17.6	5.9	3.9	29.4
	30歳代	80	38.8	0.0	37.5	36.3	2.5	30.0	18.8	7.5	0.0	31.3
	40歳代	97	39.2	2.1	37.1	43.3	5.2	23.7	21.6	5.2	1.0	21.6
	50歳代	125	38.4	2.4	36.0	37.6	7.2	30.4	24.0	10.4	0.8	18.4
	60歳代	144	36.1	2.1	35.4	38.2	6.3	25.7	20.1	3.5	2.1	25.0
	70歳代	99	29.3	2.0	22.2	35.4	3.0	25.3	15.2	5.1	1.0	35.4
性別	男性	266	39.8	3.0	33.1	43.6	5.6	27.8	15.0	6.4	0.4	25.2
	女性	330	33.6	0.6	33.0	32.7	5.2	25.5	23.9	6.1	2.1	26.7

## 8 “地域福祉全般” についての質問（問34～35）

### ■取り組みが進んだと感じる事柄

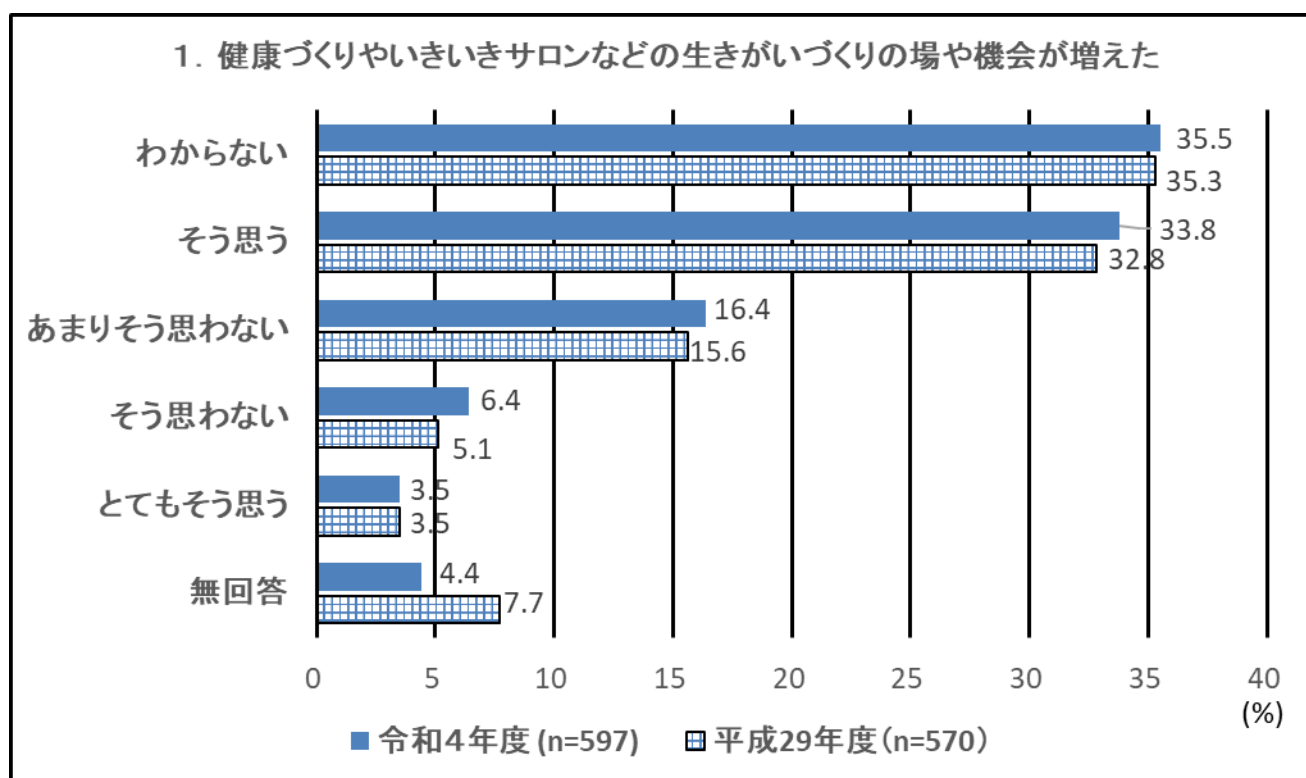
【問 34】市と市社会福祉協議会は、地域福祉計画及び地域福祉活動計画をもとに地域福祉の推進に取り組んできました。第1期計画が策定された平成27年以前と比較して、次に掲げる取り組みについて、どの程度進んだと感じますか。  
（それぞれの項目で○は1つ）

すべての質問に対し、約3～4割の市民が「わからない」と回答しています。

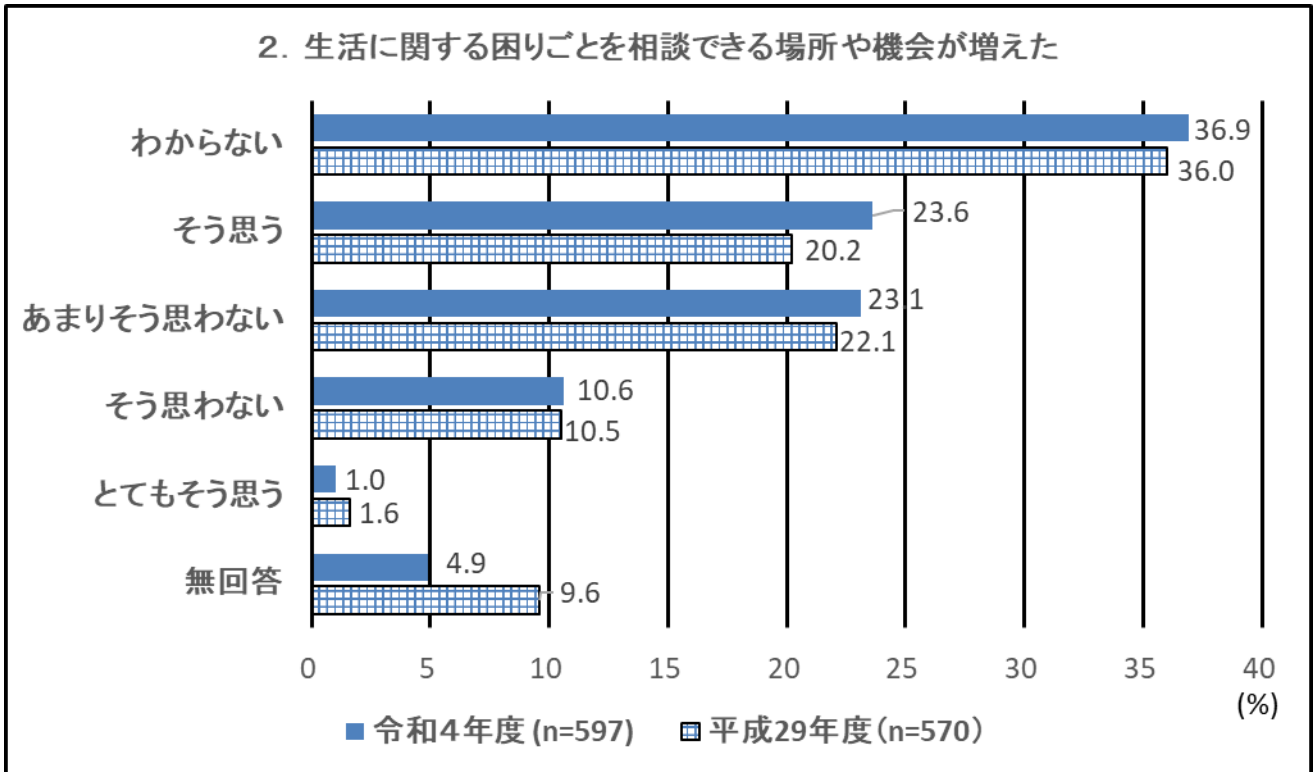
「とてもそう思う」「そう思う」を合計した割合の高い回答は、「健康づくりやいきいきサロンなどの生きがいがづくりの場や機会が増えた」37.3%、「福祉の情報を得やすくなった」29.2%、「福祉サービスが充実した」25.3%、「生活に関する困りごとを相談できる場所や機会が増えた」24.6%の順となっています。

逆に、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合計した割合の高い回答は、「近所の見守りや声かけが進んだ」44.1%、「ボランティア活動が活発になった」42.4%、「誰もが住みやすい福祉のまちづくりが進んだ」40.9%の順となっています。

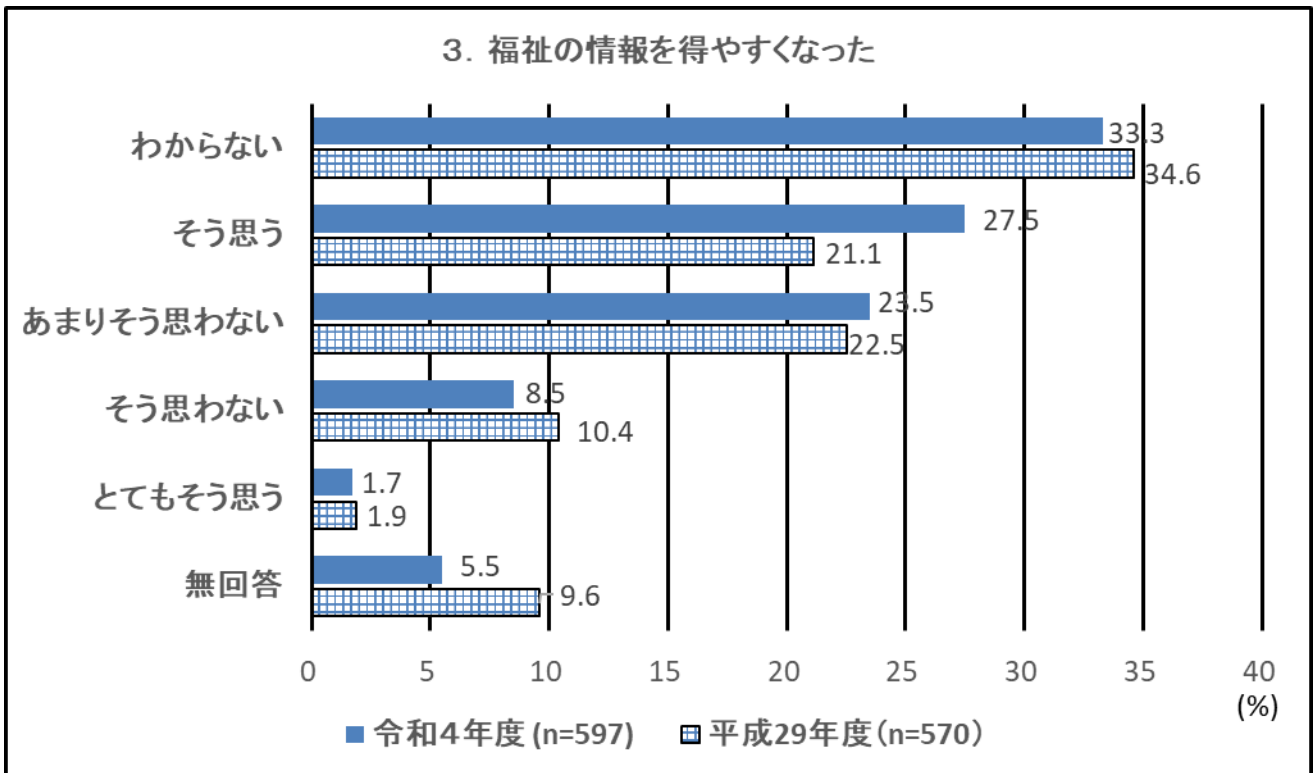
#### 1. 健康づくりやいきいきサロンなどの生きがいがづくりの場や機会が増えた



2. 生活に関する困りごとを相談できる場所や機会が増えた

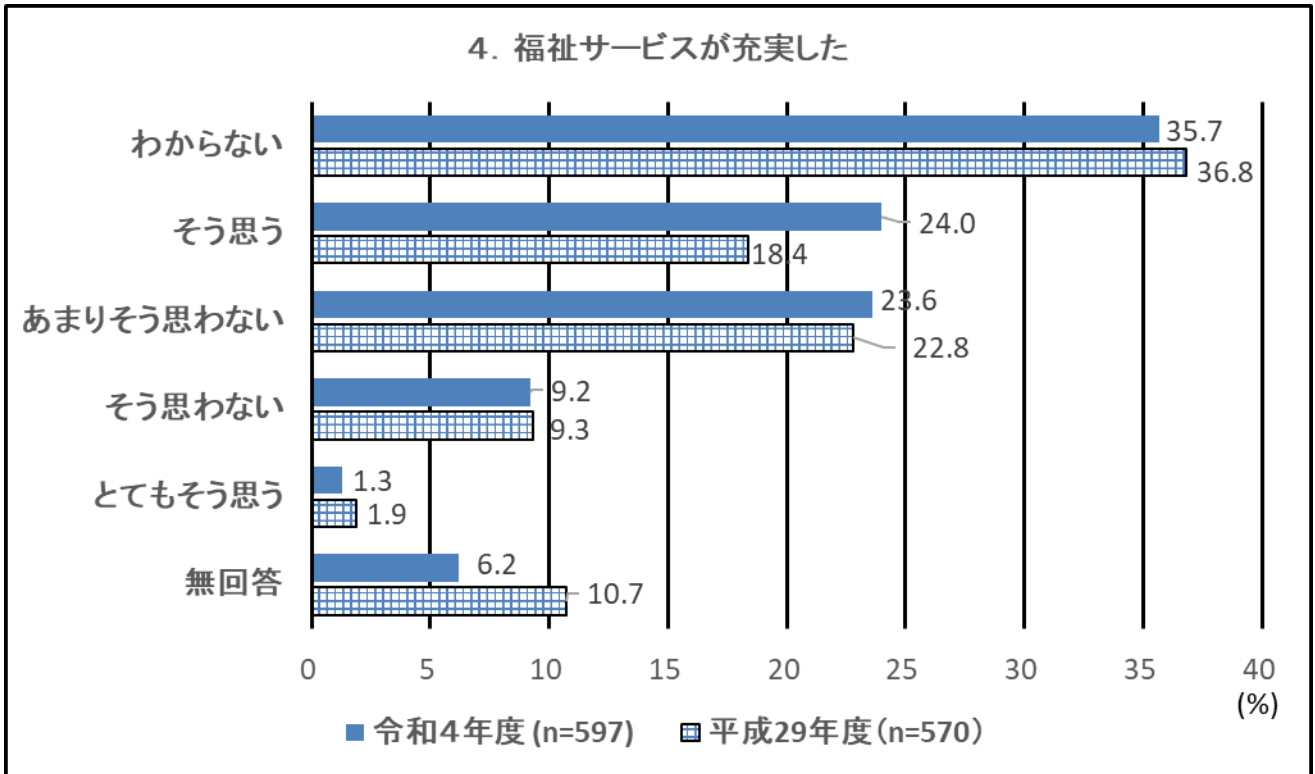


3. 福祉の情報を得やすくなった

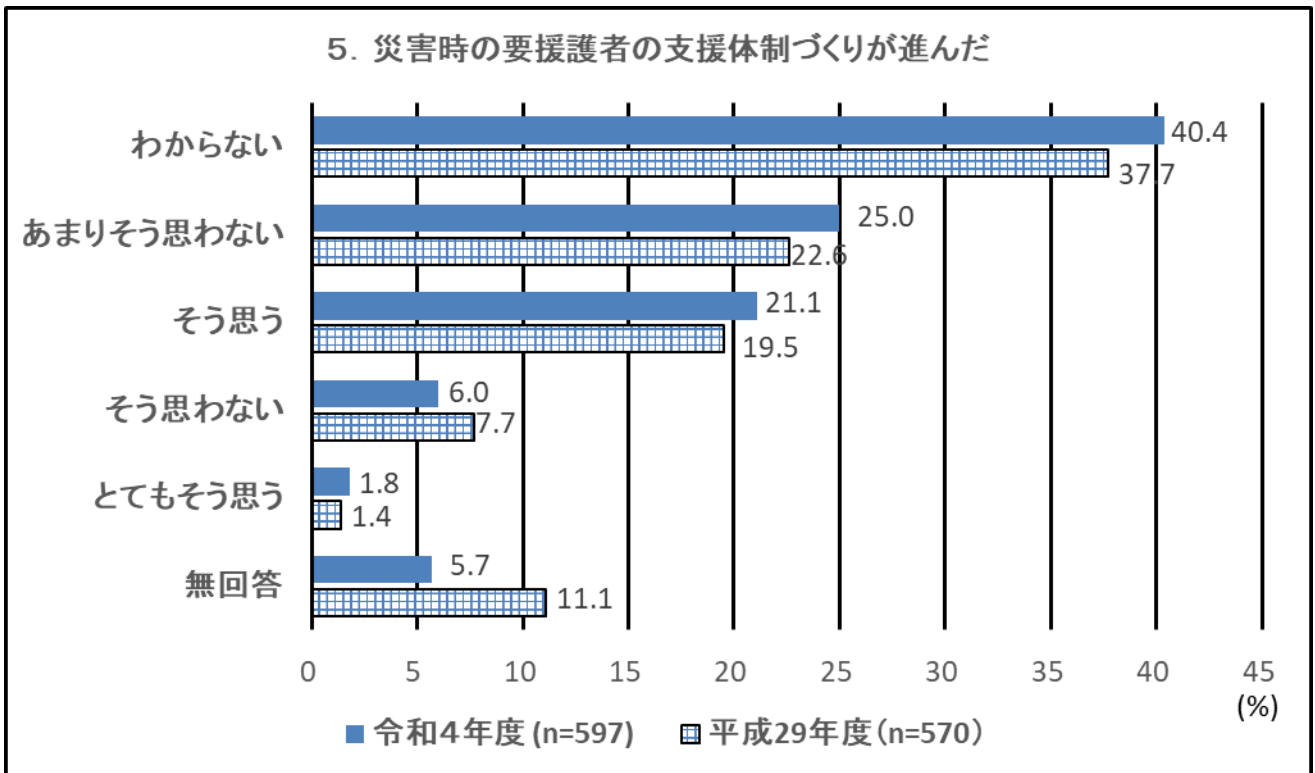




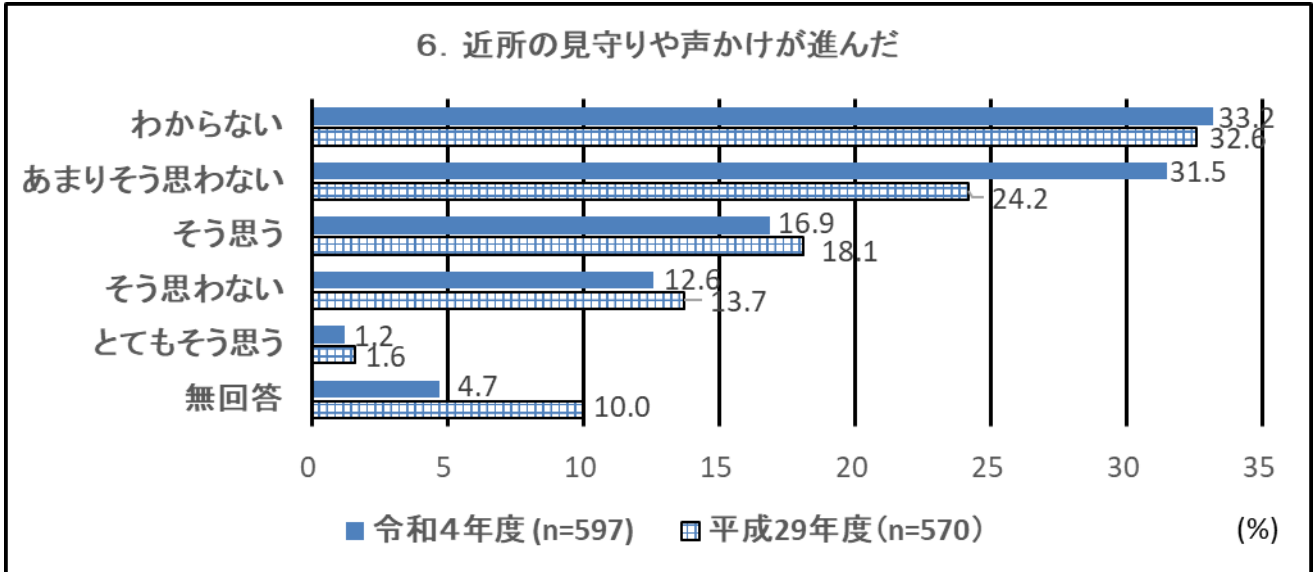
4. 福祉サービスが充実した



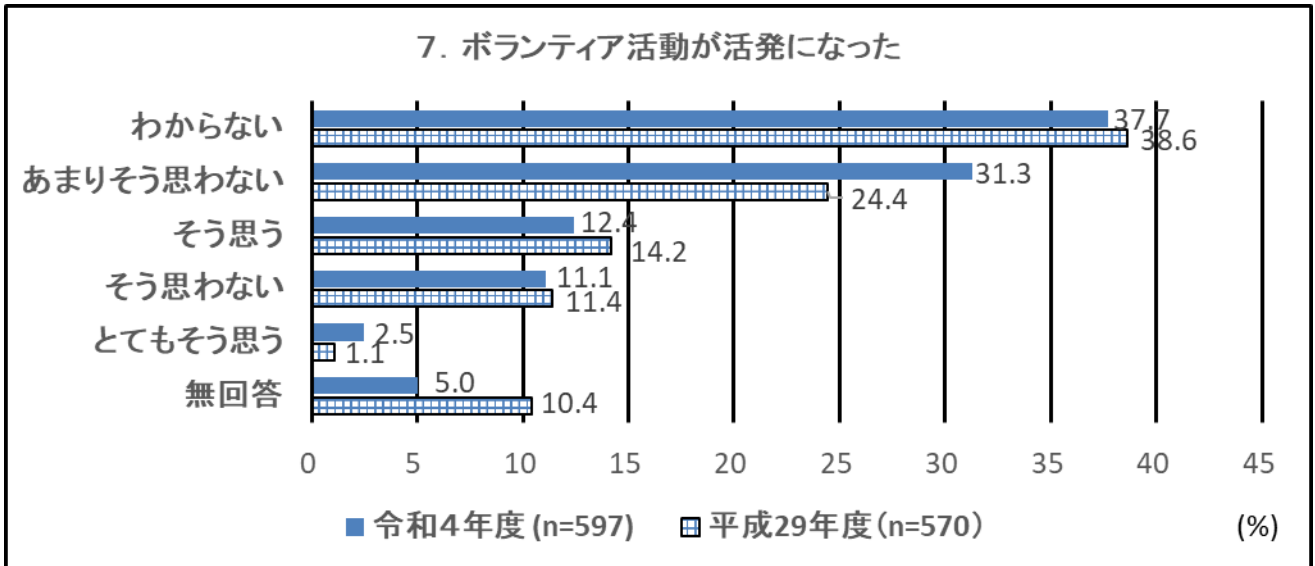
5. 災害時の要援護者の支援体制づくりが進んだ



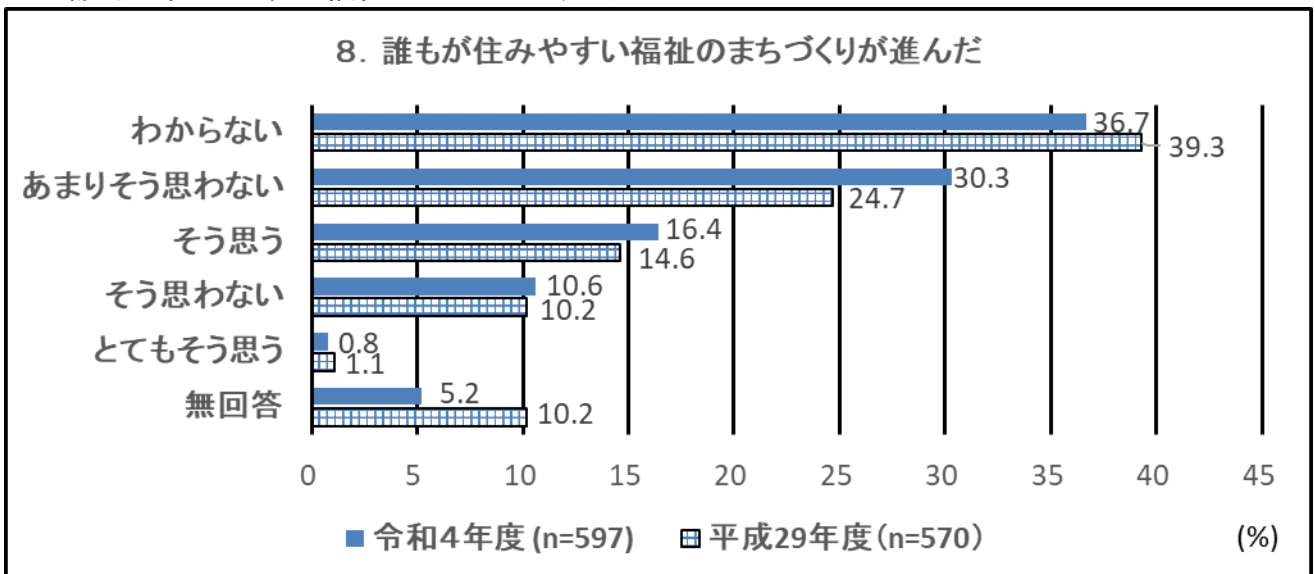
6. 近所の見守りや声かけが進んだ



7. ボランティア活動が活発になった



8. 誰もが住みやすい福祉のまちづくりが進んだ



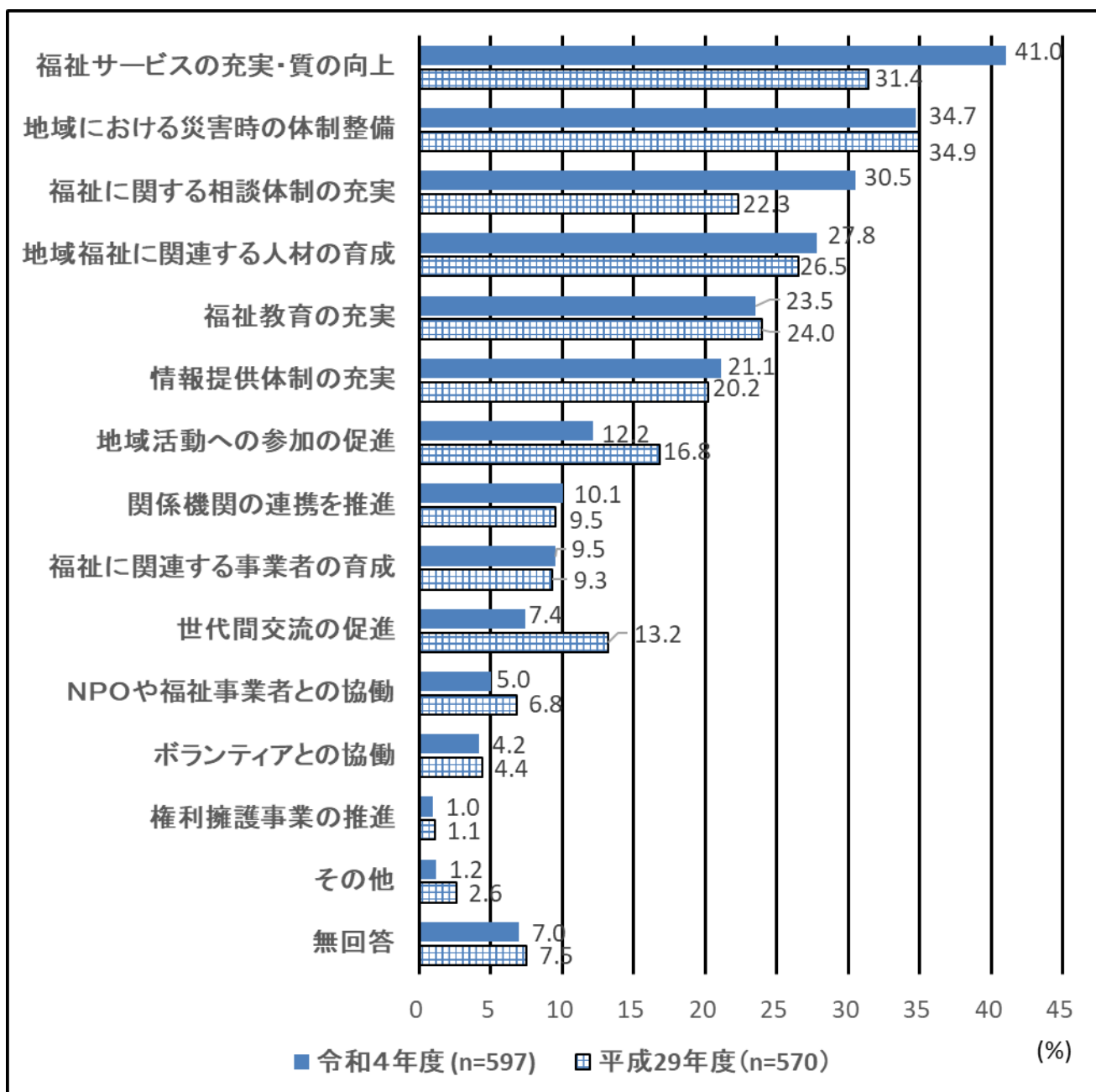
■地域福祉充実のための優先的な取り組み

【問 35】 今後、地域福祉を充実させるために、優先的に取り組むべきものについて次の中から選んでください。（〇は3つまで）

市民の地域福祉を充実させるために優先的に取り組むべきものについて尋ねたところ、「福祉サービスの充実・質の向上」「地域における災害時の体制整備」「福祉に関する相談体制の充実」と回答した割合が30%を超えています。

前回調査時と比較すると、「福祉サービスの充実・質の向上」が9.6ポイント、「福祉に関する相談体制の充実」が8.2ポイント、回答した割合が増加していますが、その他の回答はほぼ同じ割合となっています。

年齢別にみると、「福祉サービスの充実・質の向上」が「30歳代」から「60歳代」で回答した割合が高くなっています。



(単位：%)

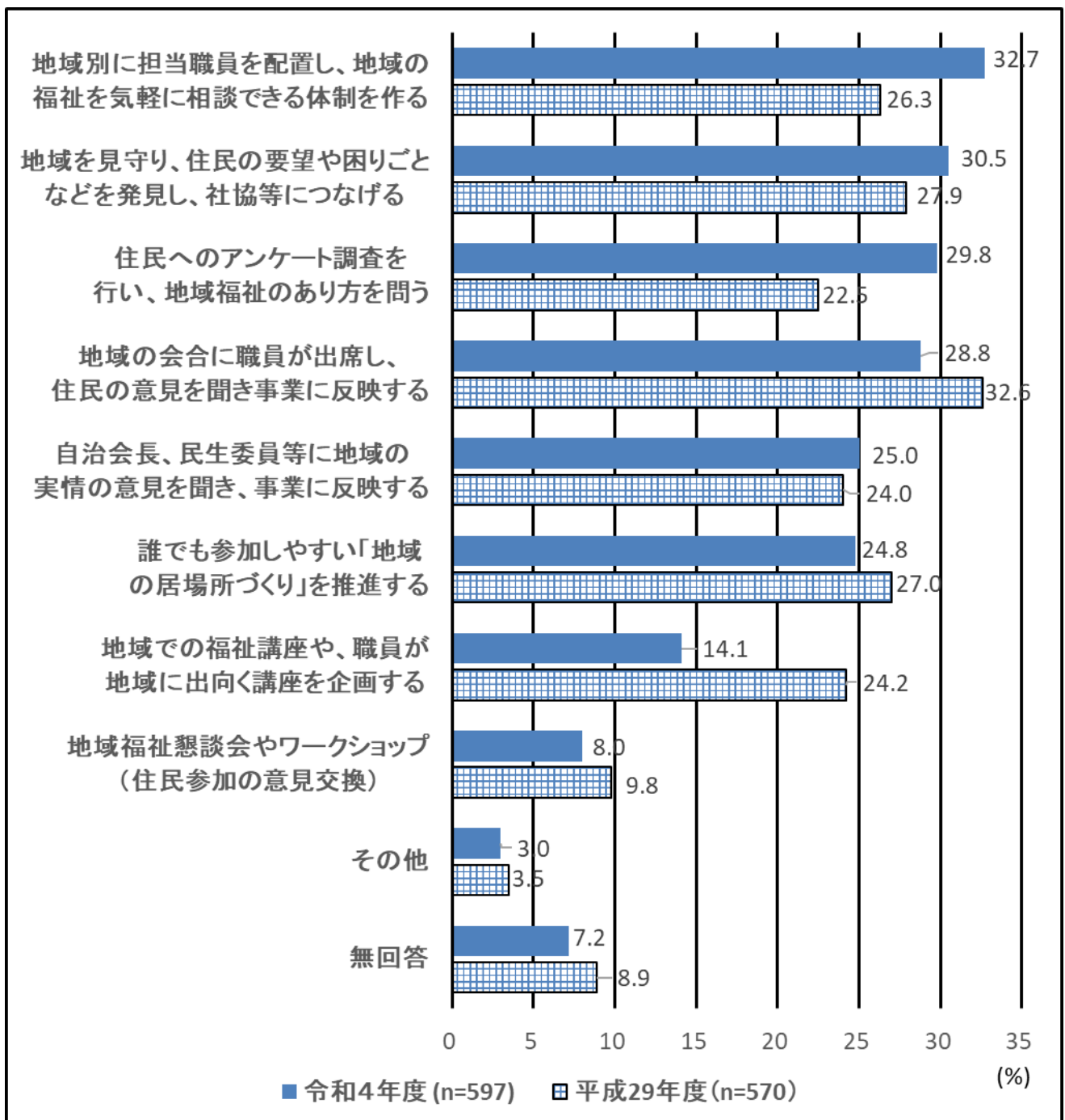
	人数	福祉教育の充実	地域における災害時の体制整備	地域福祉に関連する人材の育成	福祉に関連する事業者の育成	福祉サービスの充実・質の向上	福祉に関する相談体制の充実	権利擁護事業の推進	関係機関の連携を推進	情報提供体制の充実	ボランティアとの協働	NPOや福祉事業者との協働	地域活動への参加の促進	世代間交流の促進	その他	
全体	597	23.5	34.7	27.8	9.5	41.0	30.5	1.0	10.1	21.1	4.2	5.0	12.2	7.4	1.2	
居住地区	矢本東地区	128	29.7	41.4	26.6	9.4	46.9	19.5	2.3	10.9	25.0	5.5	3.9	8.6	5.5	0.0
	矢本西地区	103	22.3	31.1	26.2	12.6	37.9	39.8	1.9	7.8	18.4	3.9	4.9	15.5	11.7	1.0
	大曲地区	75	21.3	34.7	21.3	10.7	26.7	32.0	0.0	5.3	22.7	6.7	12.0	10.7	6.7	2.7
	赤井地区	123	23.6	35.0	31.7	8.9	45.5	29.3	0.8	6.5	17.1	4.9	1.6	12.2	4.9	0.8
	大塩地区	46	21.7	28.3	28.3	8.7	43.5	26.1	0.0	21.7	15.2	0.0	6.5	17.4	6.5	2.2
	小野地区	77	26.0	29.9	29.9	9.1	42.9	35.1	0.0	15.6	19.5	2.6	3.9	13.0	7.8	1.3
	野蒜地区	32	12.5	34.4	37.5	6.3	34.4	40.6	0.0	6.3	37.5	0.0	9.4	12.5	6.3	3.1
	宮戸地区	7	0.0	28.6	28.6	0.0	42.9	28.6	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	42.9	0.0
年齢	10～20歳代	51	23.5	33.3	27.5	9.8	29.4	21.6	2.0	13.7	23.5	2.0	15.7	15.7	9.8	0.0
	30歳代	80	33.8	45.0	25.0	11.3	45.0	28.8	1.3	7.5	23.8	2.5	3.8	7.5	6.3	0.0
	40歳代	97	23.7	35.1	21.6	10.3	37.1	23.7	0.0	13.4	25.8	5.2	8.2	8.2	9.3	3.1
	50歳代	125	22.4	32.8	24.0	12.0	42.4	33.6	0.0	9.6	19.2	3.2	4.0	8.8	5.6	0.0
	60歳代	144	20.1	34.7	31.3	6.3	50.0	34.7	1.4	11.1	16.7	4.2	3.5	16.0	6.9	0.7
	70歳代	99	21.2	29.3	36.4	9.1	32.3	33.3	2.0	6.1	21.2	7.1	1.0	17.2	7.1	3.0
性別	男性	266	21.8	36.8	32.0	8.6	37.6	27.1	1.1	9.8	18.8	4.5	5.3	14.3	6.0	1.1
	女性	330	24.8	33.0	24.5	10.3	43.6	33.3	0.9	10.3	22.7	3.9	4.8	10.6	8.2	1.2

## 9 これからの“地域福祉”の進め方についての質問（問36～37）

### ■地域福祉推進のために市や社会福祉協議会に必要なこと

【問 36】市や社会福祉協議会が地域住民の方とともに地域福祉を推進していくために、必要だと思われることを次の中から選んでください。（〇は3つまで）

市民に、市や社会福祉協議会が地域福祉を推進するために必要と思われることを尋ねたところ、「地域別に担当職員を配置し、地域の福祉の問題点を気軽に相談できる体制を作る」「地域を見守り、住民の要望や困りごとなどを発見し、社協等につなげる」と回答した割合が30%を超えています。



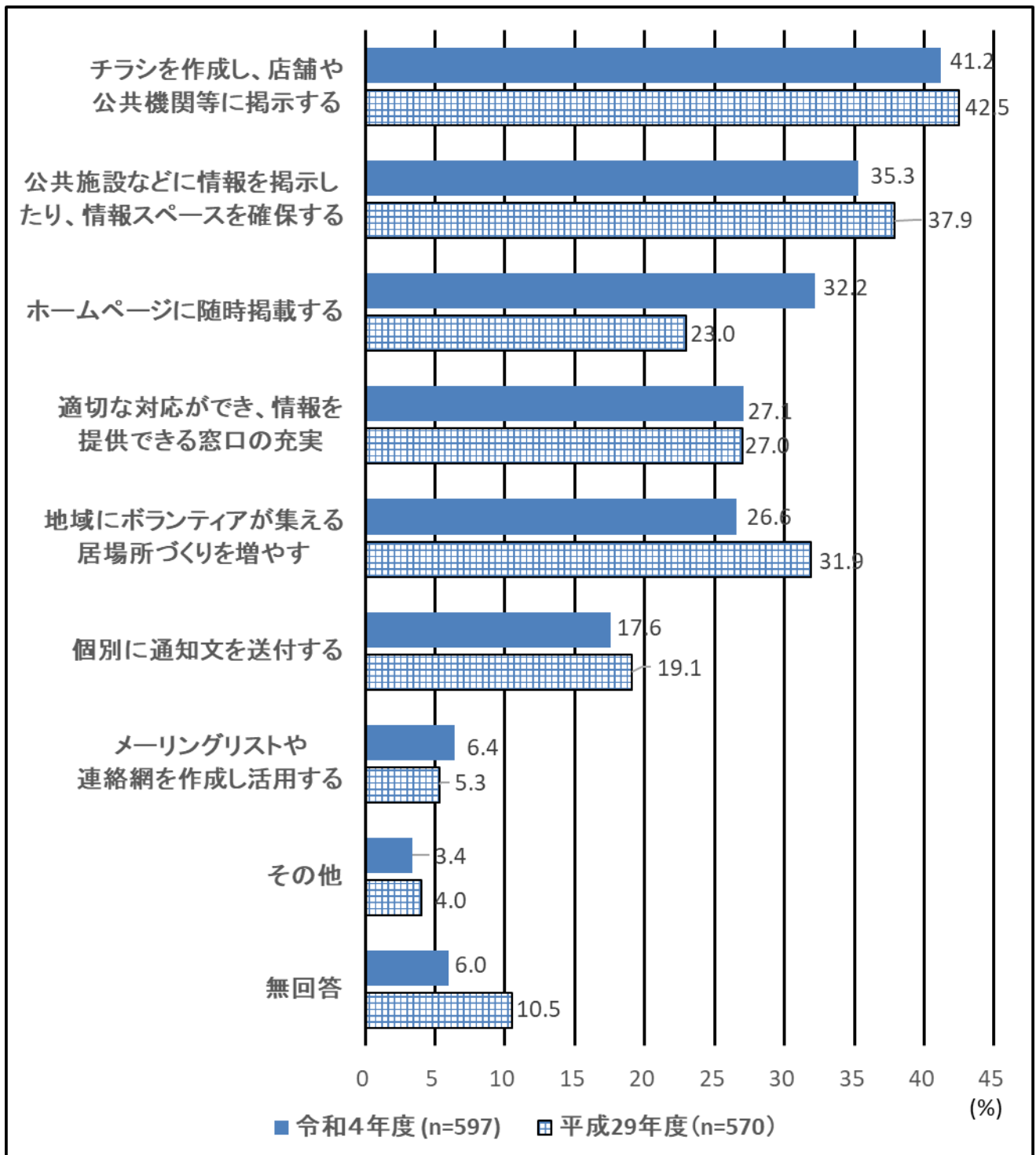
(単位：%)

		人数	地域の会合に職員が出席し、住民の意見を聞き事業に反映する	自治会長、民生委員等その地域の実情を知っている方に意見を聞き、事業に反映する	住民へのアンケート調査を行い、地域福祉のあり方を問う	いきいきサロンのような誰でも参加しやすい「地域の居場所づくり」を推進する	地域福祉懇談会やワークショップ(住民が参加して課題解決の糸口を探るための意見交換)	地域ごとに参加しやすい福祉講座や、住民の求めに応じて職員が出向く講座を企画する	地域別に担当職員を配置し、地域の福祉の問題点を気軽に相談できる体制を作る	地域を見守り、住民の要望や困りごとなどを発見し、社協等につなげる	その他
全体		597	28.8	25.0	29.8	24.8	8.0	14.1	32.7	30.5	3.0
居住地区	矢本東地区	128	32.0	24.2	28.1	18.8	6.3	15.6	35.9	28.1	3.1
	矢本西地区	103	31.1	23.3	36.9	22.3	7.8	13.6	27.2	39.8	1.9
	大曲地区	75	21.3	20.0	40.0	24.0	8.0	13.3	33.3	20.0	5.3
	赤井地区	123	32.5	24.4	22.0	31.7	7.3	13.0	29.3	36.6	0.8
	大塩地区	46	26.1	30.4	30.4	23.9	13.0	8.7	34.8	26.1	8.7
	小野地区	77	24.7	18.2	29.9	28.6	10.4	18.2	35.1	20.8	2.6
	野蒜地区	32	25.0	53.1	25.0	21.9	6.3	18.8	37.5	25.0	3.1
	宮戸地区	7	14.3	28.6	0.0	42.9	14.3	0.0	42.9	85.7	0.0
年齢	10～20歳代	51	31.4	19.6	27.5	21.6	9.8	17.6	21.6	27.5	0.0
	30歳代	80	33.8	22.5	41.3	26.3	3.8	11.3	40.0	23.8	0.0
	40歳代	97	30.9	17.5	33.0	16.5	9.3	15.5	35.1	24.7	7.2
	50歳代	125	24.8	25.6	27.2	20.8	4.8	13.6	37.6	28.8	4.0
	60歳代	144	27.8	29.2	23.6	28.5	8.3	16.0	32.6	37.5	1.4
	70歳代	99	27.3	29.3	31.3	33.3	13.1	11.1	24.2	34.3	4.0
性別	男性	266	35.7	28.9	30.1	21.1	6.8	14.7	30.1	30.5	3.8
	女性	330	23.0	21.5	29.7	27.9	9.1	13.6	34.8	30.3	2.4

## ■ボランティア参加の情報の伝え方

【問 37】多くの人がボランティアに参加するための情報提供の方法として、有効だと思うものを次の中から選んでください。（〇は3つまで）

ボランティアに参加するための情報の伝え方として有効だと思うことについて、「チラシを作成し、店舗や公共機関等に掲示する」「公共施設などに情報を随時掲示したり、閲覧し  
たりできるボランティア情報スペースを確保する」「ホームページに随時掲載する」と回答した割合が30%を超えています。



(単位：%)

	人数	個別に通知文を送付する	ホームページに随時掲載する	公共施設などに情報を随時掲示したり、閲覧したりできるボランティア情報スペースを確保する	チラシを作成し、店舗や公共機関等に掲示する	メーリングリスト(複数の人に同時に電子メールを配信する仕組み)や連絡網を作成し活用する	ボランティア担当がいなくても、適切な対応ができ、情報を提供できる窓口の充実	社協だけでなく、地域にボランティアが集える居場所づくりを増やす	その他	
全体	597	17.6	32.2	35.3	41.2	6.4	27.1	26.6	3.4	
居住地区	矢本東地区	128	17.2	36.7	30.5	38.3	7.0	26.6	23.4	3.9
	矢本西地区	103	15.5	35.9	37.9	32.0	10.7	29.1	26.2	4.9
	大曲地区	75	26.7	33.3	32.0	34.7	9.3	20.0	21.3	8.0
	赤井地区	123	17.1	31.7	40.7	52.0	3.3	24.4	26.8	1.6
	大塩地区	46	19.6	30.4	37.0	45.7	0.0	28.3	28.3	0.0
	小野地区	77	11.7	24.7	33.8	41.6	7.8	27.3	29.9	2.6
	野蒜地区	32	9.4	34.4	40.6	50.0	3.1	34.4	31.3	0.0
	宮戸地区	7	42.9	0.0	28.6	28.6	0.0	71.4	71.4	0.0
年齢	10～20歳代	51	31.4	33.3	27.5	49.0	7.8	17.6	19.6	2.0
	30歳代	80	20.0	47.5	37.5	43.8	6.3	13.8	18.8	3.8
	40歳代	97	12.4	35.1	34.0	42.3	11.3	22.7	25.8	10.3
	50歳代	125	13.6	37.6	33.6	35.2	6.4	26.4	17.6	0.8
	60歳代	144	16.7	25.7	37.5	43.8	4.9	31.9	36.1	2.1
	70歳代	99	19.2	19.2	38.4	38.4	3.0	41.4	35.4	2.0
性別	男性	266	18.8	31.2	32.7	40.6	7.5	28.2	28.6	4.9
	女性	330	16.4	33.0	37.6	41.8	5.5	26.4	25.2	2.1



■自由意見

【問 38】 今後、住民同士が支え合う仕組みとして、「こんな仕組みがあったらいいな」「こういうことなら参加や協力ができそうだな」というお考えがあったら、お聞かせください。

【問 39】 その他、ご意見がありましたらお聞かせください。



## 地域福祉に関するアンケート調査



～ 市民の皆様のご協力をお願いします ～

市民の皆様には、日ごろから市政及び社会福祉協議会事業の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、東松島市と東松島市社会福祉協議会では、平成 30 年度から令和 4 年度までの 5 年間で計画期間とする第 2 期地域福祉推進計画を策定し、基本理念の「誰もが安心して笑顔で暮らせる“ささえあい”のまちづくり」を推進しています。

現在の計画は、令和 4 年度に目標年次を迎えるため、市と社会福祉協議会では令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 年間で計画期間とする「第 3 期地域福祉推進計画」を策定することとしました。策定にあたり、市民の皆様の貴重なお考えやご意見を伺い、計画づくりに生かしていくため、このアンケート調査を行うものです。

お忙しいところ、大変恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和 4 年 7 月

東松島市長 渥美 巖

社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会 会長 阿部 英一

### 【ご記入にあたって】

1. この調査の対象は、東松島市にお住いの 18 歳以上の方 1,500 人を無作為に抽出してお願いしています。
2. 抽出データは、令和 4 年 6 月 1 日現在のもので、この日以降、市外へ引っ越しをされた方や亡くなられた方に送付された場合の回答は不要です。
3. 調査結果は、すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。
4. ご回答は、あて名にあるご本人がご記入くださいますようお願いいたします。（他の方がご本人のお答えをお聞きの上、代筆も可能です。）
5. ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手をはらずに 8 月 10 日（水）までにポストへ投函してください。

調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

東松島市 保健福祉部 福祉課 福祉総務係

TEL：0225-82-1111（内線1172・1174）

FAX：0225-82-1392

東松島市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL：0225-83-5001

FAX：0225-82-9813

# 1 あなたご自身について

はじめに、あなた自身のことについて、お伺いします。  
各項目について、該当する番号を○で囲んでください。

【問1】あなたの性別はどちらですか。

(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

【問2】あなたの満年齢を、次の区分でお答えください。

(○は1つ)

1. 10歳代	5. 50歳代
2. 20歳代	6. 60歳代
3. 30歳代	7. 70歳代
4. 40歳代	8. 80歳代以上

【問3】あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。右の列の行政区分を参考にし、該当するお住まいの地区の番号を○で囲んでください。

(○は1つ)

お住まいの地区	行政区分
1. 矢本東地区	上町二、上町三、上河戸二、若葉、大溜、東大溜、下町一、下町二、下町三、下町四、下町五、関の内一、関の内二、関の内三、作田浦、下浦、下小松、谷地、南浦宿舎、あおい一、あおい二、あおい三
2. 矢本西地区	上町一、駅前、河戸、四反走、西新町、上河戸一、上河戸三、上河戸四、立沼、鹿妻一、鹿妻二、道地、二反走、上小松、沢田、前里、手招、前柳、北区官舎、小松南
3. 大曲地区	五味倉、上納、横沼東、横沼西、横沼一、横沼二、貝殻塚一、貝殻塚二、貝田、筒場
4. 赤井地区	照井、御下、中東、寺、六槍、八幡、裏、横関、南一、南二、南三、新川前、南四、南五、南六、南緑、南新一、南新二、柳北、柳上、柳下、柳西
5. 大塩地区	塩入、表、中、小分木、大島、裏一、裏二、小松台
6. 小野地区	小野上、小野下、根古、高松、新田、西福田上、西福田下、肘曲、上下堤、川下、平岡、往還上、往還下
7. 野蒜地区	新町、亀岡東、亀岡西、亀岡南、野蒜ヶ丘一、野蒜ヶ丘二、野蒜ヶ丘三、東名、新東名、大塚、中下、浅井
8. 宮戸地区	里北、里南、月浜、大浜、室浜
9. 市 外	

【問4】あなたの職業は次のうちどれですか。

(○は1つ)

1. 常勤	5. 学生
2. パート・アルバイト	6. 無職
3. 自営（農業・漁業含む）	7. その他（ ）
4. 家事専業	

【問5】あなたは、東松島市（旧矢本町・旧鳴瀬町を含む）に居住して何年になりますか。

(○は1つ)

1. 1年未満	4. 10年以上20年未満
2. 1年以上5年未満	5. 20年以上30年未満
3. 5年以上10年未満	6. 30年以上

【問6】あなたのご家族の構成は。

(○は1つ)

1. ひとり暮らし	4. 3世代（親と子と孫）
2. 夫婦のみ	5. その他（ ）
3. 2世代（親と子）	

【問7】あなた又はご家族の中に何らかの支援（見守りや手助け）が必要な方がいらっしゃいますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 乳幼児や小学校低学年児（小学校3年生まで）
2. 介護保険の要介護（要支援）認定を受けている
3. 要介護認定は受けていないが、高齢や病弱のため支援を必要とする
4. 障がい者手帳を持っている
5. 障がい者手帳は持っていないが、障がいや病気のため支援を必要とする
6. 日本語や習慣がよくわからない（外国籍などのため）
7. その他（ ）
8. 特に支援を必要としない

2 “地域とあなたの関わり” について

【問8】日ごろ、ご近所とどの程度お付き合いがありますか。

(○は1つ)

1. 困っているとき、相談や助け合いができるような付き合い
2. 簡単な頼みごと程度ならできる
3. たまに世間話や立ち話はしている
4. 顔を合わせればあいさつをする程度
5. 顔は知っているが声をかけることはない
6. ほとんど付き合いがない(ほとんど顔も知らない)
7. その他 ( )

【問9】地域活動に参加していますか。

(○は1つ)

1. 参加している	2. 参加していない
-----------	------------



【問9-1】参加している活動  
(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の清掃活動
2. 地域の祭り
3. 地域の運動会・スポーツ大会
4. 資源回収
5. 小中学校行事
6. 地域の文化祭
7. 老人クラブ活動
8. 女性団体活動
9. 防災訓練
10. ボランティア活動
11. その他 ( )

【問9-2】参加していない理由  
(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事のため時間的余裕がない
2. どのような活動があるのか地域活動に関する情報がない
3. 興味の持てる活動がない
4. 健康や体力に自信がない
5. 家事、育児に忙しい
6. 病人・高齢者・障がい者の介護などで時間がない
7. 地域活動をするうえでの経済的負担が大きい
8. 家族の理解がない
9. 地域にあまりかかわりたくない
10. 地域活動は必要がないと思う
11. その他 ( )

【問 10】 今後、地域活動への参加の依頼があった場合、あなたはどうしますか。

(○は1つ)

1. 積極的に参加したい	4. おそらく断る
2. 内容によっては参加したい	5. その他( )
3. 当番制なら参加してもよい	6. わからない

【問 11】 将来も現在の地区で暮らしていきたいと思いませんか。

(○は1つ)

1. この地区に住み続けたい	3. 市外に転居したい、または転居の予定がある
2. 転居したいが、市内には住み続けたい	4. わからない

### 3 地域福祉について

地域福祉とは -----

公的なサービスだけを利用するのではなく、それぞれの地域において皆が安心して暮らせるよう、地域の住民どうしや福祉関係者・団体・行政などがそれぞれのつながりを大事にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やしくみを作っていこうとするものです。

-----

【問 12】 「地域福祉」という言葉を知っていますか。

(○は1つ)

1. よく知っている
2. 少しは知っている
3. 聞いたことはあったが、意味は知らなかった
4. 聞いたこともなかった

【問 13】 前述の「地域福祉」を進めることが必要と思いませんか。

(○は1つ)

1. とても必要	4. まったく必要ではない
2. どちらかといえば必要	5. わからない
3. あまり必要ではない	

【問 14】 地域福祉に対して、あなたの考え方は次のどれに近いですか。

(○は1つ)

1. 福祉は、行政と地域住民（住民組織）すべてが協力し合いながら行うものであると思う
2. 福祉とは、近隣の助け合いやボランティアとして慈善的に手を差し伸べることだと思う
3. 福祉は、行政（国や地方自治体）の責任で行うべきだと思う
4. 昔から、親・兄弟が互いに助け合うという考え方があるのだから親類縁者が面倒をみればよいと思う
5. 福祉を必要とする人は、自分でもっと努力すべきで、援助の必要はないと思う
6. わからない

#### 4 “地域での助け合い、支え合い” について

【問 15】 毎日の暮らしの中で、どのような悩みや不安を感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自分や家族が病気等になったときの悩みや不安
2. 日常生活（買い物や家事など）ができなくなった時の悩みや不安
3. 自分や家族の生活上の悩みや不安（進学、就職、結婚など）
4. 子育ての悩みや不安
5. 介護の悩みや不安
6. 経済上の悩みや不安
7. 生活環境の悩みや不安（防犯、防災、ごみ、騒音など）
8. 近隣との人間関係の悩みや不安
9. その他（ ）
10. 特に不安や悩みはない

【問 16】 日常生活の困っていることは、現在だれに相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚	8. 自治会長
2. 友人・知人	9. かかりつけの医師
3. 近所の人	10. 福祉サービス事業者（ヘルパーや ケアマネージャーなど）
4. 行政	11. 相談できる人はいない
5. 地域包括支援センター	12. 困っていることはない
6. 社会福祉協議会（社協）	13. その他 ( )
7. 民生委員児童委員	

【問 17】 もしこれから日常生活で困ることがおきたら、だれに相談したいですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚	8. 自治会長
2. 友人・知人	9. かかりつけの医師
3. 近所の人	10. 福祉サービス事業者（ヘルパーや ケアマネージャーなど）
4. 行政	11. その他 ( )
5. 地域包括支援センター	12. 相談できる人はいない →問 17-1 へ
6. 社会福祉協議会（社協）	13. 相談したくない →問 17-1 へ
7. 民生委員児童委員	

【問 17-1】 問 17 で「12」または「13」を選んだ理由はなんですか。

(○は1つ)

1. 自分でぎりぎりまで頑張りたいから
2. 誰に相談すればいいかわからないから
3. 気軽に相談できる相手がないから
4. 自分や家族のことを他人に知られたくないから
5. その他 ( )



【問 18】 ご近所付き合いについてどのようにお考えですか。

(○は1つ)

1. 近所で助け合って暮らしていくことが当然だと思う
2. 近所であいさつをしたり、協力したりすることは必要だと思う
3. あいさつ程度はするが、あまり深く関わりたくない
4. 近所付き合いはわずらわしいので、あまりしたくない
5. まったく必要と思わない
6. わからない

【問 19】 ご近所との関わりの中で、今後どのようなことが大切になるとお考えですか。

(○は3つまで)

1. 日常のあいさつなどによる人と人とのふれあい
2. 子育てやしつけなど、子供の問題を一緒に考える仲間づくり
3. 高齢者の見守りや生きがいづくり
4. 健康づくりや介護予防の場づくり
5. 日常生活で困ったときの助け合い
6. 地域での清掃活動など、自分たちの町を大切にする姿勢
7. 防災活動や災害の時の助け合い
8. 病気・けが等緊急時の助け合い
9. その他 ( )
10. 特になし

【問 20】 住民同士がお互いに助け合える地域とは、どの範囲だと思えますか。

(○は1つ)

1. とおり近所
2. 自治会
3. 小学校区
4. 中学校区
5. 市全域
6. その他 ( )
7. わからない

【問 21】 現在あなたがお住まいの地区で、課題と感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 祭りなど地域行事の衰退
2. 住民同士の交流や理解の不足
3. 野良犬、野良猫など動物に関すること
4. 防犯・治安・風紀に関すること
5. 災害など非常時での協力体制
6. 公共施設や道路のバリアフリー化
7. 公園や街路の美化
8. ゴミや騒音、違法駐車などモラルの問題
9. 公共交通機関の不足
10. その他 ( )
11. わからない
12. 特にない

【問 22】 地域で起こるさまざまな生活課題に対し、住民が相互に協力するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は2つまで)

1. 自治会が中心となって、市民相互の交流を進める
2. 住民が、自ら進んで相互のつながりを持つようにする
3. 住民が、地域の活動に積極的に参加する
4. ボランティアやNPOの活動を活発にする
5. 地域の人が気軽に集まれる場所をつくる
6. 行政が地域活動の相談や情報提供など、支援体制を充実する
7. その他 ( )
8. わからない

【問 23】 高齢や障がい、子育てなどを理由に、日常生活で困っているご家庭が身近にあった場合、あなたにできることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 見守りや声かけ
2. 話し相手
3. 買い物の手伝い
4. ちょっとした手伝い（電球の交換や灯油の運搬、ごみ出しなど）
5. 草取りや庭の掃除
6. 食べ物のおすそ分け
7. 家事（料理、掃除、洗濯など）の手伝い
8. 散歩の付き添い
9. 医療機関や保育園などの送り迎え
10. 短時間の子どもの預かり
11. 災害など緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）
12. 市役所や銀行などの手続き
13. その他（ ）
14. 何もしたくない
15. 特にない

【問 24】 災害が起こった場合に、住民がお互いにどのような支援をすることが必要だと考えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 災害直後の安否確認や声かけ	4. 避難所の運営の協力
2. 災害や避難に関する情報提供	5. その他 ( )
3. 避難所などへの移動の支援	6. わからない

【問 25】 「災害時に住民が支え合う地域づくり」には、何が必要だと思いますか。

(○は3つまで)

1. 日ごろからのあいさつ、声かけやお付き合い
2. 防災などに関する勉強会（危険な箇所の把握など）
3. 地域の高齢者などがどこに住んでいるかひと目でわかるマップの作成 （地域に居住する避難行動要支援者の把握）
4. 地域での定期的な避難訓練（平常時からの見守り支援）
5. 自主防災組織の強化
6. 福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携
7. その他（ ）
8. わからない

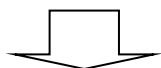
## 5 “ボランティア活動等” について

【問 26】 ボランティアやNPOの活動に参加したことがありますか。

(○は1つ)

1. 参加している・参加したことがある  
→問 26-1・26-2へ

2. 参加したことがない  
→問 26-3へ

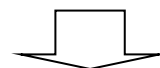


【問 26-1】 参加した活動内容は  
(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 高齢者の支援                       |
| 2. 障がい者・児の支援                    |
| 3. 子育ての支援や子供の世話                 |
| 4. 自然や環境保護に関する活動                |
| 5. 国際交流に関する活動                   |
| 6. 青少年の健全育成に関する活動               |
| 7. スポーツ・文化に関する活動                |
| 8. 災害救助、復興支援の活動                 |
| 9. その他 (                      ) |

【問 26-2】 参加した理由は  
(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 楽しいから、好きだから                  |
| 2. 健康に良いから                      |
| 3. 自分自身の向上のため                   |
| 4. 人間関係が広がるから                   |
| 5. 人の役に立てるから                    |
| 6. つきあいで仕方なく                    |
| 7. なんとなく                        |
| 8. その他 (                      ) |



【問 26-3】 参加したことがない理由は  
(あてはまるものすべてに○)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 仕事や家事で忙しいから                   |
| 2. 体が弱く、病気がちだから                  |
| 3. 高齢者や病気の家族の世話をしているから           |
| 4. 活動の内容や参加方法がわからない              |
| 5. 参加する機会がないから                   |
| 6. 自分の趣味や余暇活動を優先したいから            |
| 7. 興味や関心がないから                    |
| 8. 引っ越してきて間がないから                 |
| 9. 知り合いがいないから                    |
| 10. つきあいになじめないから                 |
| 11. その他 (                      ) |

【問 27】 ボランティアやNPOの活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

1. ボランティアやNPOの活動の大切さを学校で教える
2. ボランティアやNPOの活動の大切さを生涯学習で広める
3. 活動の内容などの情報を住民に提供する
4. 活動に関する相談体制を充実する
5. 体験活動など、初めての人も参加しやすいようなきっかけづくりを行う
6. 活動の拠点となる場所を確保する
7. 活動団体等へ資金の援助をする
8. 交通費などの実費が支払われるようにする
9. 活動のリーダーとなる人を育成する
10. その他 ( )
11. わからない

## 6 “再犯防止” について

再犯防止とは -----

安全で安心して暮らせる社会を実現するためには、犯罪や非行の繰り返しを防ぐ「再犯防止」が重要となっています。

【問 28】 再犯防止のために、行政が取り組むべきものはどれだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 再犯防止のための計画を策定する
2. 犯罪をした人を地方公共団体の機関で雇用する
3. 市民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする
4. 再犯防止に協力する民間協力者に対して、活動する場所の提供や財政的な支援をする
5. その他 ( )
6. わからない



## 7 “成年後見制度”について

成年後見制度とは -----

認知症・知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援護者（成年後見人等）を選び、本人を法律的に支援する制度です。具体的には、本人に代わって財産管理や福祉サービス等の契約を結ぶなどの行為を行います。利用するには、家庭裁判所への申立が必要です。

-----

【問 31】 成年後見制度を知っていますか。

(○は1つ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、内容は知らない
3. 知らない

【問 32】 成年後見制度には、法定後見制度のほかに、本人に十分な判断能力があるうちに、将来に備えて自ら代理人と契約する任意後見制度があります。このような任意後見制度を利用したいと思いませんか。

(○は1つ)

1. 利用したい
2. 利用したいと思わない
3. よくわからない

【問 33】 成年後見制度について思うことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 手続きがよくわからない
2. 家族の同意が得られない
3. 費用がどれぐらいかかるかわからない
4. 制度がよくわからない
5. 利用の手続きが難しい
6. 相談をどこにしたらいいかわからない
7. 後見人の信用に不安がある
8. 後見人のなり手がいない
9. その他 ( )
10. 特にない



## 8 “地域福祉全般” について

【問 34】市と市社会福祉協議会は、地域福祉計画及び地域福祉活動計画をもとに地域福祉の推進に取り組んできました。第1期計画が策定された平成27年以前と比較して、次に掲げる取り組みについて、どの程度進んだと感じますか。

(それぞれの項目で○は1つ)

取り組み	とても そう思う	そう 思う	あまり そう思わ ない	そう思わ ない	わから ない
1. 健康づくりやいきいきサロンなどの生きがいづくりの場や機会が増えた	1	2	3	4	5
2. 生活に関する困りごとを相談できる場所や機会が増えた	1	2	3	4	5
3. 福祉の情報を得やすくなった	1	2	3	4	5
4. 福祉サービスが充実した	1	2	3	4	5
5. 災害時の要援護者の支援体制づくりが進んだ	1	2	3	4	5
6. 近所の見守りや声かけが進んだ	1	2	3	4	5
7. ボランティア活動が活発になった	1	2	3	4	5
8. 誰もが住みやすい福祉のまちづくりが進んだ	1	2	3	4	5

【問 35】今後、地域福祉を充実させるために、優先的に取り組むべきものについて次の中から選んでください。

(○は3つまで)

1. 福祉教育の充実
2. 地域における災害時の体制整備
3. 地域福祉に関連する人材の育成
4. 福祉に関連する事業者の育成
5. 福祉サービスの充実・質の向上
6. 福祉に関する相談体制の充実
7. 権利擁護事業の推進
8. 関係機関の連携を推進
9. 情報提供体制の充実
10. ボランティアとの協働
11. NPOや福祉事業者との協働
12. 地域活動への参加の促進
13. 世代間交流の促進
14. その他 ( )

## 9 これからの“地域福祉”の進め方について

【問 36】市や社会福祉協議会が地域住民の方とともに地域福祉を推進していくために、必要だと思われることを次の中から選んでください。

(○は3つまで)

1. 地域の会合に職員が出席し、住民の意見を聞き事業に反映する
2. 自治会長、民生委員等その地域の実情を知っている方に意見を聞き、事業に反映する
3. 住民へのアンケート調査を行い、地域福祉のあり方を問う
4. いきいきサロンのような誰でも参加しやすい「地域の居場所づくり」を推進する
5. 地域福祉懇談会やワークショップ（住民が参加して課題解決の糸口を探るための意見交換）
6. 地域ごとに参加しやすい福祉講座や、住民の求めに応じて職員が出向く講座を企画する
7. 地域別に担当職員を配置し、地域の福祉の問題点を気軽に相談できる体制を作る
8. 地域を見守り、住民の要望や困りごとなどを発見し、社協等につなげる
9. その他（ <span style="float: right;">）</span>

【問 37】多くの方がボランティアに参加するための情報提供の方法として、有効だと思うものを次の中から選んでください。

(○は3つまで)

1. 個別に通知文を送付する
2. ホームページに随時掲載する
3. 公共施設などに情報を随時掲示したり、閲覧したりできるボランティア情報スペースを確保する
4. チラシを作成し、店舗や公共機関等に掲示する
5. メーリングリスト（複数の人に同時に電子メールを配信する仕組み）や連絡網を作成し活用する
6. ボランティア担当がいなくても、適切な対応ができ、情報を提供できる窓口の充実
7. 社協だけでなく、地域にボランティアが集える居場所づくりを増やす
8. その他（ <span style="float: right;">）</span>

【問 38】 今後、住民同士が支え合う仕組みとして、「こんな仕組みがあったらいいな」  
「こういうことなら参加や協力ができそうだな」というお考えがあったら、お聞  
かせください。

(自由意見)


【問 39】 その他、ご意見がありましたらお聞かせください。

(自由意見)


ご協力ありがとうございました。

この用紙を、同封した返信用封筒に入れ、8月10日(水曜日)までに  
ご投函くださるようお願いいたします(切手は不要です)。